

NEC

MultiWriter 2800N 2800 2300N



レーザープリンター

オンラインマニュアル

ネットワークセットアップガイド

853-810023-503-B

第2版

商標について

MultiWriter、NMPS、MOPYING、PrintAgentは日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Novell、NetWare、IntranetWare、NDS、IPX/SPXは米国Novell, Inc.の登録商標です。

Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac OS、EtherTalkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

UNIXオペレーティングシステムはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

TranXitはPuma Technology, Inc.の登録商標です。

Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。

AdobeおよびAcrobatはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の一部はアドビシステムズ社で著作権を所有しており、その許可の下に転載されています。
3. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
4. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
5. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
6. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
7. 運用した結果の影響については5項および6項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
8. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

マニュアルの種類について

MultiWriter 2800N/2800/2300N本体や付属のプリンターソフトウェアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル」と「オンラインマニュアル(3つ)」があります。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、MultiWriter 2800N/2800/2300Nを十分にご活用ください。(各オンラインマニュアルの詳細については、[トップページ](#)をご覧ください。)

- MultiWriter 2800N/2800/2300N ユーザーズマニュアル
- オンラインマニュアル プリンターの設定と技術仕様
- オンラインマニュアル プリンターソフトウェアの詳細
- オンラインマニュアル ネットワークセットアップガイド(本書)

本文中で使用する記号について

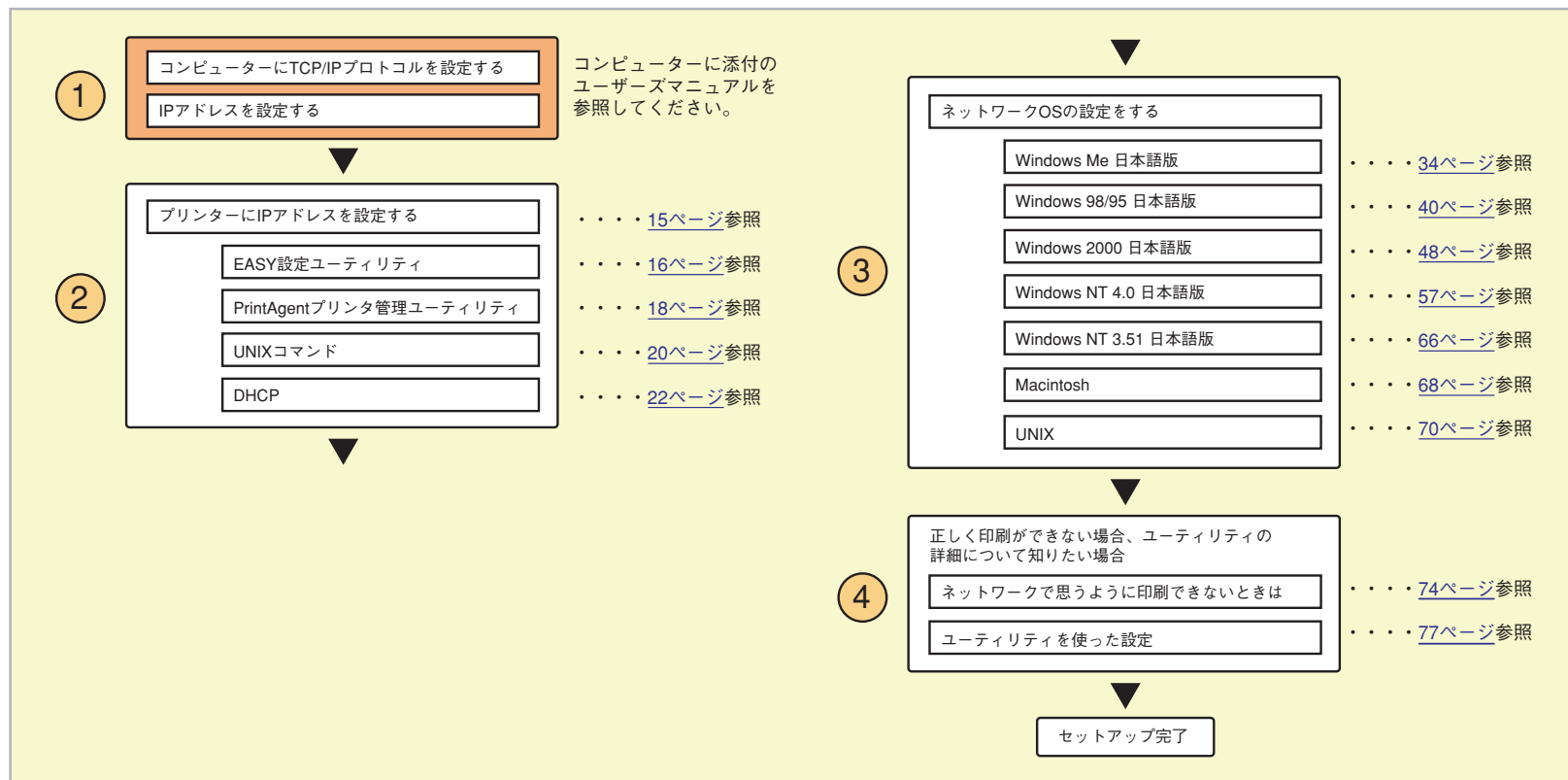
このマニュアルでは、本文中で次の3種類の記号を使用しています。それぞれの記号の意味を次に示します。

記 号	内 容
	この注意事項および指示を守らないと、プリンターを含むコンピューターシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しない場合があることを示しています。
	プリンターを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

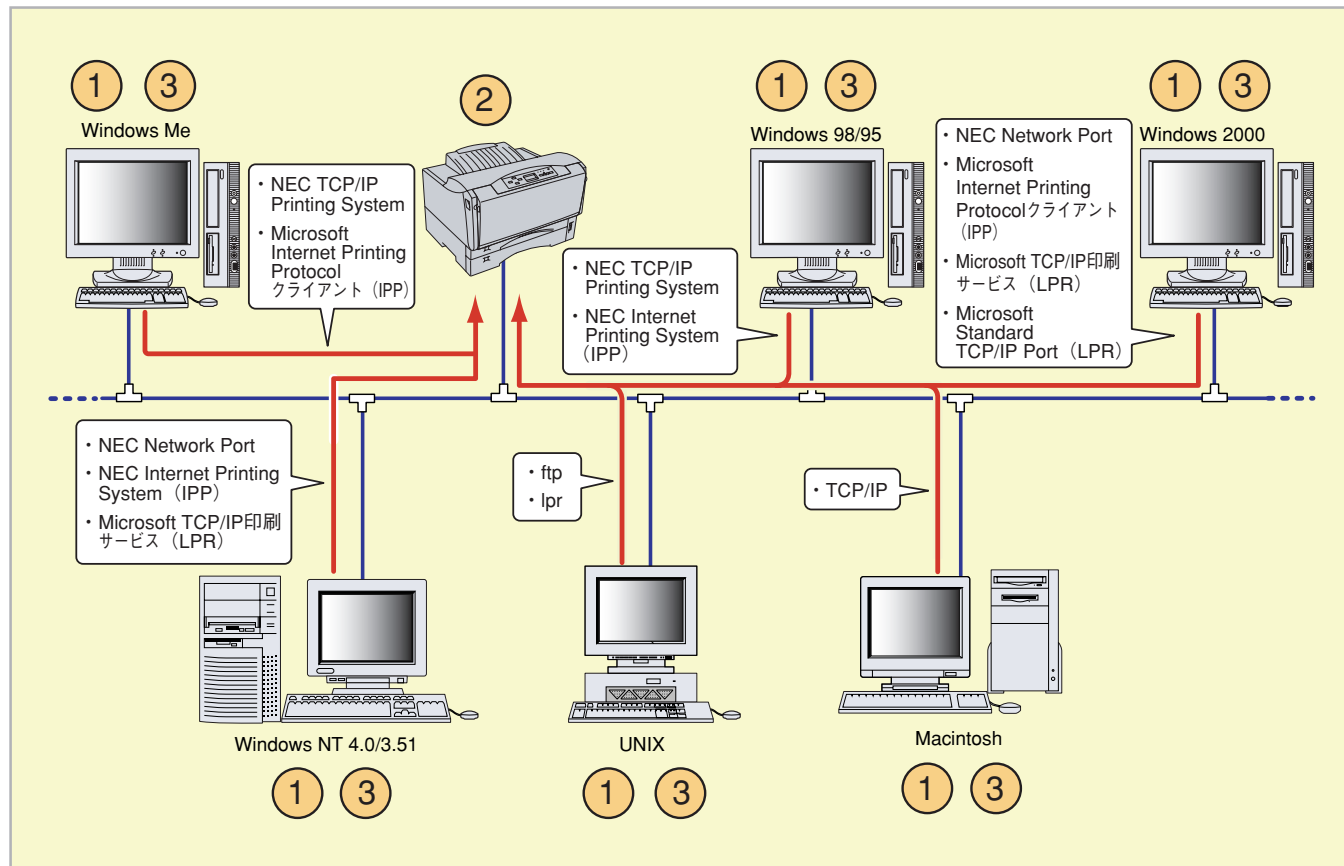
本書について

このマニュアルでは、LANボードを装備しているプリンターをネットワーク環境で利用する際に必要な設定、およびユーティリティの詳細について説明しています。ネットワークシステム管理者(アドミニストレーター)を対象として書かれていますので、このマニュアルを参照してプリンターをネットワークに接続する場合は、ネットワーク環境やネットワークOSなどについての予備知識が必要です。もし、管理者以外の方がインストールをするときはご利用になるネットワークの管理者とご相談の上、インストールを行ってください。また、OSは特に指示のないかぎりWindows Me 日本語版の環境で説明しています。

以下にMultiWriter 2800N/2300N/2800(PR-L2800-NP装着時)をネットワークで使うためのセットアップ手順を示します。次ページのイラストを参照してお使いの環境に合わせた手順を行ってください。



以下にネットワークプリンターへの印刷データの流れを示します。



目次

オンラインマニュアルの使い方	8
目的のページを表示する	8
オンラインマニュアルを印刷する	12
IPアドレスの設定	15
EASY設定ユーティリティ	16
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ	18
UNIXコマンド	20
DHCP	22
DHCPの設定	22
DHCPサーバーの設定	23
DHCPの動作について	28
ネットワーク設定の初期化	29
コンフィグレーションページの印刷	30
OSの設定 ～ネットワーク印刷のために～	33
Windows Me 日本語版	34
NEC TCP/IP Printing System	34
IPP (Internet Printing Protocol)	36
Windows 98/95 日本語版	40
NEC TCP/IP Printing System	40
NEC Internet Printing System (IPP)	42
Windows 2000 日本語版	48
NEC Network Port	48
IPP (Internet Printing Protocol)	50
UNIX用印刷サービス (LPR)	52
Standard TCP/IP Port (LPR)	54
Windows NT 4.0 日本語版	57
NEC Network Port	57
NEC Internet Printing System (IPP)	59
Microsoft TCP/IP印刷 (LPR)	64

Windows NT 3.51 日本語版	66
Microsoft TCP/IP印刷 (LPR)	66
Macintosh	68
プリンターのIPアドレス設定	68
Macintosh TCP/IP環境の設定	68
UNIX	70
IPアドレスの設定	70
ホストコンピューター側のセットアップ	71
印刷方法	72
ネットワークで思うように印刷できないときは	74
すべてのOS共通	74
Windows NTをご使用の場合	75
UNIXシステム環境でご使用の場合	75

ユーティリティの詳細 77

WWWブラウザ	77
画面の構成	78
WWWブラウザ起動画面	79
各メニューの詳細	80
Telnet	90
Telnet起動画面	90
各メニューの詳細	91
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ	96
ユーティリティの特長	96
対象プリンター	96
使用上のご注意	97
ご利用までの手順	97
プリンターの登録	98
LANボードの設定	102
[プロパティ]ダイアログボックス	109

SNMP	119
Get Request、Set Requestによる管理	119
Trapによる管理	121
 索引	 123

オンラインマニュアルの使い方

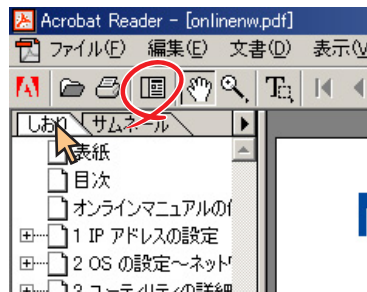
このオンラインマニュアルは、コンピューターの画面上で目的のページを検索しやすいように、しおりやサムネール、リンクを設定しています。ここでは、しおりやサムネール、リンクの使い方、印刷方法などをAcrobat Reader 4.0Jを使用して簡単に説明します。Acrobat Readerの詳しい説明についてはヘルプメニューの[Readerのヘルプ]をご覧ください。

目的のページを表示する

[しおり]、[サムネール]のナビゲーション機能やリンク機能を使って目的のページを表示します。

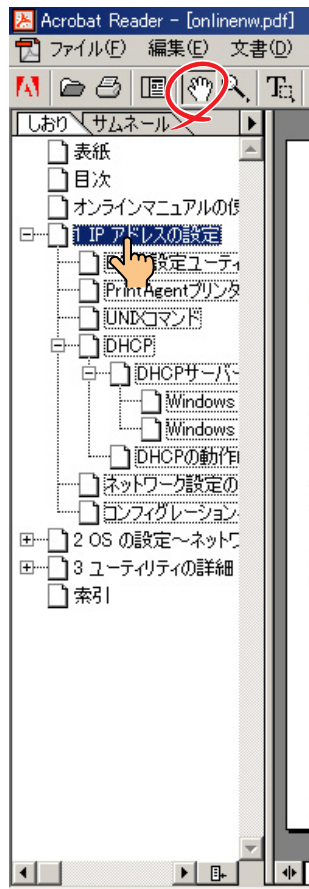
しおりを使う

しおりは目次のようなものです。しおりを表示させると全体の内容が一覧でき、そこから見たいページを選ぶこともできます。



1. [パレット表示]ボタンをクリックし、パレットを表示する。

2. [しおり]タブをクリックし、しおりパレットを表示する。



3. [手のひら]ツールをクリックする。

4. 表示させたいしおりを選び、クリックする。

しおりの上へ[手のひら]ツールを移動すると「指さし」の形に変わるので、その場所をクリックしてください。

選んだしおりのページが表示されます。

階層化された項目は、項目名の左側に[+]、[-]の記号が表示されます。その下の階層は[+]を押すと表示し、[-]を押すと非表示になります。



1

IPアドレスの設定

15

プリンターをネットワーク環境で利用する前に、LANボードにIPアドレス、サブネットマスクを設定する必要があります。DHCPを使用してIPアドレスを設定する場合は、ネットワーク環境にDHCPサーバーが必要です。

IPアドレスの設定は以下の5つの方法で行うことができます。

- プリンターの操作パネル ユーザーズマニュアルを参照してください。Macintosh環境で使用する場合は、この方法でIPアドレスを設定してください。また、印刷には、オプションの拡張プリンタドライバ(PR-SW-DR01)が必要です。
- [EASY設定ユーティリティ](#) 添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されています。簡単に設定ができます。
- [PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ](#) 添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録のプリンターソフトウェアで管理者向けとしてインストールすると使用できます。ユーティリティの詳細については、[3 ユーティリティの詳細]の[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ](#)を参照してください。
- [UNIXコマンド](#) UNIXコマンド[arp, ping]を使用して設定します。
- [DHCP](#) DHCPを使って設定します。この方法は、DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得することができます。工場出荷時の設定ではDHCP機能は[無効]になっています。LANボードのDHCP機能は、EASY設定ユーティリティまたはPrintAgentプリンタ管理ユーティリティで[有効]にできます。

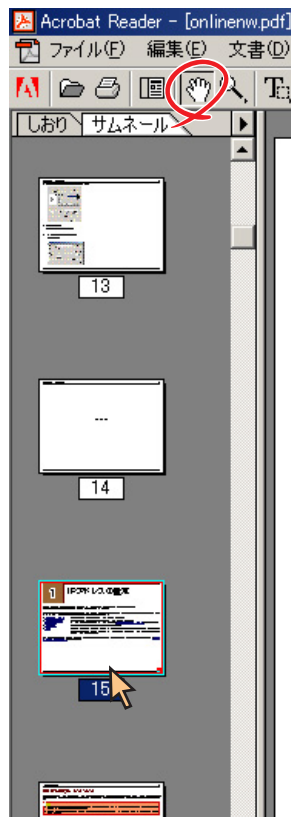
IPアドレスを設定する前にコンフィグレーションページを印刷して、LANボードのMACアドレスを確認してから設定を行ってください。コンフィグレーションページの印刷は操作パネルから行います。詳細については、[「コンフィグレーションページの印刷」](#)を参照してください。

また、ネットワークプリンターに印刷するためには、IPアドレスを設定した後にコンピュータのOSについて設定が必要です。設定方法については、[\[2 OSの設定 ～ ネットワーク印刷のために\]](#)を参照してください。

All Rights Reserved. Copyright 2000, NEC Corporation
853-810023-503-B 第2版

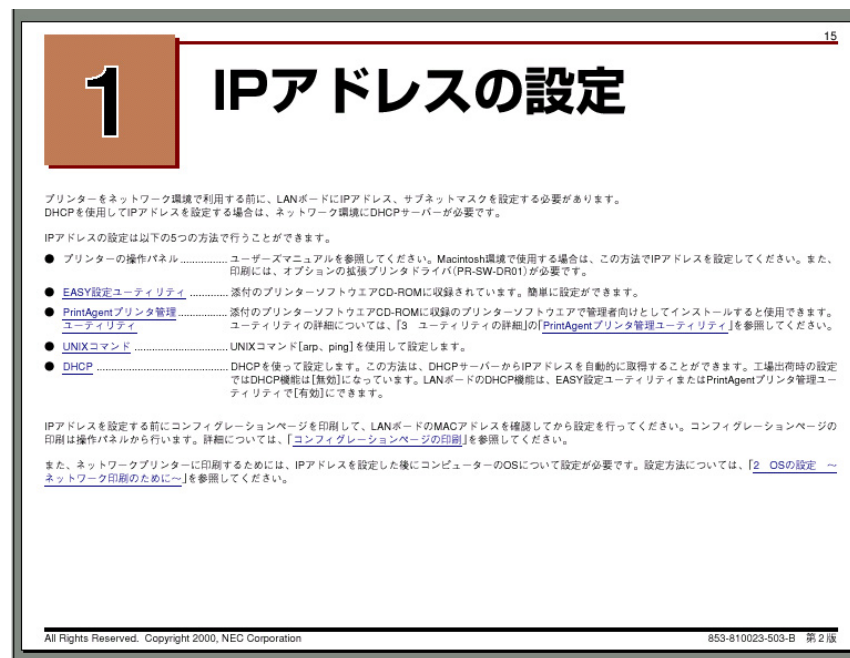
サムネールを使う

サムネールはそのページの全体のイメージを小さく表示したものです。表示したいページを見つけ、ダブルクリックすることで目的のページを表示することができます。



1. [パレット表示]ボタンをクリックし、パレットを表示する。
2. [サムネール]タブをクリックし、サムネールパレットを表示する。
3. [手のひら]ツールをクリックする。
4. 表示させたいページのサムネールをダブルクリックする。

サムネールの上へ[手のひら]ツールを移動すると「矢印」の形になるので、その場所をダブルクリックしてください。
選んだページが表示されます。



リンクを使う

リンクは目的のページへジャンプする機能です。本マニュアルでは、目次ページや文章内の[青の下線文字](#)はリンクが設定されています。[手のひら]ツールを使ってリンクの設定先にジャンプすることができます。

1. [手のひら]ツールをクリックする。

2. リンクのある場所をクリックする。

リンクのある場所へ[手のひら]を移動すると「指さし」の形に変わるので、その場所をクリックしてください。

1

IPアドレスの設定

15

プリンターをネットワーク環境で利用する前に、LANボードにIPアドレス、サブネットマスクを設定する必要があります。DHCPを使用してIPアドレスを設定する場合は、ネットワーク環境にDHCPサーバーが必要です。

IPアドレスの設定は以下の5つの方法で行うことができます。

- プリンターの操作パネル..... ユーザーズマニュアルを参照してください。Macintosh環境で使用する場合は、この方法でIPアドレスを設定してください。また、印刷には、オプションの拡張プリンタドライバ(PR-SW-D001)が必要です。
- EASY設定ユーティリティ..... 添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されています。簡単に設定ができます。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ..... 添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録のプリンターソフトウェアでインストールすると使用できます。ユーティリティの詳細については、[3 ユティリティの詳細]の[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ]を参照してください。
- **Linuxユーティリティ**..... **指さし**の形に変わるので、その場所をクリックしてください。
- DHCP..... UNIXコマンド[arp, ping]を使用して設定します。DHCPを使って設定します。この方法は、DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得することができます。工場出荷時の設定でDHCP機能は[無効]になっています。LANボードのDHCP機能は、EASY設定ユーティリティまたはPrintAgentプリンタ管理ユーティリティで有効にできます。

IPアドレスを設定する前にコンフィグレーションページを印刷して、LANボードのMACアドレスを確認してから設定を行ってください。コンフィグレーションページの印刷は操作パネルから行います。詳細については、「[コンフィグレーションページの印刷](#)」を参照してください。

また、ネットワークプリンターに印刷するためには、IPアドレスを設定した後にコンピュータのOSについて設定が必要です。設定方法については、「[2 OSの設定](#)」ネットワーク印刷のために」を参照してください。

All Rights Reserved. Copyright 2000, NEC Corporation
853-810023-503-B 第2版



1 IPアドレスの設定
18

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

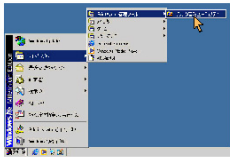
添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用してIPアドレス、サブネットマスクなどを設定します。このユーティリティは、IPアドレスの設定以外にネットワークに接続されたプリンターの状態を監視したり、ネットワーク接続、監視に必要な各種パラメーターを設定するためのソフトウェアです。操作方法などの詳細については、「3 ユティリティの詳細」の[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ]をご覧ください。

● Windows 2000、またはWindows NT 4.0/3.51環境でご使用になる場合は、Administratorの権限を持ったユーザーでOSにログインしてください。Administratorの権限を持たないユーザーでログインした場合には設定を行えません。

● プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピュータとプリンターがイーサネット等で介さないで接続された環境で行ってください。

1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

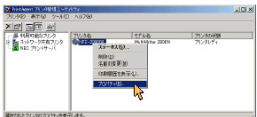
[スタート]をクリックし、[プログラム]、[PrintAgent管理ツール]をポイントします。次に[プリンタ管理ユーティリティ]をクリックします。



2. ウィンドウの左側ボックスから[NECプリントサーバ]を選択する。

プリンターがまだ登録されていないときは、[プリンタ]メニューから[プリンタの登録]をクリックしてプリンターを登録してください。

3. ウィンドウの右側ボックスから対象のプリンターを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。



All Rights Reserved. Copyright 2000, NEC Corporation
853-810023-503-B 第2版

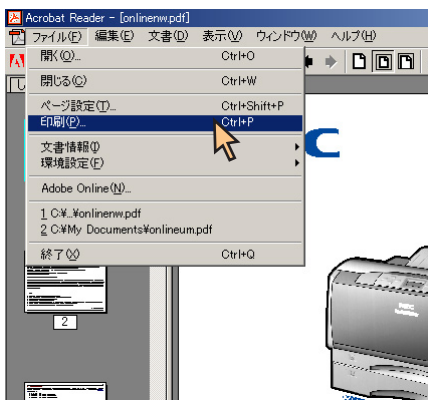
オンラインマニュアルを印刷する

このオンラインマニュアルは、ディスプレイ上で閲覧しやすいサイズで作成されています。印刷する場合は以下の手順のとおり、両面印刷で複数ページ印刷機能を使ってA4用紙に2ページずつ印刷すると用紙を節約でき、経済的です。

ここでは、Windows Me 日本語版の環境でMultiWriter 2800Nを使ってオンラインマニュアルを印刷する手順について説明します。他のOSをお使いの方は多少画面表示は異なりますが、手順は同じです。

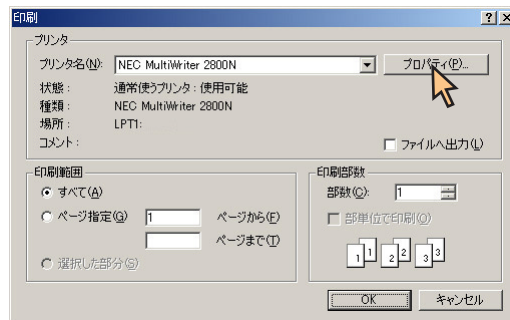
1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。



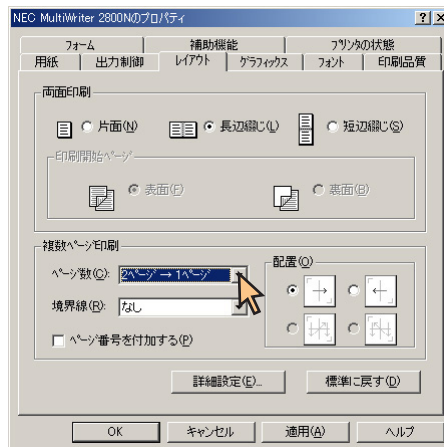
2. [プロパティ]をクリックする。

プリンターのプロパティダイアログボックスが表示されます。

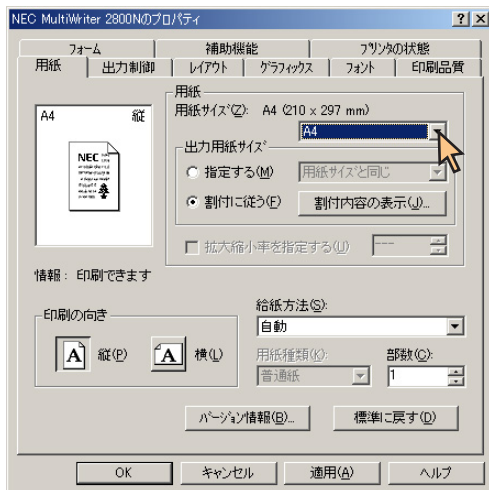


3. [レイアウト]タブをクリックし、[長辺綴じ]をクリックする。

4. [複数ページ印刷]のページ数を[2ページ→1ページ]に指定する。



5. [用紙]タブをクリックし、[用紙サイズ]から[A4]を選択する。

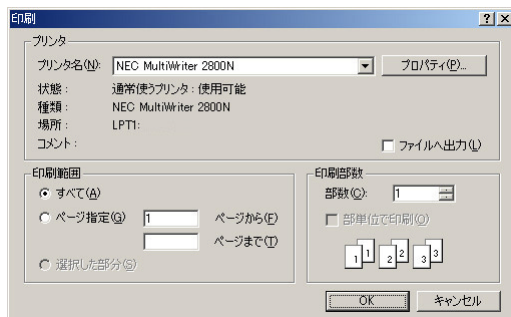


6. [OK]をクリックする。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

7. ページ範囲を設定し、[OK]をクリックする。

印刷を開始します。



(空白ページ)

1

IPアドレスの設定

プリンターをネットワーク環境で利用する前に、LANボードにIPアドレス、サブネットマスクを設定する必要があります。DHCPを使用してIPアドレスを設定する場合は、ネットワーク環境にDHCPサーバーが必要です。

IPアドレスの設定は以下の5つの方法で行うことができます。

- プリンターの操作パネル ユーザーズマニュアルを参照してください。Macintosh環境で使用する場合は、この方法でIPアドレスを設定してください。また、印刷には、オプションの拡張プリンタドライバ(PR-SW-DR01)が必要です。
- [EASY設定ユーティリティ](#) 添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されています。簡単に設定ができます。
- [PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ](#) 添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録のプリンターソフトウェアで管理者向けとしてインストールすると使用できます。ユーティリティの詳細については、「3 ユーティリティの詳細」の「[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ](#)」を参照してください。
- [UNIXコマンド](#) UNIXコマンド「arp、ping」を使用して設定します。
- [DHCP](#) DHCPを使って設定します。この方法は、DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得することができます。工場出荷時の設定ではDHCP機能は[無効]になっています。LANボードのDHCP機能は、EASY設定ユーティリティまたはPrintAgentプリンタ管理ユーティリティで[有効]にできます。

IPアドレスを設定する前にコンフィグレーションページを印刷して、LANボードのMACアドレスを確認してから設定を行ってください。コンフィグレーションページの印刷は操作パネルから行います。詳細については、「[コンフィグレーションページの印刷](#)」を参照してください。

また、ネットワークプリンターに印刷するためには、IPアドレスを設定した後にコンピューターのOSについて設定が必要です。設定方法については、「[2 OSの設定 ～ ネットワーク印刷のために～](#)」を参照してください。

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「EASY設定ユーティリティ」を使用してIPアドレス、サブネットマスクなどを設定します。このユーティリティはWindows Me/98/95、Windows 2000、またはWindows NT 4.0/3.51で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMの[EASY]フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。



重要

- Windows 2000またはWindows NT 4.0/3.51でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーター等を介さない(同じサブネットマスク内)で接続された環境で行ってください。

Windows Me上での手順を例にとって説明します。

1. Windows Meを起動する。

2. プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

[プリンターソフトウェアCD-ROMメニュー] ダイアログボックスが表示されます。



お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。



3. [ユーティリティ]をクリックする。



4. [EASY設定ユーティリティ]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。

プリンターソフトウェアCD-ROM内の[EASY]フォルダが開きます。

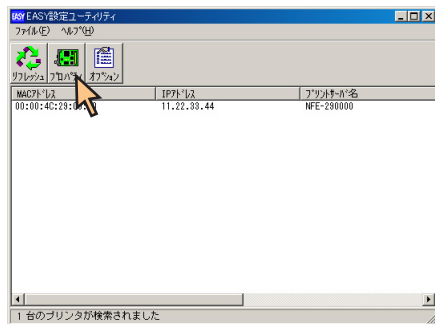


5. [NICSET.EXE]アイコンをダブルクリックする。

[EASY設定ユーティリティ]ウィンドウが表示されます。

6. 一覧からプリンターのMACアドレスを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする。

[TCP/IP]タブが表示されます。



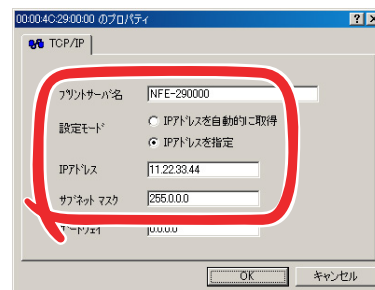
一覧にプリンターが表示されない場合は、[リフレッシュ]ボタンをクリックし、再検索を行ってください。

7. プリントサーバー名を確認する。

ネットワーク上から見たプリンターの名前が[プリントサーバー名]ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。

8. [設定モード]で[IPアドレスを指定]を選択する。

9. IPアドレス、サブネットマスクを入力する。



10. ゲートウェイアドレスを設定する。

ゲートウェイ(ルーター)を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。



e-mail通知、SNMPトラップを送信するときに参照されます。

11. [OK]をクリックして、EASY設定ユーティリティを終了する。

以上で設定は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用してIPアドレス、サブネットマスクなどを設定します。このユーティリティは、IPアドレスの設定以外にネットワークに接続されたプリンタの状態を監視したり、ネットワーク接続、監視に必要な各種パラメータを設定するためのソフトウェアです。操作方法などの詳細については、「3 ユーティリティの詳細」の「[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ](#)」をご覧ください。

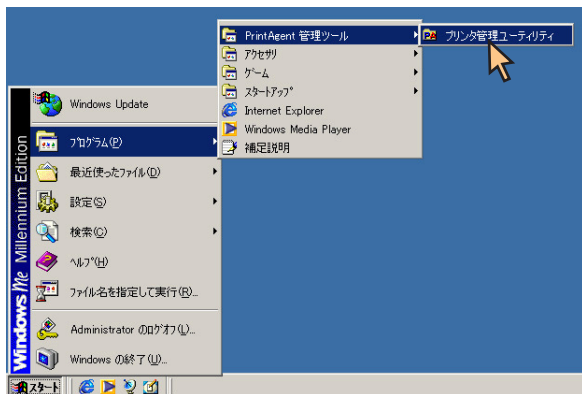


重要

- Windows 2000、またはWindows NT 4.0/3.51環境でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定を行えません。
- プリンタにIPアドレスを設定する場合は、プリンタにIPアドレスを設定するために使うコンピュータとプリンタがIPルーター等を介さないで接続された環境で行ってください。

1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

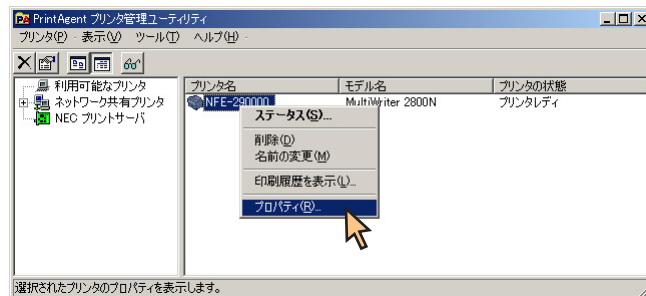
[スタート]をクリックし、[プログラム]、[PrintAgent管理ツール]をポイントします。次に[プリンタ管理ユーティリティ]をクリックします。



2. ウィンドウの左側ボックスから[NECプリントサーバ]を選択する。

プリンタがまだ登録されていないときは、[プリンタ]メニューから[プリンタの登録]をクリックしてプリンタを登録してください。

3. ウィンドウの右側ボックスから対象のプリンタを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。



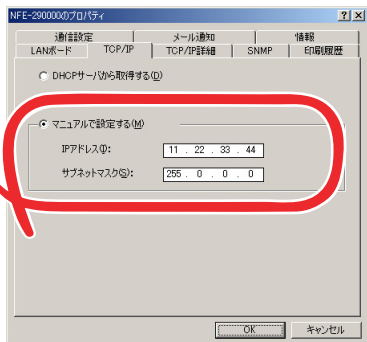
4. [TCP/IP]タブをクリックする。

5. [マニュアルで設定する]を選択する。



[マニュアルで設定する]を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、[UNIXコマンドで設定する]を選んでください。

6. IPアドレスとサブネットマスクを入力する。



7. [OK]をクリックして終了する。

以上で設定は完了です。

UNIXコマンド

IPアドレスをUNIXコマンドを使って設定する方法を説明します。

**重要**

- ここで示す方法でIPアドレスを一度設定すると、LANボードの設定を初期化するまで再度同じ方法では設定できません(「[ネットワーク設定の初期化](#)」参照)。LANボードの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。初期化を行う前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えてください(「[コンフィグレーションページの印刷](#)」参照)。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーター等を介さないで接続された環境で行ってください。

ここでは、設定例としてコンピューターのIPアドレスを「123.123.123.1」、プリンターに設定するIPアドレスを「123.123.123.123」とします。

1. プリンターの電源をOFFにし、再度電源をONにする。

(画面表示例)

2. コマンドプロンプトを開き、routeコマンドを実行する。

```
>route add 11.22.33.44 <コンピューターのIPアドレス>  
(実行例)  
>B: ¥ users ¥ default ¥ route add 11.22.33.44 123.123.123.1
```

Pinging 11.22.33.44 with 32bytes of data:

```
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32  
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32  
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32  
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
```

3. pingコマンドを実行する。

```
>ping 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。

4. arpコマンドを実行する。

```
>arp -a 11.22.33.44
```

次ページのような画面が表示されます。

(画面表示例)

Interface: 123.123.123.1

Internet Address	Physical Address	Type
11.22.33.44	00-00-4C-29-00-00	dynamic

Physical Addressには、ネットワークに接続されているプリンターのMACアドレスが表示されます。複数のプリンターが接続されている場合には、その中の1つが表示されます。IPアドレスを設定するプリンターの電源のみをONにして設定することをお勧めします。

5. IPアドレスをコンピューターへ登録する。

以下のarpコマンドを実行します。

```
>arp -s <プリンターに設定するIPアドレス>  
      <設定するプリンターのMACアドレス>
```

(実行例)

```
>B: ¥ users ¥ default ¥ arp -s 123.123.123.123 00-00-4C-29-00-00
```

6. pingコマンドを実行する。

```
>ping <プリンターに設定するIPアドレス>  
(実行例)
```

```
>B: ¥ users ¥ default ¥ ping 123.123.123.123
```

以上でIPアドレスの設定は終了です。

コンフィグレーションページを印刷して、IPアドレスが正しく設定されたことを確認してください([「コンフィグレーションページの印刷」](#)参照)。

続いて他のプリンターのIPアドレスを変更する場合は、

```
>arp -d 11.22.33.44
```

を実行後、[手順3](#)から設定を行ってください。

DHCP

DHCPを使用すると、DHCPサーバー（Windows 2000 Server、Windows NT Server、またはUNIX Server）からIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを自動的に取得することができます。これによりDHCPサーバーにIPアドレスの登録を行うだけで個々のLANボードに対するIPアドレスの設定が不要となります。



重要

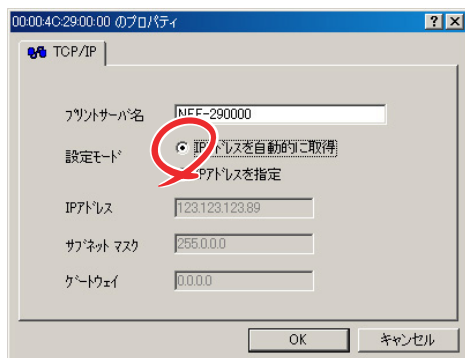
- 工場出荷時の設定では、[DHCPを使用しない]に設定されています。次に説明する方法で設定を変更してから使用してください。
- LANボードに割り当てるIPアドレスは固定です。毎回、IPアドレスが変わると印刷データの送信先が不明となり、プリンターに印刷データが送信されなくなります。これを避けるために必ずDHCPサーバーでIPアドレスの予約をしてください（[「DHCPサーバーの設定」](#)参照）。すでにIPアドレスが設定されている環境では、WWWブラウザまたはTelnetを使用してDHCPをオンにすることができます。

DHCPの設定

LANボードのDHCP設定には次の2つの方法があります。

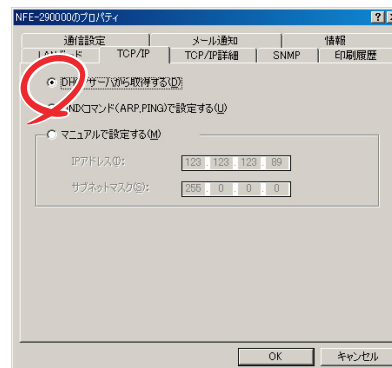
● EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「EASY設定ユーティリティ」を使用して設定します。プリンターのMACアドレスを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックすると表示される[TCP/IP]シート上で[IPアドレスを自動的に取得]を選択してください。



● PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用して設定します。プリンターを選択して[プロパティ]ダイアログボックスを開き、[TCP/IP]シート上で、[DHCPサーバから取得する]を選択してください。詳しくは、「3 ユーティリティの詳細」の[「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」](#)をご覧ください。



DHCPサーバーの設定

LANボードのDHCP機能を使用するためには、DHCPサーバーとしてWindows 2000 Server/Windows NT Server、またはUNIX Serverが必要です。ここではWindows 2000 ServerとWindows NT Server 4.0によるDHCPサーバーの設定について説明します。



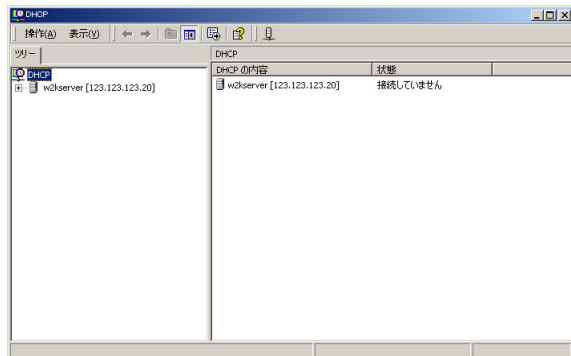
- Windows 2000 Professional/Windows NT WorkstationはDHCPサーバー機能をサポートしていません。
- UNIXサーバーについては、OSのマニュアルを参照してください。

Windows 2000 Serverの場合

DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows 2000 Serverに「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。「DHCPサーバー」のインストールについては、Windows 2000 Serverのヘルプを参照してください。

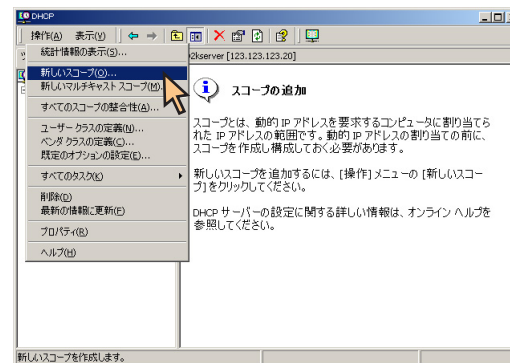
1. DHCPを起動する。

[スタート]をクリックし、[プログラム]、[管理ツール]をポイントします。次に[DHCP]をクリックします。

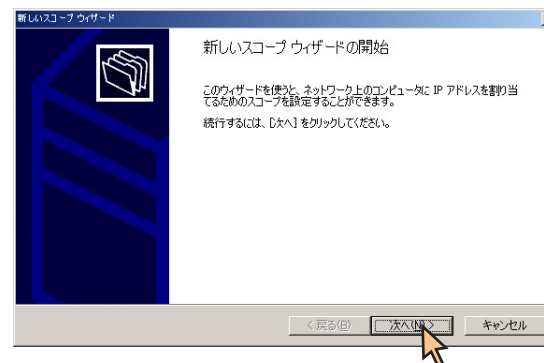


2. DHCPサーバー(ここでは「w2kserver」)を選択し、[操作]メニューから[新しいスコープ]をクリックする。

新しいスコープウィザードが起動します。



3. [次へ]をクリックする。



4. 任意のスコープ名を入力し、[次へ]をクリックする。

ここでは、例として「IPSCOPE」と入力します。

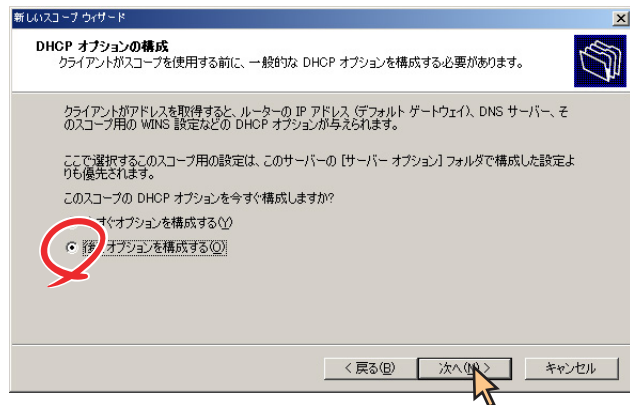
5. DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの範囲とサブネットマスクを入力し、[次へ]をクリックする。

6. 手順5で入力したIPアドレスの範囲で、割り当てに使用したくないIPアドレスがあれば入力し、[次へ]をクリックする。

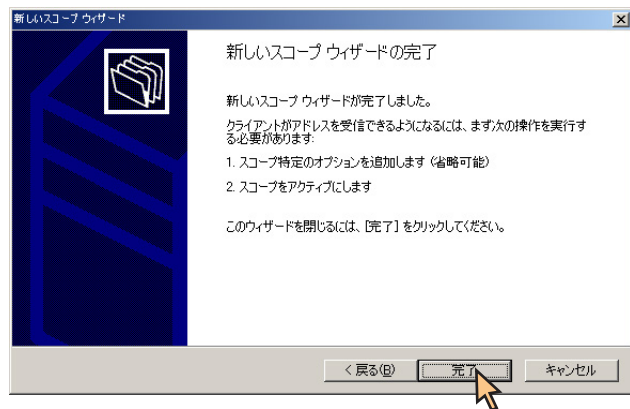
7. LANボードが割り当てられたIPアドレスが使用できる期間を設定し、[次へ]をクリックする。

8. [後でオプションを構成する]を選択し、[次へ]をクリックする。

ここで、オプション設定を行う場合は、[今すぐオプションを構成する]を選択し、ウィザードの指示に従ってください。

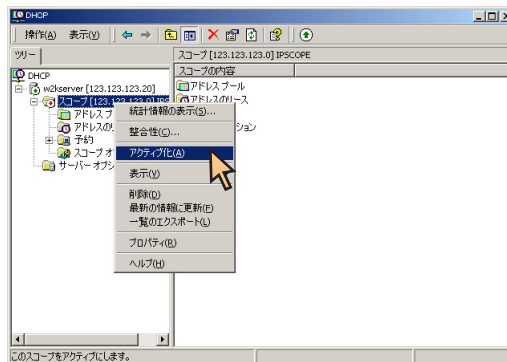


9. [完了]をクリックして、ウィザードを終了する。



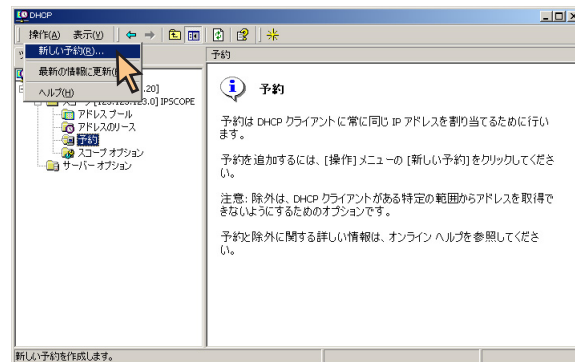
10. [スコープ](ここでは「スコープ[123.123.123.0][IPSCOPE]」)上で右クリックし、[アクティブ化]をクリックする。

手順9までの手順で作成したスコープ「IPSCOPE」をアクティブにするために必要な設定です。



11. 手順9までの手順で作成したスコープ「IPSCOPE」の[スコープ] - [予約]を選択し、[操作]メニューから[新しい予約]をクリックする。

LANボードに常時、同じIPアドレスが割り当てられるようにするために必要な設定です。



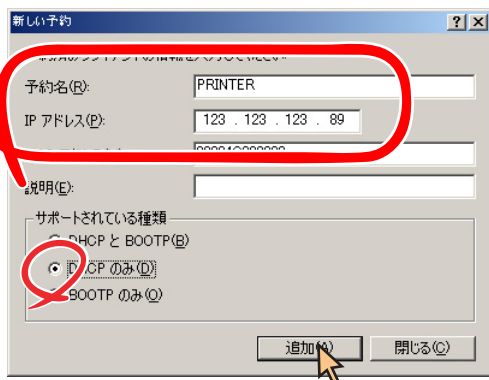
12. LANボードに割り当てたいIPアドレスを入力し、[予約名]に任意の名前を入力する。

ここでは、例として「PRINTER」と入力します。



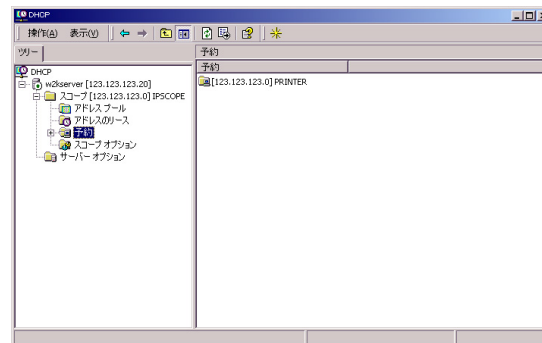
[サポートされている種類]は、必ず「DHCPのみ」を選択してください。

13. [追加]をクリックする。



14. [閉じる]をクリックする。

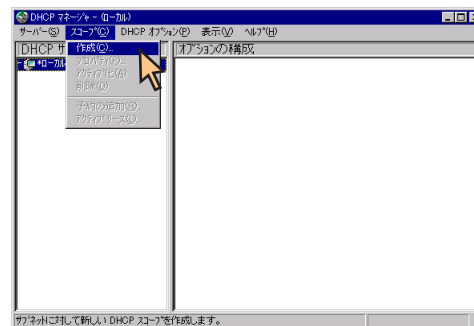
以上で設定は完了です。以下のような画面が表示されます。



Windows NT Server 4.0の場合

DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows NT Server 4.0に「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。DHCPサーバーのインストールについては、Windows NT Server 4.0のヘルプを参照してください。

1. [ネットワーク管理]グループのDHCPマネージャを起動する。
2. メニューバーの[スコープ]メニューから[作成]を選択し、スコープを作成する。



3. [スコープの作成]ダイアログボックスで以下の設定を入力する。

- IPアドレスプールの開始アドレス (必須)
- IPアドレスプールの終了アドレス (必須)
- サブネットマスク (必須)
- 除外範囲の開始アドレス (必要時)
- 除外範囲の終了アドレス (必要時)
- ソース期間の設定 (必要時)

4. [OK]をクリックし、[スコープの作成]ダイアログボックスを閉じる。

5. [DHCPマネージャ]ダイアログボックスのメニューバーの[スコープ]メニューから[予約の追加]を選択する。

[予約クライアントの追加]ダイアログボックスが開きます。



DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANボードには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この[予約の追加]では、LANボードの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANボードに割り当てることができるようになります。

6. 以下の情報を入力する。

- IPアドレス：LANボードのIPアドレス (必須)
- 一意のID：LANボードのMACアドレス (必須)
- クライアント名：任意の名前 (必須)
- クライアントコメント：任意のコメント (必要時)



IPアドレスはスコープ作成時に設定したIPアドレスプールの範囲内で設定してください。

7. [追加]をクリックし、[予約クライアントの追加]ダイアログボックスを閉じる。

以上で設定は完了です。

DHCPの動作について

LANボードのDHCP設定を有効にした場合の動作について説明します。
DHCP機能を使用するためには、ネットワーク上にDHCPサーバーが必要です。
LANボードに電源が供給されると、DHCPサーバーを自動的に検索します。ネットワーク上に複数のDHCPサーバーが存在する場合は、最初に応答を受け取ったDHCPサーバーと通信し、IPアドレスのリース(貸し出し)を受けます。LANボード用にIPアドレスの予約を行ったDHCPサーバーのみのネットワーク環境で使用してください。



チェック

- IPアドレスの予約を行っていないDHCPサーバーからIPアドレスがリースされるとLANボードは誤って登録されたIPアドレスで動作します。一度受信したIPアドレスを解放するには以下のどちらかを行ってください。
 - ◇ DHCP設定を1度無効にする。
 - ◇ LANボードの設定を初期化する(「[ネットワーク設定の初期化](#)」参照)。
- DHCPはルーターを越えたネットワーク上のDHCPサーバーと通信することができます。ルーターを使用している場合は、ルーターのリレーエージェントの設定を確認してください。

LANボードのDHCP機能を有効にし、起動時にDHCPサーバーが検索されなかった場合、LANボードは1分周期でDHCPサーバーの検索を継続します。



チェック

- 一度DHCP機能を有効にしたLANボードの設定を無効にする場合は、以下のどちらかを行ってください。
- LANボードの設定を初期化する(「[ネットワーク設定の初期化](#)」参照)。
 - UNIXコマンドによりIPアドレスを設定変更する(「UNIXコマンド」の[手順5以降](#)を参照)。

ネットワーク設定の初期化

MultiWriter 2800N/2300Nに標準実装されているLANボードおよびオプションのLANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP)のIPアドレスなどネットワーク設定情報を初期化する方法について説明します。

**チェック**

MultiWriter 2800N/2300Nに標準実装されているLANボードおよびオプションのLANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP)を実装しているMultiWriter 2800での初期化は、プリンターの操作パネルから行います。以下のLANボード／LANアダプターの初期化については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- LANボード(PR-NP-01T2)
- 無線LANプリンタボード(PR-WL-11)
- LANアダプタ(PR-NP-02T2)
- マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01、PC-PR-L02)

1. [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



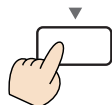
2. [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー→”を表示します。



テストメニュー →

3. ディスプレイに“セッテイショキカメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。



セッテイショキカメニュー →

4. [▶]スイッチを1回押す。



5. [▼]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段には“←LANショキカ ジッコウ→”と表示されます。

セッテイショキカメニュー
←LANショキカ ジッコウ→

6. [▶]スイッチを1回押す。

ネットワークの設定が初期値に戻ります。

コンフィグレーションページの印刷

コンフィグレーションページとは、LANボードのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレス等のネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷です。ネットワークケーブルを接続したとき、ネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページ印刷を行い、設定内容の確認をしてください。コンフィグレーションページの印刷方法について説明します。



チェック

MultiWriter 2800N/2300Nに標準実装されているLANボードおよびオプションのLANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP)を実装しているMultiWriter 2800のコンフィグレーションページの印刷は、プリンターの操作パネルから行います。以下のLANボード／LANアダプターのコンフィグレーションページの印刷の手順については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- LANボード(PR-NP-01T2)
- 無線LANプリンタボード(PR-WL-11)
- LANアダプタ(PR-NP-02T2)
- マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01、PC-PR-L02)

1. プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったことを確認します。

2. [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



3. [メニュー]スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。



テストメニュー



4. [▶]スイッチを1回、[▼]スイッチを4回押す。

ディスプレイ下段には“←LANステータス ジックウ→”と表示されます。



テストメニュー
←LANステータス ジックウ→

5. [▶]スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターは[インタフェース3]に標準装備されたLANボードの設定情報を印刷します。



インサツチュウ

6. コンフィグレーションページを参照してLANボードの設定内容を確認する。

以下の印刷例を参考にしてください。印刷例は工場出荷時における印刷例です。



ネットワークへ接続した後やプリンターの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

	NEC Network Interface Configuration Page	
	<Network Information>	
	F/W Version	: 02.01
* 1	ID Number	: NFE-290000
* 1	Printer Name	: NFE-290000
* 1	MAC Address	: 00:00:4C:29:00:00
	H/W Description	: NEC NetworkPrinter700080
	10Base/100Base	: "Auto (100Base)"
	Half/Full Duplex	: "Auto (Full Duplex)"
	Printing Log	: "Off"
	<Self-Diagnosis>	
	Link Test	: "OK"
	Network Status	: "OK"
	<TCP/IP>	
* 2	IP Address	: 11. 22. 33. 44
* 2	Subnet Mask	: 255. 0. 0. 0
	Gateway Address	: 0. 0. 0. 0
	Auto IP Address	: "On"
	Max. Number of Session	: 64
	Session Timeout [sec]	: 120
	Keep Alive	: "On"
	FTP Timeout [min]	: 10
	DHCP	: "Off"
	e-Mail Service	: "Off"
	Current Active Session	: 0

* 1 ID Number、Printer Name、およびMAC AddressはLANボード個々の情報を示します。

* 2 IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。

(空白ページ)

2

OSの設定

～ネットワーク印刷のために～

この章では、各OSへの設定について説明しています。印刷方法にはIPP、LPR、PrintAgentがあります。設定方法はOSごとに異なりますので、ご使用のOSのページを参照してください。



チェック

- PrintAgentは、インターネット印刷プロトコル(IPP)やLPRプロトコルに対応していません。プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、ユーザーズマニュアルを参照してください。
- インターネット印刷プロトコル(IPP)を使用した印刷の設定を行う場合には、プリンターの電源をONにする必要があります。

- [Windows Me 日本語版](#)
- [Windows 98/95 日本語版](#)
- [Windows 2000 日本語版](#)
- [Windows NT 4.0 日本語版](#)
- [Windows 3.51 日本語版](#)
- [Macintosh](#)
- [UNIX](#)

OSの設定を行った後に、ネットワークを介しての印刷がうまくいかなかったときは「[ネットワークで思うように印刷できないときは](#)」を参照してください。

Windows Me 日本語版

Windows Meからプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows Meから印刷するためには、以下の2つの方法があります。

- [NEC TCP/IP Printing System](#) (PrintAgent) 添付のプリンターソフトウェアCD-ROMからプリンターソフトウェアをインストールして印刷します。
- [IPP \(Internet Printing Protocol\)](#) Windows MeのCD-ROMに収録されているIPPクライアントソフトウェアを使用して印刷します。

これらのソフトウェアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「[IPアドレスの設定](#)」を参照してIPアドレスを設定してください。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウェアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing System

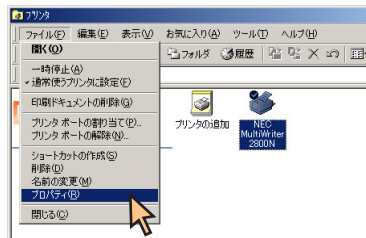
NEC TCP/IP Printing System (NEC TCP/IP Port) を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル「プリンターソフトウェアのインストール」を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

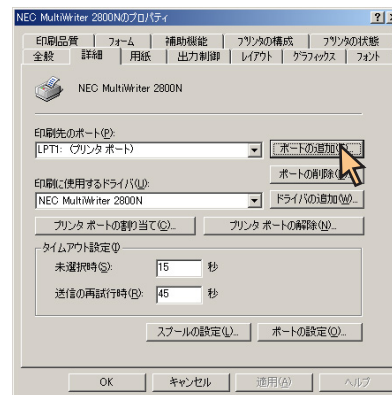
1. [MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします (MultiWriter 2800Nの場合)。

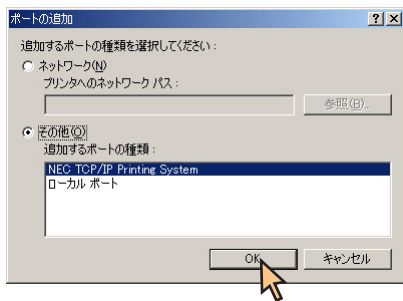


2. [詳細]タブをクリックする。

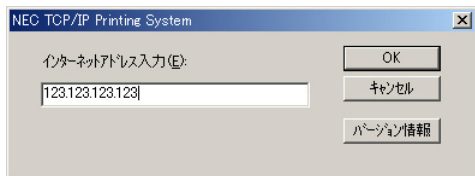
3. [ポートの追加]をクリックする。



4. [その他]、[追加するポートの種類]で[NEC TCP/IP Printing System]を選び、[OK]をクリックする。



5. [インターネットアドレス入力]ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力する。



6. [OK]をクリックする。

[MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメイン名について

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメイン名を使用することができます。

ドメイン名を使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメイン名が登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピュータの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメイン名は階層構造により「. (ドット)」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメイン名は「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。ただし、クライアントコンピュータが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。



ドメイン名として入力可能な文字の長さは最大127文字(127バイト)です。

DNSサーバーとクライアントコンピュータの詳しい設定に関してはホストコンピュータのマニュアルを参照してください。

IPP(Internet Printing Protocol)

Windows Me環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

1 IPPクライアントソフトウェアのインストール

IPPクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

1. 「Windows Me」CD-ROMをセットする。
2. [スタート]－[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
3. 「Q:¥add-ons¥ipp¥wppnins.exe」と入力し、[OK]をクリックする。
「Q」は、CD-ROMを挿入したドライブ名です。

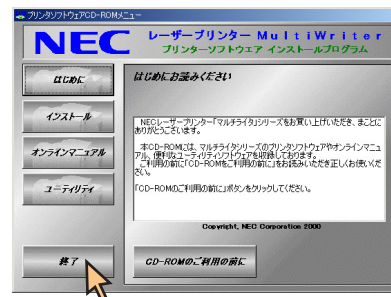


[¥add-ons¥ipp] フォルダにある[ipp.txt]を必ずお読みください。

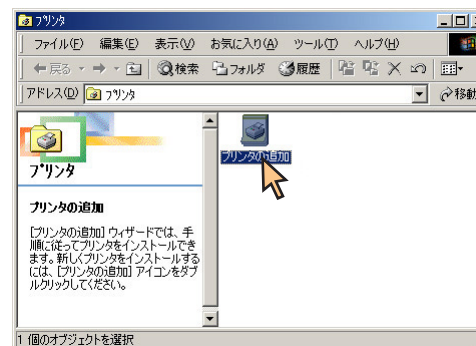
2 プリンターの作成

プリンターを作成します。次の手順に従ってください。

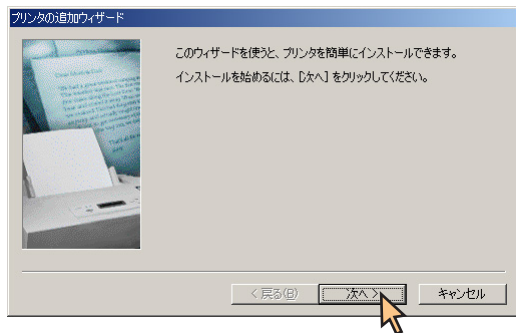
1. プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
2. [終了]をクリックする。



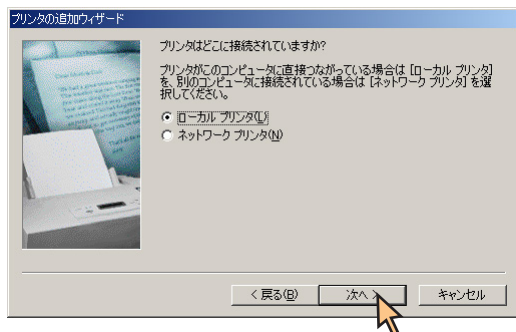
3. [プリンタ]フォルダーを開く。
4. [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。



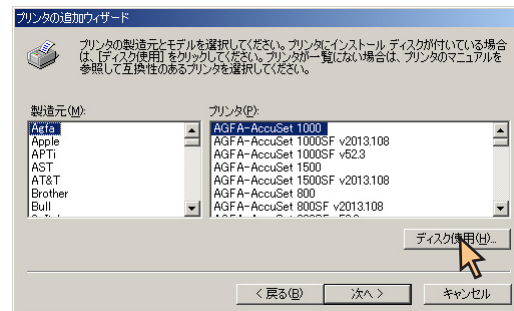
5. [次へ]をクリックする。



6. [ローカルプリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。

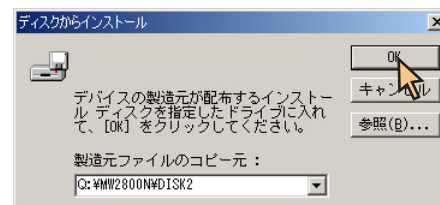


7. [ディスク使用]をクリックする。

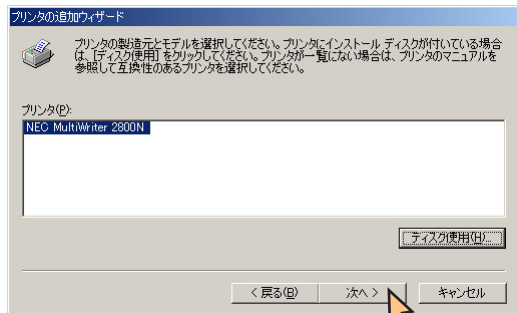


8. [製造元ファイルのコピー元]を入力して、[OK]をクリックする。

[製造元ファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK2」と入力します。

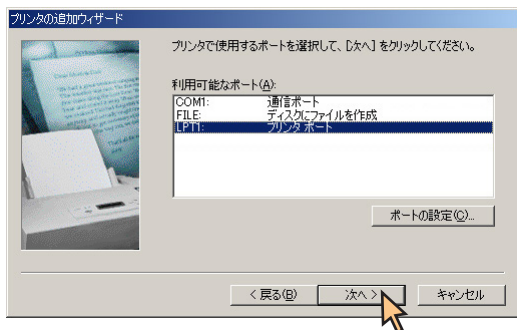


9. 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。



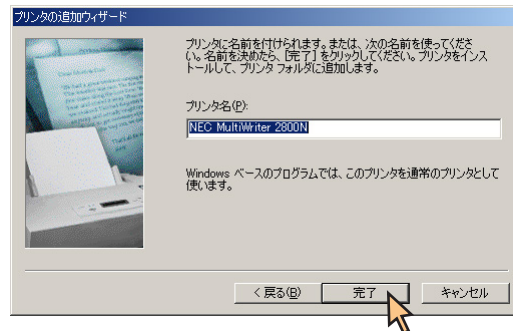
10. [LPT1:]を選び、[次へ]をクリックする。

次の「**3** 印刷先の変更」でIPPポートを作成します。



11. プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

プリンタードライバーがインストールされます。



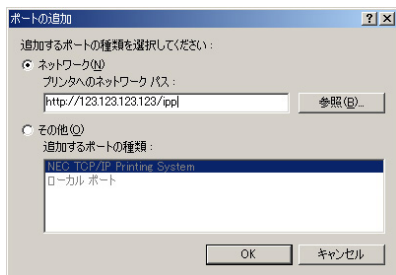
12. [キャンセル]をクリックする。



3 印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

1. [MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。
[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックし、
[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします(MultiWriter 2800Nの
場合)。
2. [詳細]タブをクリックする。
3. [ポートの追加]をクリックする。
4. [プリンタへのネットワークパス]ボックスにプリンターのアドレスを入力する。



入力可能な形式は「http://」に限られます。

(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合

http://123.123.123.123/ipp

5. [OK]をクリックする。

この後、テストページを印刷する場合は、[MultiWriter 2800Nのプロパティ]
ダイアログボックスの[全般]シートで[印字テスト]をクリックしてくださ
い。テストページが印刷されます。

以上で設定は完了です。

Windows 98/95 日本語版

Windows 98/95からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 98/95から印刷するためには以下の2つの方法があります。

- [NEC TCP/IP Printing System](#) (PrintAgent) 添付のプリンターソフトウェアCD-ROMからプリンターソフトウェアをインストールして印刷します。
- [NEC Internet Printing System](#) (IPP) プリンターに添付のCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用して印刷します。

これらのソフトウェアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「[IPアドレスの設定](#)」を参照してIPアドレスを設定してください。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウェアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing System

NEC TCP/IP Printing System (NEC TCP/IP Port) を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル「プリンターソフトウェアのインストール」を参照してください。以下の手順はWindows 98 日本語版で説明しています。Windows 95 日本語版の場合も同じ手順です。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

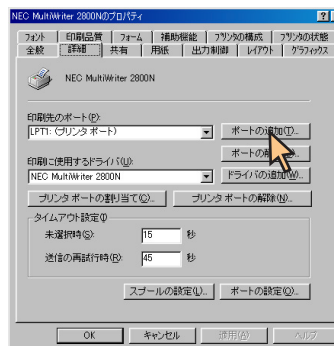
1. [MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします (MultiWriter 2800Nの場合)。

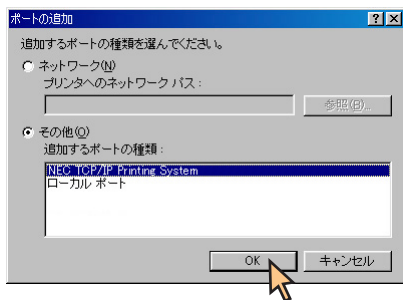


2. [詳細]タブをクリックする。

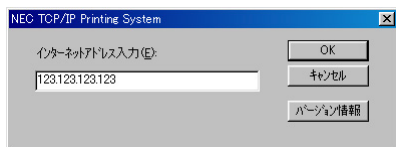
3. [ポートの追加]をクリックする。



4. [その他]、[追加するポートの種類]で[NEC TCP/IP Printing System]を選び、[OK]をクリックする。



5. [インターネットアドレス入力]ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。



6. [OK]をクリックする。

[MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピュータの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「. (ドット)」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。ただし、クライアントコンピュータが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。



ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字(127バイト)です。

DNSサーバーとクライアントコンピュータの詳しい設定に関してはホストコンピュータのマニュアルを参照してください。

NEC Internet Printing System(IPP)

Windows 98/95の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。NEC Internet Printing Systemを使用します。



- NEC Internet Printing Systemは、プロキシサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは[プリンタ]フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。ダイヤルアップルーターを使用してインターネットに接続している環境では、通信による課金が発生することがあります。

以下の手順はWindows 98 日本語版で説明しています。Windows 95 日本語版の場合も同じ手順です。

1 NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

1. プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー] ダイアログボックスが表示されます。



お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

2. [ユーティリティ]をクリックする。



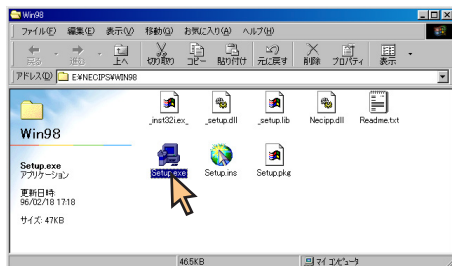
3. 「NEC Internet Printing System for Windows 98/95」を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。



[¥NECIPS¥WIN98] フォルダにある [Readme.txt] を必ずお読みください。



4. [Setup.exe]アイコンをダブルクリックする。

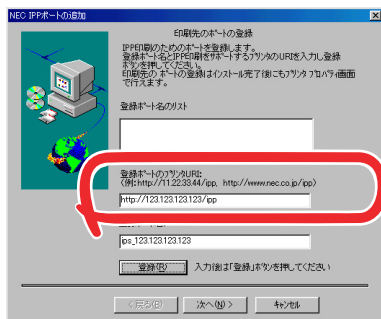


5. [次へ]をクリックする。



6. [登録ポートのプリンタURI]ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。

ここで[登録]を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。



(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123 (printer1.sample.nec.co.jp)」の場合

http://123.123.123.123/ipp
ipp://123.123.123.123/ipp
printer1.sample.nec.co.jp/ipp

✓ チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字(127バイト)です。

7. [登録]をクリックする。



8. [次へ]をクリックする。

9. [開始]をクリックする。

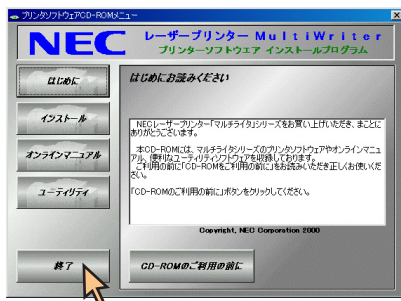
10. [OK]をクリックする。

2 プリンターの作成

プリンターを作成します。次の手順に従ってください。

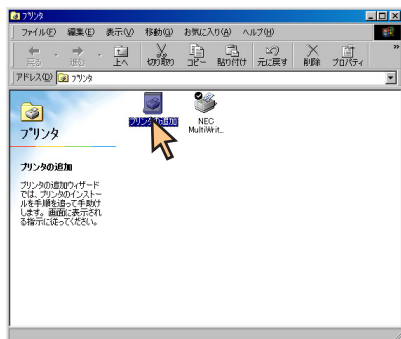
1. プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

2. [終了]をクリックする。

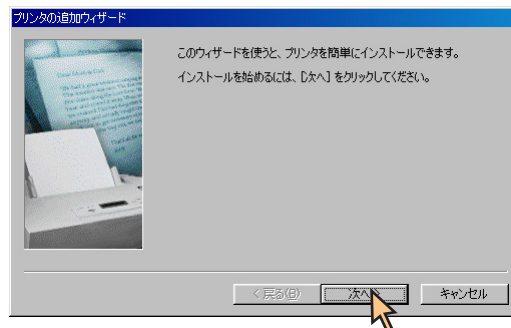


3. [プリンタ]フォルダーを開く。

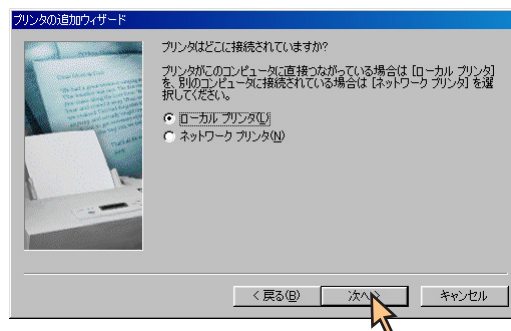
4. [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。



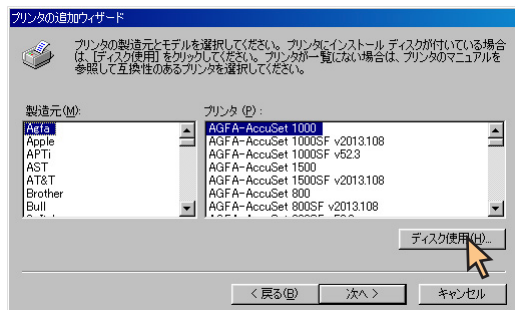
5. [次へ]をクリックする。



6. [ローカルプリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。

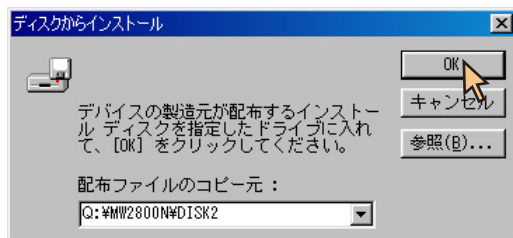


7. [ディスク使用]をクリックする。

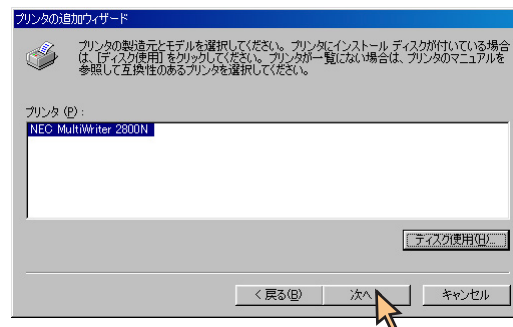


8. [配付ファイルのコピー元]を入力して、[OK]をクリックする。

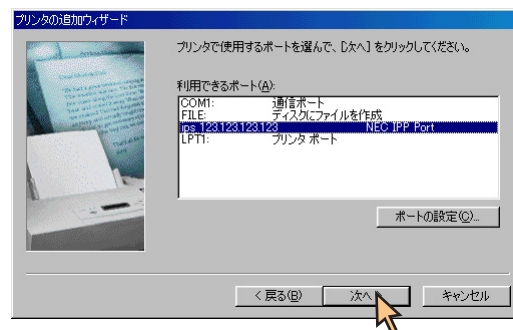
[配付ファイルのコピー元]に、CD-ROM を挿入したドライブ名、コロン (:), 円記号 (¥) に続けて「MW2800N¥DISK2」と入力します。



9. 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。

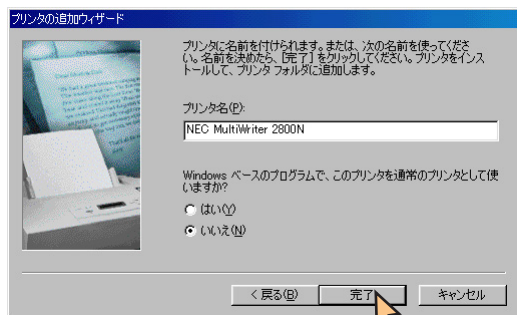


10. 使用するポートを選び、[次へ]をクリックする。

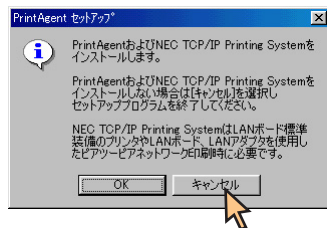


11. プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

プリンタードライバがインストールされます。



12. [キャンセル]をクリックする。



この後、テストページを印刷する場合は、[MultiWriter 2800Nのプロパティ] ダイアログボックスの[全般]シートで[印字テスト]をクリックしてください。テストページが印刷されます。

以上で設定は完了です。

印刷先の変更

NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

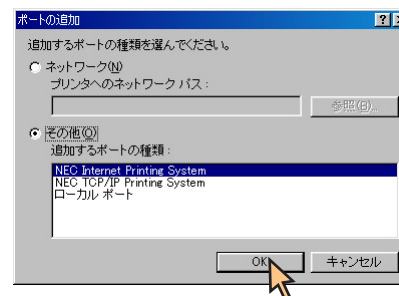
1. [MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします (MultiWriter 2800Nの場合)。

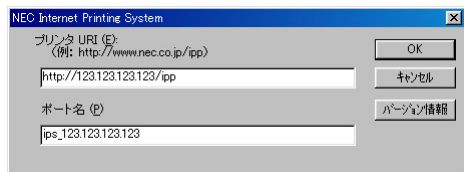
2. [詳細]タブをクリックする。

3. [ポートの追加]をクリックする。

4. [その他]、[追加するポートの種類]で[NEC Internet Printing System]を選択し、[OK]をクリックする。



5. [プリンタURI]ボックスにプリンターのURIを入力する。



(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123 (printer1.sample.nec.co.jp)」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp



IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字(127バイト)です。

6. [OK]をクリックする。

[MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

Windows 2000 日本語版

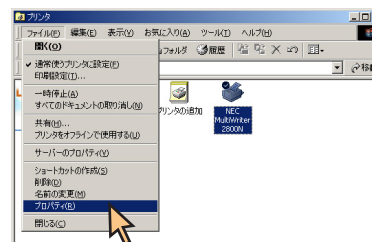
Windows 2000からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 2000から印刷するためには、以下の4つの方法があります。

- [NEC Network Port](#) (PrintAgent) 添付のプリンターソフトウェアCD-ROMからプリンターソフトウェアをインストールして印刷します。
- [IPP \(Internet Printing Protocol\)](#) Windows 2000に標準で実装されているソフトウェアを使用して印刷します。
- [UNIX用印刷サービス \(LPR\)](#) Windows 2000に標準で収録されているUNIX用印刷サービス (LPR) を使用して印刷します。
- [Standard TCP/IP Port \(LPR\)](#) Windows 2000に標準で収録されているStandard TCP/IP Port (LPR) を使用して印刷します。

これらのソフトウェアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「[IPアドレスの設定](#)」を参照してIPアドレスを設定してください。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウェアをインストールしてください。

NEC Network Port

NEC Network Port (NEC TCP/IP Port) を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル「プリンターソフトウェアのインストール」を参照してください。



印刷先の変更

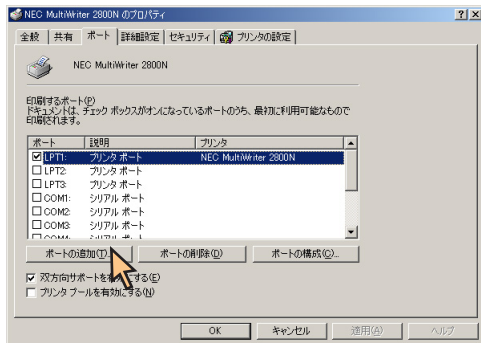
印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

1. [プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

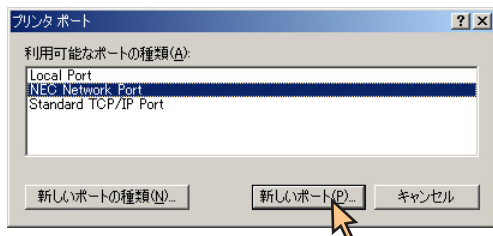
[プリンタ] フォルダーの [NEC MultiWriter 2800N] アイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします (MultiWriter 2800N の場合)。

2. [ポート] タブをクリックする。

3. [ポートの追加]をクリックする。



4. [利用可能なポートの種類]で[NEC Network Port]を選び、[新しいポート]をクリックする。



5. [インターネットアドレス入力]ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力する。



6. [OK]をクリックする。

7. [閉じる]をクリックする。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピュータの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「. (ドット)」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。ただし、クライアントコンピュータが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。



ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字(127バイト)です。

DNSサーバーとクライアントコンピュータの詳しい設定に関してはホストコンピュータのマニュアルを参照してください。

IPP(Internet Printing Protocol)

Windows 2000の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

1. プリンターに添付のプリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

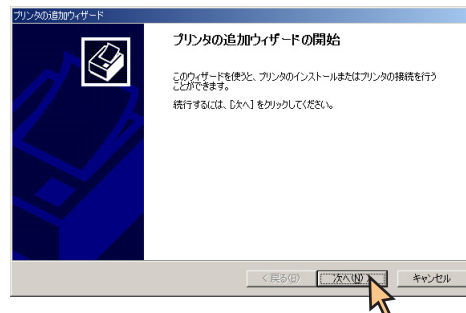
[プリンターソフトウェアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

2. [終了]をクリックする。

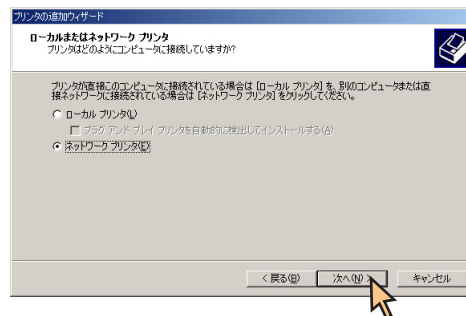


3. [プリンタ]フォルダーの[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。

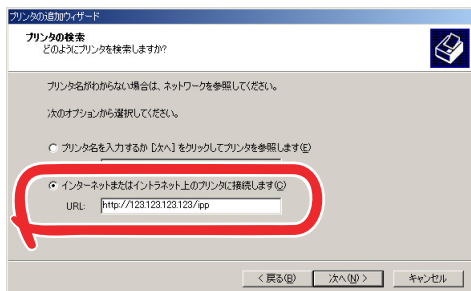
4. [次へ]をクリックする。



5. [ネットワークプリンタ]を選択して、[次へ]をクリックする。



6. [インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します]を選択して、[URL]ボックスに登録するプリンタのIPアドレスを含むアドレスを入力する。



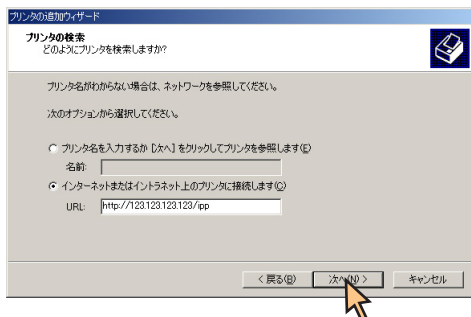
入力可能な形式は「http://」に限られます。

(入力例)

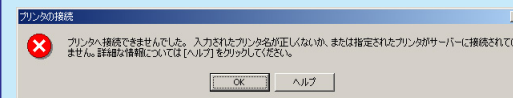
IPアドレスが「123.123.123.123」の場合

http://123.123.123.123/ipp

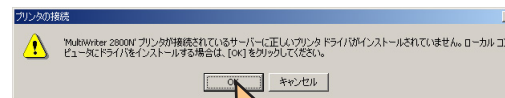
7. [次へ]をクリックする。



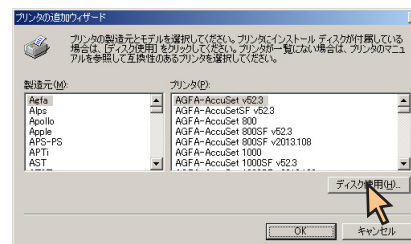
該当するプリンターの電源が入っていないまたはIPアドレスが正しくない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。



8. [OK]をクリックする。

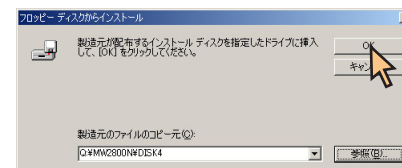


9. [ディスク使用]をクリックする。

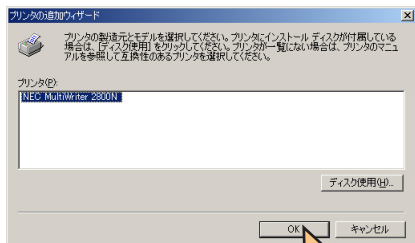


10. [製造元のファイルのコピー元]を入力し、[OK]をクリックする。

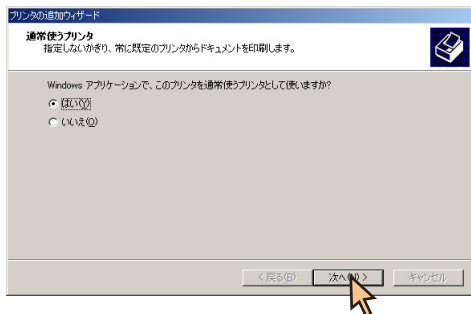
[製造元のファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK4」と入力します。



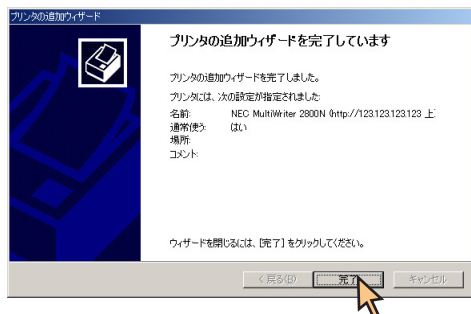
11. 使用するプリンターを選び、[OK]をクリックする。



12. [通常使うプリンタ]に設定するか、しないかを選び、[次へ]をクリックする。



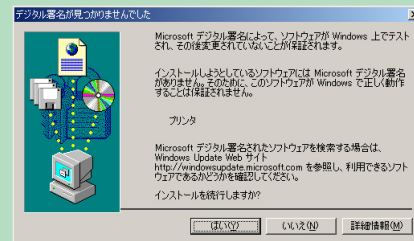
13. [完了]をクリックする。



[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウェアは、弊社により動作を確認しております。

[はい]をクリックし、インストールを続行します。

[いいえ]をクリックした場合は、インストールが中止されます。



以上で設定は完了です。

UNIX用印刷サービス(LPR)

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。はじめに、UNIX用印刷サービス(LPR)を使用した印刷を行うための方法を説明します。



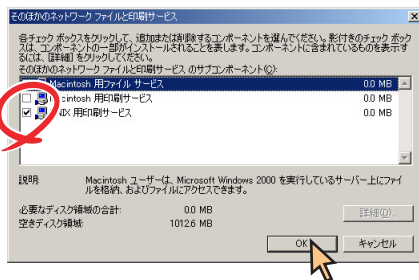
UNIX用印刷サービス(LPR)を使用する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

まず、使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「[プリンターの追加](#)」へ進んでください。

UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows 2000のヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

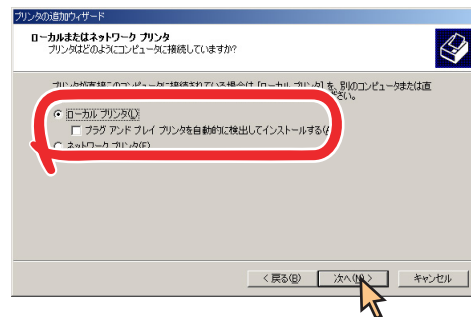
1. コントロールパネルの[ネットワークとダイアルアップ接続]ダイアログボックスを開く。
2. [詳細設定]メニューの[オプション ネットワーク コンポーネント]をクリックする。
3. [その他のネットワーク ファイルと印刷サービス]を選択し、[詳細]をクリックする。
4. [UNIX用印刷サービス]をチェックして、[OK]をクリックする。



次に「プリンターの追加」へ進んでください。

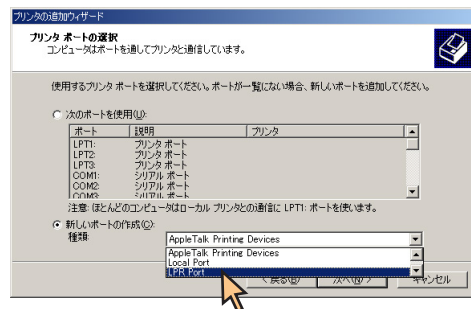
プリンターの追加

1. [プリンタ]フォルダーを開く。
2. [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックし、[次へ]をクリックする。
3. [ローカル プリンタ]を選択し、[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して[次へ]をクリックする。



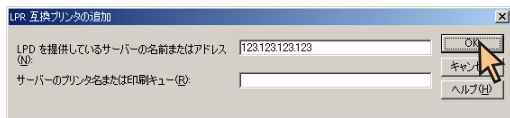
4. [新しいポートの作成]をクリックし、[LPR Port]を選択する。

[LPR Port]が表示されない場合は、[UNIX用印刷サービス]をインストールしてください。



5. [次へ]をクリックする。

6. [LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス]ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、[OK]をクリックする。



7. 画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了する。

以上で設定は完了です。

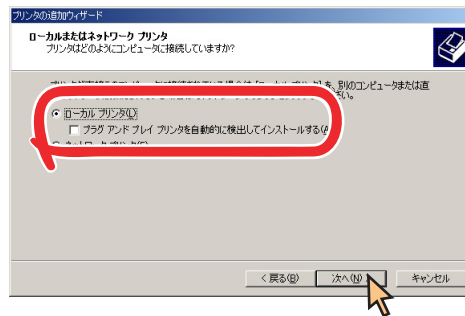
Standard TCP/IP Port (LPR)

Windows 2000の環境でLPRを使用して印刷するまでの設定方法について説明します。

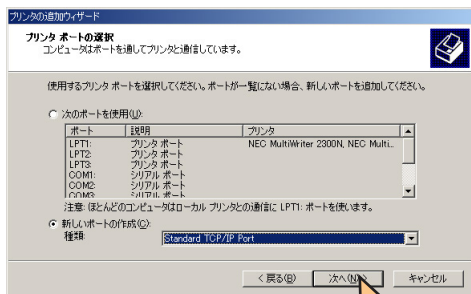


Standard TCP/IP Port (LPR) を使用する場合、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

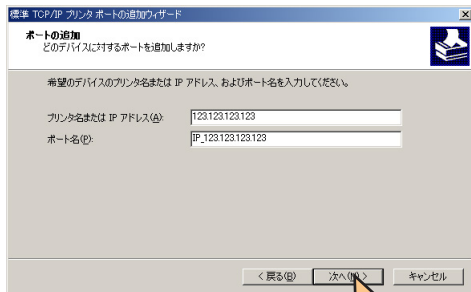
1. [プリンタ]フォルダーを開く。
2. [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。
3. [ローカルプリンタ]を選択し、[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して、[次へ]をクリックする。



4. [新しいポートの作成]、[Standard TCP/IP Port]を選び、[次へ]をクリックする。



5. [プリンタ名またはIPアドレス]ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックする。



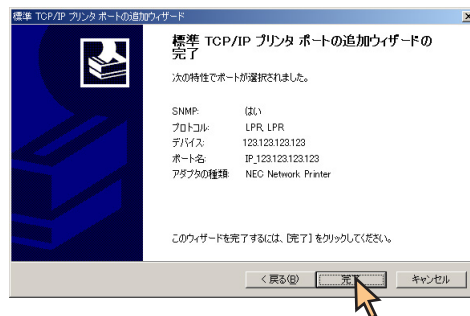
DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順6へ進んでください。

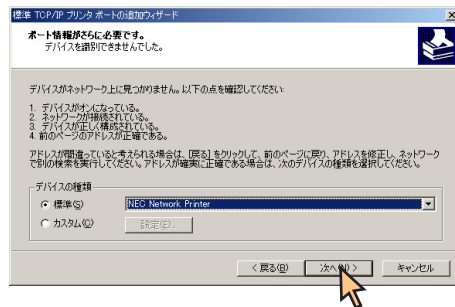
ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順7へ進んでください。

6. 内容を確認し、[完了]をクリックする。

画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了してください。次に「[LPRバイトカウント機能](#)」へ進んでください。



7. [デバイスの種類]の[標準]をクリックし、[NEC Network Printer]を選び、[次へ]をクリックする。



8. 画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了する。

プリンターのドライバー選択画面では、対応するプリンターを選択して、ドライバーのインストールを完了してください。

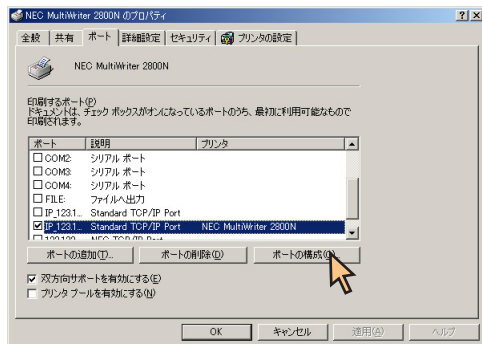
次に「[LPRバイトカウント機能](#)」へ進んでください。

LPRバイトカウント機能

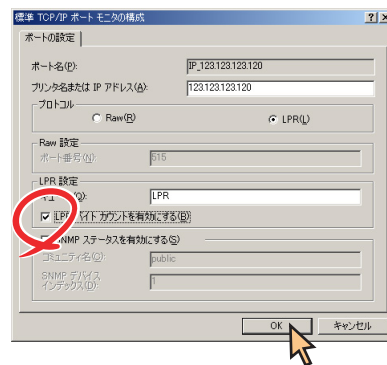
LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

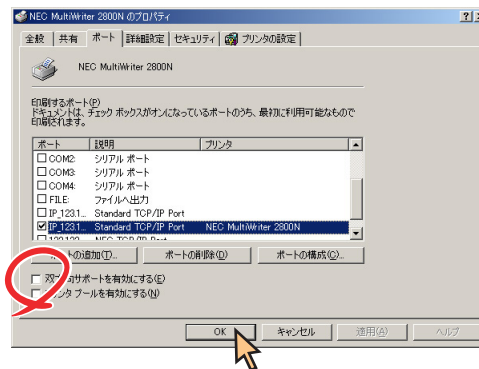
1. [プリンタ]フォルダー内に作成されたプリンターの[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。
2. [ポート]タブをクリックする。
3. [ポートの構成]をクリックする。



4. [LPRバイトカウントを有効にする]をチェックして、[OK]をクリックする。



5. [双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、[OK]をクリックする。



以上で設定は完了です。

Windows NT 4.0 日本語版

Windows NT 4.0からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows NT 4.0から印刷するためには、以下の3つの方法があります。

- [NEC Network Port](#) (PrintAgent) 添付のプリンターソフトウェアCD-ROMからプリンターソフトウェアをインストールして印刷します。
- [NEC Internet Printing System \(IPP\)](#) プリンターに添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用して印刷します。
- [Microsoft TCP/IP印刷 \(LPR\)](#) Windows NT 4.0に標準で収録されているTCP/IP印刷サービスのLPRプロトコルを使用して印刷します。

これらのソフトウェアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「[IPアドレスの設定](#)」を参照してIPアドレスを設定してください。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウェアをインストールしてください。

NEC Network Port

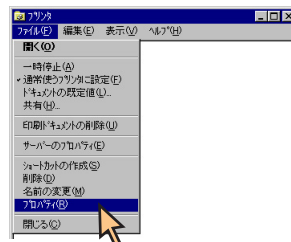
NEC Network Port (NEC TCP/IP Port) を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについてはユーザーズマニュアル「プリンターソフトウェアのインストール」を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

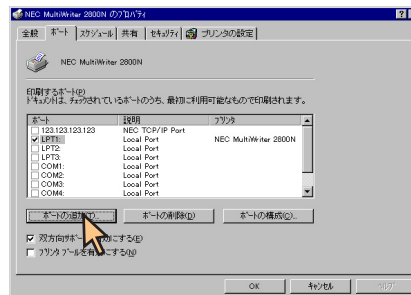
1. [プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします (MultiWriter 2800Nの場合)。

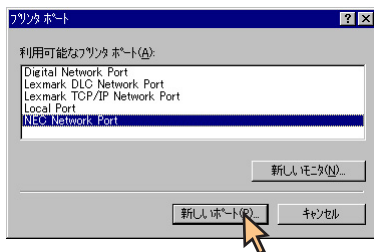


2. [ポート]タブをクリックする。

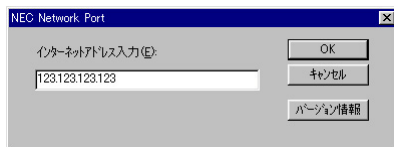
3. [ポートの追加]をクリックする。



4. [利用可能なプリンタポート]で[NEC Network Port]を選び、[新しいポート]をクリックする。



5. [インターネットアドレス入力]ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力する。



6. [OK]をクリックする。

7. [閉じる]をクリックする。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメイン名について

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメイン名を使用することができます。

ドメイン名を使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメイン名が登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピュータの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメイン名は階層構造により「. (ドット)」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメイン名は「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。ただし、クライアントコンピュータが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。



ドメイン名として入力可能な文字の長さは最大127文字(127バイト)です。

DNSサーバーとクライアントコンピュータの詳しい設定に関してはホストコンピュータのマニュアルを参照してください。

NEC Internet Printing System(IPP)

Windows NT 4.0 日本語版の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。NEC Internet Printing Systemを使用します。



- NEC Internet Printing Systemは、プロキシサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは[プリンタ]フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。ダイヤルアップルーターを使用してインターネットに接続している環境では、通信による課金が発生することがあります。

1 NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

1. プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー] ダイアログボックスが表示されます。



お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

2. [ユーティリティ]をクリックする。



3. [NEC Internet Printing System for Windows NT 4.0]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。



[¥NECIPS¥WINNT40] フォルダにある[Readme.txt]を必ずお読みください。



4. [Setup]アイコンをダブルクリックする。

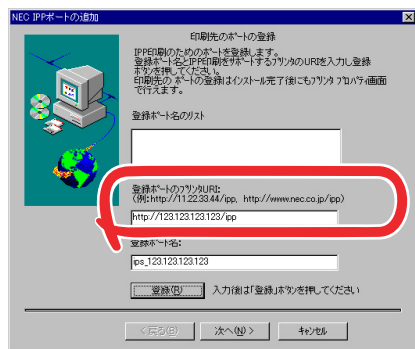


5. [次へ]をクリックする。



6. [登録ポートのプリンタURI]ボックスに登録するプリンターのアドレスを入力する。

ここで[登録]を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。



(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123 (printer1.sample.nec.co.jp)」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp



IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字(127バイト)です。

7. [登録]をクリックする。



8. [次へ]をクリックする。

9. [開始]をクリックする。



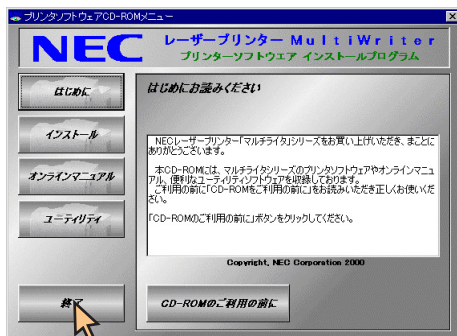
10. [OK]をクリックする。

2 プリンターの作成

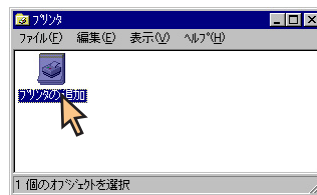
プリンターを作成します。次の手順に従ってください。

1. プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

2. [終了]をクリックする。



3. [プリンタ]フォルダーを開く。



5. [このコンピュータ]を選択して、[次へ]をクリックする。



6. 使用するポートを選び、[次へ]をクリックする。

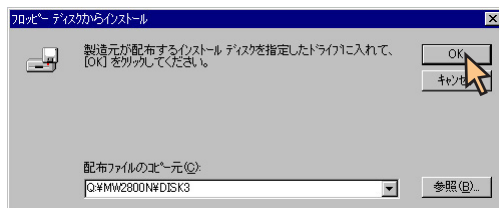


7. [ディスク使用]をクリックする。

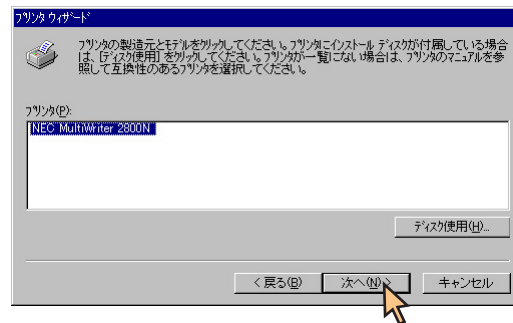


8. [配付ファイルのコピー元]を入力して、[OK]をクリックする。

[配付ファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK3」と入力します。



9. 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。



10. [次へ]をクリックする。



11. 必要に応じて共有設定をする。



12. [完了]をクリックして、終了する。



以上で設定は完了です。

印刷先の変更

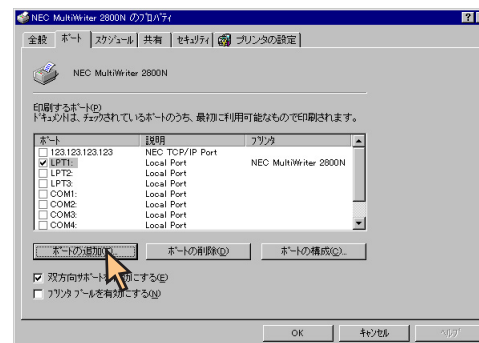
NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

1. [プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

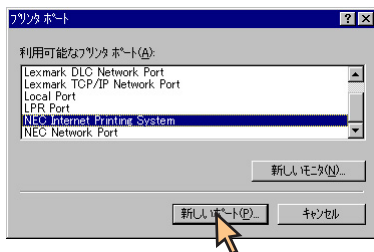
[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします(MultiWriter 2800Nの場合)。

2. [ポート]タブをクリックする。

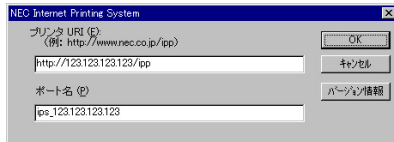
3. [ポートの追加]をクリックする。



4. [利用可能なプリンタポート]で[NEC Internet Printing System]を選択し、[新しいポート]をクリックする。



5. [プリンタ URI]ボックスにプリンターのIPアドレスを含むURIを入力する。



(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123 (printer1.sample.nec.co.jp)」の場合
 http://123.123.123.123/ipp
 ipp://123.123.123.123/ipp
 printer1.sample.nec.co.jp/ipp



チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字(127バイト)です。

6. [OK]をクリックする。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

Microsoft TCP/IP印刷(LPR)

Microsoft TCP/IP印刷(LPR)を使用した印刷を行うための方法を説明します。



重要

- Microsoft TCP/IP印刷(LPR)を使用した印刷を行うためには、プリンターに印刷データを送るWindows NT 4.0にLPR(OS添付のMicrosoft TCP/IP印刷サービス)をインストールする必要があります。
- LPRで印刷する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

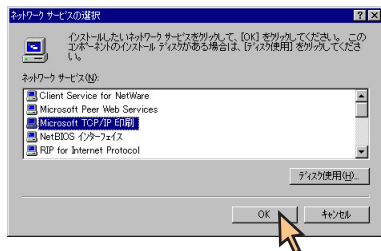
使用するコンピューターにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている場合は「[プリンターの追加](#)」へ進んでください。

Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール

Microsoft TCP/IP印刷を使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NT 4.0のヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール方法について説明します。

1. コントロールパネルの[ネットワーク]ダイアログボックスを開く。
2. [サービス]を選択し、[追加]をクリックする。

3. [ネットワークサービス]の一覧から[Microsoft TCP/IP 印刷]を選択し、[OK]をクリックする。

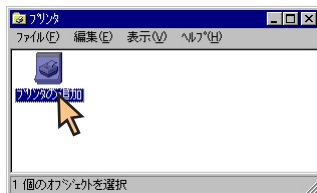


4. 画面に表示される指示に従ってインストールを完了する。

次に「プリンターの追加」へ進んでください。

プリンターの追加

1. [プリンタ]フォルダーを開く。
2. [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。



3. [このコンピュータ]を選択し、[次へ]をクリックする。



4. [ポートの追加]をクリックする。

5. [LPR Port]を選択し、[新しいポート]をクリックする。

[LPR Port]が表示されない場合は、[Microsoft TCP/IP 印刷] サービスをインストールしてください。

6. [lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス]ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

7. 画面に表示される指示に従ってプリンターのインストールを完了する。

以上で設定は完了です。

Windows NT 3.51 日本語版

Windows NT 3.51からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows NT 3.51から印刷するためには、以下の方法があります。

[Microsoft TCP/IP印刷\(LPR\)](#) OSに標準で収録されている「TCP/IP印刷サービス」のLPRプロトコルを使用して印刷します。

このソフトウェアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「[IPアドレスの設定](#)」を参照して、IPアドレスを設定してください。プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウェアをインストールしてください。

Microsoft TCP/IP印刷(LPR)

Microsoft TCP/IP印刷(LPR)を使用した印刷を行うための方法を説明します。



- Microsoft TCP/IP印刷(LPR)を使用した印刷を行うためには、プリンターに印刷データを送るWindows NT 3.51にLPR(OS添付のMicrosoft TCP/IP印刷サービス)をインストールする必要があります。
- LPRで印刷する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

使用するコンピューターにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている方は「[プリンターの作成と接続](#)」へ進んでください。

TCP/IPネットワーク印刷サポートのインストール

TCP/IPネットワーク印刷サポートのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

1. コントロールパネルの[ネットワーク]をダブルクリックする。
[ネットワーク]ダイアログボックスが表示されます。
2. [ソフトウェアの追加]をクリックする。
[ネットワークソフトウェアの追加]ダイアログボックスが表示されます。
3. [ネットワークソフトウェア]の一覧から[TCP/IPプロトコルおよび関連コンポーネント]を選択し、[続行]をクリックする。
4. [Windows NT TCP/IP組み込みオプション]ダイアログボックスで、[TCP/IPネットワーク印刷サポート]をチェックする。
[接続ユーティリティ]がコンピューターにインストールされていない場合はチェックしてください。

5. [OK]をクリックする。

Windows NT 3.51配布ファイルへのフルパスを入力するよう求めるメッセージがWindows NT 3.51セットアップから表示されます。適切なパス名を指定し、[続行]をクリックします。

次に「プリンターの作成と接続」へ進んでください。

プリンターの作成と接続

プリンターの作成と接続方法について説明します。次の手順に従ってください。

1. コントロールパネルの[プリンタ]アイコンをダブルクリックする。

2. [プリンタ]メニューから[プリンタの作成]を選ぶ。

3. [プリンタ名]ボックスにプリンターの名前を半角32文字以内で入力する。

この名前は、プリンタウィンドウのタイトルバーに表示されます。また、ネットワーク上でプリンターを共有している場合には、プリンターに接続するときにWindows NT 3.51を実行中のネットワークユーザーに対して表示されます。

4. [ドライバー一覧]からプリンターのドライバーを選択する。

プリンターが一覧に表示されないときは、互換性のあるドライバーを使って、プリンターを組み込むことができます。プリンターのユーザーズマニュアルを参照して、どのドライバーを選ぶかを判断してください。

5. [説明]ボックスに任意の説明を入力する。

この説明は、ネットワークユーザーが利用できるプリンターにそのプリンターを追加するときに表示されます。この説明を使って、ネットワークユーザーにプリンター情報を通知します。

たとえば、プリンターを一定の期間中だけ使えるように設定している場合などは、その情報をここに説明として入れておきます。

6. [印刷先]一覧から[その他...]を選ぶ。

7. 利用可能な印刷モニターの中から[LPR Port]を選択し、[OK]をクリックする。

8. LPRを提供しているホスト名またはIPアドレスを入力する。

LPRで設定しているプリンターのIPアドレスまたはホスト名(プリンター名)を入力します。

9. 設定が終了した後、[OK]をクリックする。

以上で設定は完了です。

Macintosh

MacintoshからMultiWriter 2800N/2300N/2800 (PR-L2800-NP装着時)で印刷を行うには、オプションの拡張プリンタドライバ(PR-SW-DR01)が必要です。また、印刷方法としてTCP/IPプロトコルを使用するため、MacintoshにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認してください。MacintoshにIPアドレスが設定されていない場合は、はじめにIPアドレスを設定してください。

**チェック**

オプションの拡張プリンタドライバ(PR2200NW2-21)は、オプションのマルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01)との組み合わせでのみ使用できます。

プリンターのIPアドレス設定

プリンターのIPアドレスは、「[1 IPアドレスの設定](#)」を参照してください。また、プリンターの操作パネルからも設定できます。ユーザーズマニュアルを参照してください。

**チェック**

プリンターのIPアドレスは、Macintoshに割り当てたIPアドレスと重ならないように設定してください。MacintoshのIPアドレスが「192.168.0.1」のとき、プリンターのIPアドレスは、「192.168.0.2」～「192.168.0.254」のいずれかの値を設定してください。

Macintosh TCP/IP環境の設定

TCP/IPプロトコルを使用する環境でのMacintoshの設定について説明します。

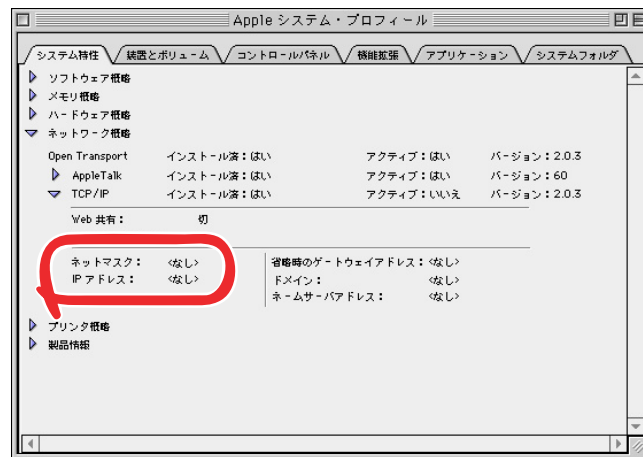
IPアドレスの確認

以下の手順でIPアドレスを設定する前にMac OSヘルプの「TCP/IPを設定する」を参照してください。

1. [アップルメニュー]の[Appleシステム・プロフィール]を開く。

2. [システム特性]シートの[ネットワーク概略]の「▷」をクリックする。

3. 「ネットマスク」、「IPアドレス」の設定を確認する。



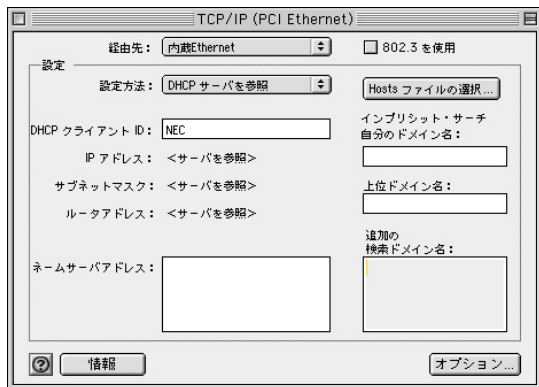
IPアドレスが設定されていない場合は、次の「[MacintoshのIPアドレスの設定](#)」へ進んでください。

MacintoshのIPアドレスの設定

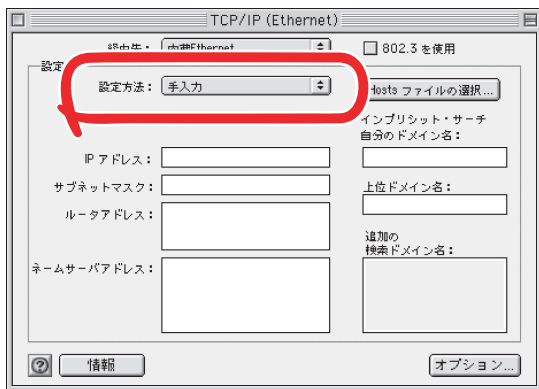
IPアドレス、ネットマスクが設定されていない場合は、以下の手順に従ってIPアドレスを設定してください。すでにTCP/IPネットワーク環境に接続している場合は、ネットワーク管理者と相談して設定してください。

1. [Appleメニュー]の[コントロールパネル]の[TCP/IP]をクリックする。

次のような画面が表示されます。



2. [設定方法]をクリックし、[手入力]を選択する。



3. IPアドレスを入力する。

<例>

192.168.0.1



TCP/IPネットワークをはじめて設定する方で、IPアドレスを割り当てるときは、「192.168.0.1」、「192.168.0.2」～「192.168.0.254」の値を使用することを推奨します。すでに、TCP/IPネットワークが構築されている場合は、ネットワーク管理者とご相談の上、適切なIPアドレスを設定してください。

4. サブネットマスクを入力する。

<例>

255.255.255.0

その他の項目については、必要に応じて設定してください。詳細はネットワーク管理者に相談してください。

以上で、IPアドレスの設定は終了です。

UNIX

UNIX環境で設定および印刷する方法について説明します。

IPアドレスの設定

UNIXマシンからIPアドレスを設定する方法には、「ping」コマンドを使って接続して設定する方法とTelnetの2つがあります。
Telnetを使ったIPアドレスの設定方法については「3 ユーティリティの詳細」の「Telnet」の「[IPアドレス](#)」を参照してください。

ここでは、「ping」コマンドを使った設定方法について説明します。あらかじめ、ホストマシン側のARPアドレス変換テーブルにプリンターのARPエントリを作っておくことにより、IPアドレスを変更できます。

以下の手順に従ってください。

✓チェック

- ここで示す方法でIPアドレスを一度設定すると、LANボードを初期化しないと再度同じ方法では設定できません（「[ネットワーク設定の初期化](#)」参照）。
- LANボードの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。クリアする前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください（「[コンフィグレーションページの印刷](#)」参照）。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーター等を介さないで接続された環境で行ってください。

1. エディタを使用して、ホストコンピューターの「/etc/hosts」ファイルにプリンターのIPアドレスとホスト名を追加する。

```
ddd.ddd.ddd.ddd <ホスト名>
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はプリンターの変更したいIPアドレスです。<ホスト名>はプリンター名を入力してください。

🔑重要

設定されるプリンターのIPアドレスは設定するために使うホストと同一のネットワークアドレスでなくてはなりません。
プリンターのIPアドレスがホストと異なるネットワークアドレスの場合は、ホストのサブネットマスクを一時的に変更して、同一ネットワークにあるかのように設定し直す必要があります。

次にUNIXの/etc/hostsファイルの表示例を示します。

```

:      :      :
192.9.200.20  pr2800n  #MultiWriter2800N
:      :      :
:      :      :
```

「192.9.200.20」はプリンターのIPアドレスです。

「pr2800n」はプリンターのホスト名です。

「#MultiWriter2800N」はコメント文です。

2. ホストコンピューターのアドレス変換テーブルにプリンターのエントリーを追加する。

```
arp -s <ホスト名> <Ethernetアドレス>
```

<ホスト名>は手順1で指定したプリンターのホスト名です。<Ethernetアドレス>には、コンフィグレーションページのMAC Addressの値を入力してください。

<実行例>

```
arp -s pr2800n 00:00:4C:29:00:00
```

arpコマンドの詳細については、各システムのコマンドマニュアルを参照してください。

3. pingコマンドを実行する。

新しいIPアドレスに 変更されます。

<実行例>

```
ping pr2800n
```

4. コンフィグレーションページを印刷してIPアドレスが変更されたことを確認する。

手順については、「[コンフィグレーションページの印刷](#)」を参照してください。

以上で設定は完了です。

ホストコンピューター側のセットアップ

「lprコマンド」、「ftpコマンド」のどちらを使用する場合も、プリンターのIPアドレスとホスト名のhostsファイルに登録する必要があります。

hostsファイルにIPアドレスを登録すると、ftpコマンドが使用可能になります。lprコマンドを使用する場合は、IPアドレスの登録の他に次に示す設定を行う必要があります。

lprコマンドを使用する場合

lprコマンドを使用する場合、通常ホストコンピューター側のprintcapファイルでリモートプリンターとなるプリンターを定義する必要があります。また、プリンターが持つフィルターを使う場合は、その定義も同時に行います。フィルターは以下のフィルター名の中からprintcapファイル内でコマンドオプションのrpで定義してください。

フィルター名	機 能	
lpb	フィルターなし：	バイナリーファイルの転送に使います。
lpa	LF→CR+LF：	改行コードLF(0A)をCR+LF(0D0A)に変換します。
lpbf	lpb+FF：	ファイルの最後にFFコード(0C)を付加します。
lpaf	lpa+FF：	LFをCR+LF(0B0A)に変換しファイルの最後にFFコード(0C)を付加します。
euc	EUC→JIS：	EUCコードをプリンターJISコードに変換します。
EUC	EUC→JIS： LF→CR+LF +FF	EUCコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード(0A)変換とFFコード(0C)付加を行います。
sjis	Shift-JIS→JIS：	Shift-JISコードをプリンターJISコードに変換します。
SJIS	Shift-JIS→JIS： LF→CR+LF +FF	Shift-JISコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード(0A)変換とFFコード(0C)付加を行います。

その他未登録のフィルター名はlpbとみなされます。

(BSD系UNIXのprintcapファイルの設定例)

```
pt0|no convert:¥
:lp=:rm=<ホスト名>:¥
:sd=/usr/spool/lpd0:
pt1|ascii file:¥
:lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpa:¥
:sd=/usr/spool/lpd1:
pt2|binary with FF:¥
:lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpbf:¥
:sd=/usr/spool/lpd2:
pt3|ascii with FF:¥
:lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpaf:¥
:sd=/usr/spool/lpd3:
```

printcapの詳細についてはホストコンピュータの取扱説明書を参照してください。

印刷方法

ホストコンピュータからプリンターへのファイルの転送には、以下の2つの方法があります。

- [ftpコマンドによる転送](#)
- [lprコマンドによる転送](#)

ftpコマンドによる転送

ftp(file transfer protocol)コマンドとは、通常UNIX上でコンピュータ間のデータ転送に使用されるプロトコルで、TCP/IPの上位層に位置します。プリンターは、このftpコマンドプロトコルで、クライアント側から転送されたファイルを受け取ることができるサーバー機能をサポートしています。印刷ファイルは、ftpコマンドを使いプリンターに転送することで印刷されます。サポートしているコマンドは次の3つです。

コマンド名	機 能
binary	転送されたファイルはそのままプリンターへ送られます。
ascii	プリンターでLF(0A)をCR+LF(0D0A)に変換します。デフォルトはこのモードです。
put (send)	ファイルの転送に使用します。宛先ファイルとして「FEED」あるいは「feed」と入力すると、ファイルの最後にフォームフィードを付加します。

ファイルの転送は、次の例のようにクライアント側でftpコマンドプロトコルのコマンドを実行することにより行われます。

(ftpコマンドによるファイル転送例)

```
olive%ftp pr2800n ..... ([Enter]キーを押してftpコマンドを起動します。)  
Connected to pr2800n  
220 ready  
Name(pr2800n:) ..... ([Enter]キーを押します。)  
230 User logged in proceed  
ftp>binary ..... ([Enter]キーを押してファイルの形式を指定します。)  
200 Command okay  
ftp>put data.plt ..... ([Enter]キーを押してdata.pltファイルを転送します。)  
200 Command okay  
250 Requested file Action okay,completed  
13083 bytes sent in 0 seconds(12.78 kbytes/s)  
ftp>quit..... (ftpコマンドを終了します。)  
221 Services closing control connection  
olive%
```

✓ チェック

転送方法は、ワークステーションまたはパーソナルコンピュータ用ソフトウェアによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

lprコマンドによる転送

BSD系UNIXで標準的なリモートプリント機能(lprコマンド)を使ってプリンターにデータを出力することができます。

また、あらかじめprintcapファイルでプリンターにフィルターを登録しておくと、そのプリンターを指定するだけでプリンターに登録されたフィルターを使用してデータの出力を行うことができます。

フィルターを指定しない場合は、ホストコンピューターから受信したデータを無変換のままプリンターに出力するので、あらかじめホスト側で出力するデータの形式をプリンターに合わせておく必要があります。

プリンター名は、ホストコンピューターの/etc/printcapファイルにプリンターを登録するときに指定します。printcapの設定については、「[lprコマンドを使用する場合](#)」を参照してください。また、printcapの詳細については、ホストコンピューターのコマンド説明書を参照してください。

ホストコンピューターからは、次のようなコマンドを入力し、「Enter」キーを押してファイルを転送します。

<表示例> lpr -Ppt0 <ファイル名>

✓ チェック

ファイルの転送方法は、ソフトウェアまたはコンピューターによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

ネットワークで思うように印刷できないときは

ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンターの故障を疑う前にこのページを参照して確認してください。

すべてのOS共通

プリンターに印刷できない。

プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。

1. コンフィグレーションページを印刷して以下の項目を確認してください。
 - ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。
 - リンクランプ(黄色)は点灯していますか？
ネットワークケーブルが抜けていないか、ハブの電源がONになっているか確認してください。
 - リンクランプ(緑色)は点灯していますか？
 - ネットワーク通信速度は正しく設定されていますか？
「10BASE/100BASE」の設定が、接続されているハブの通信速度と一致しているか、「Auto」になっていることを確認してください。
 - IPアドレス、サブネットマスクが正しく設定されていますか？
IPアドレス、サブネットマスクを確認してください。
2. コンピューターからPingコマンドを実行し、コンピューターとプリンターが通信できるか、以下の手順に従って確認してください。
 - <Windows Meの場合>
 - ① [スタート]―[プログラム]―[アクセサリ]―[MS-DOSプロンプト]を選択する。
 - ② ping 123.123.123.123(「123.123.123.123」はプリンターのIPアドレス)

(例)

```
C:\¥WINDOWS> ping 123.123.123.123 [return]
```

```
Pinging 123.123.123.123 with 32 bytes of data:
```

```
Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255
```

```
Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255
```

```
Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255
```

```
Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255
```

```
Ping statistics for 123.123.123.123:
```

```
Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
```

```
Approximate round trip times in milli-seconds:
```

```
Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms
```

応答がある場合は、コンピューターの上プリンターのプロパティを開いて[印刷先]を再度、確認してください。

応答がない場合は、プリンター以外の機器(コンピューター)と通信できるか確認してください。また、IPアドレスが適切な値かどうか確認してください。

IPアドレスは、コンピューターのIPアドレスが「192.168.0.1」のとき、プリンターのIPアドレスは「192.168.0.2」のようにネットワークの番号帯が一致している必要があります。プリンターのIPアドレスが「11.22.33.44」のように番号帯が異なる場合は、一致させるようにしてください。

コンフィグレーションページが印刷されない。

- LANボードは動作していますか？
LANボードステータスランプが点灯または点滅している場合は、再度プリンターの電源を入れ直してください。

プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。

印刷の途中で操作パネルに「データが残っています」と表示される。

データの最後の部分が欠けて印刷される。

- IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。
- プリンターのWWWブラウザ画面を開き、[印刷履歴]を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。

丁合い印刷、多部数印刷ができない。

ジョブセパレートができない。

- プリンターと双方向通信が有効でない。
PrintAgentは、IPP印刷、LPR印刷に対応していません。プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にしてください。詳しくは、ユーザーズマニュアルを参照してください。
- 丁合い印刷には、メモリー増設による電子ソート機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ユーザーズマニュアルを参照してください。
- 丁合い印刷または部数印刷は、アプリケーションの設定を行ってください。

SNMP Trapがホストコンピューターに送信されない。

- ルーターを越えた環境にSNMPマネージャのコンピューターが存在する場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要になります。

SNMPに応答がない。

- ホストコンピューターに設定されたコミュニティ名と同じコミュニティ名をLANボードに設定してください。

Windows NTをご使用の場合

印刷を実行すると、しばらくしてプリントマネージャーに「プリンタエラー」と表示される。

- 他のジョブを印刷している場合に起こることがあります。プリンターが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送り直してください。

印刷中にキャンセルされる。

「エラー」と表示した状態で停止する。

- 印刷するページを少なくしてもう一度印刷してみてください。印刷できた場合は、Windows NTのSystemディレクトリーの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。

LPRで大量の印刷を行うと途中で印刷が止まる場合がある。

- 12ジョブ以上の印刷で止まる場合はWindows NTシステムに問題がある可能性が考えられます。最新のサービスパックモジュールを適用することをお勧めします。

UNIXシステム環境でご使用の場合

lprコマンドでデータを転送したが、文字が正しくプリントされない。

- プリンター側のエミュレーションの設定が誤っている場合があります。エミュレーションの設定を確認してください。
- プリンターのコードに変換されていない場合があります。eucコードのフィルター設定を確認してください。フィルターの機能については、[\[UNIX\]](#)を参照してください。

putコマンドでデータを転送したが、最後のページが排出されない。

- テキストファイル等の転送の場合、FFコードが付いていないことがあります。プリンター側で自動排出を設定してください。

(空白ページ)

3

ユーティリティの詳細

この章では、LANボードの設定項目を確認、変更するユーティリティ「WWWブラウザ」、「Telnet」、「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の詳細について説明します。

WWWブラウザ

プリンターをネットワーク環境で利用するための設定を汎用のWWWブラウザで実行する方法について説明します。WWWブラウザでは以下の情報を設定または参照することができます。

- [プリンタのステータス](#)
- [プリンタの情報](#)
- [印刷履歴](#)
- [LANボードの設定情報](#)
- [LANボードの管理者設定画面](#)

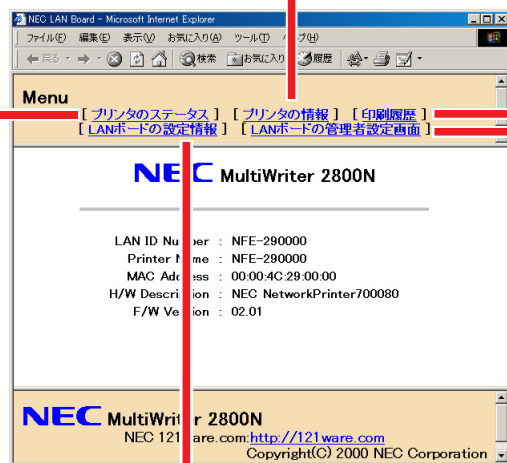
**チェック**

LANボードの管理者設定画面ではフレーム表示対応のWWWブラウザを使用する必要があります。Microsoft® Internet Explorer 3.X以降またはNetscape Navigator 3.X以降等のフレーム対応ブラウザをご使用ください。

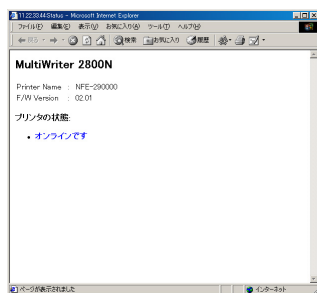
次ページ以降にそれぞれの画面表示を説明します。

画面の構成

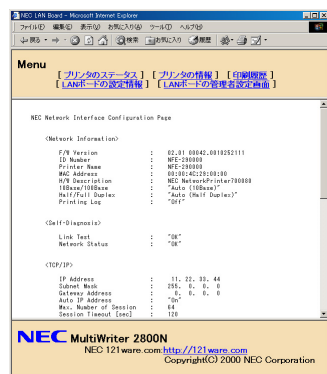
起動画面



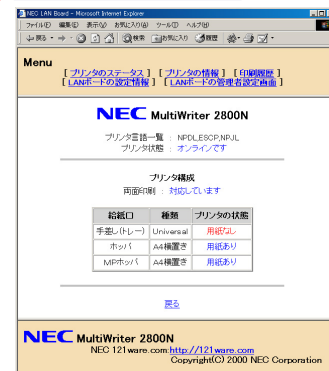
【プリンタのステータス】



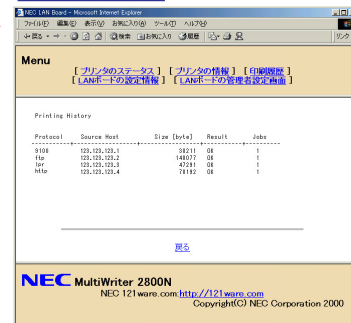
【LANボードの設定情報】



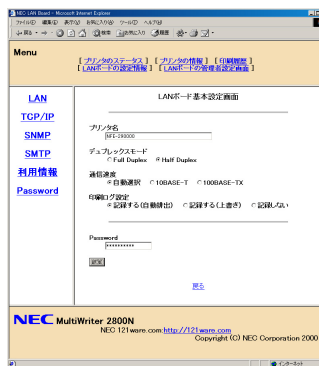
【プリンタの情報】



【印刷履歴】



【LANボードの管理者設定画面】



画面表示は一部製品と異なる場合があります。

WWWブラウザ起動画面

LANボードに設定されたIPアドレスをWWWブラウザのURL入力欄に入力することでLANボードのページを開くことができます。

http://ddd.ddd.ddd.ddd/

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANボードのIPアドレスです。

(実行例) http://11.22.33.44/



重要

工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は以下のことにご注意ください。

- ホストコンピュータのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
- プリンターとホストコンピュータがルーター等を介さないで接続された環境で行ってください。

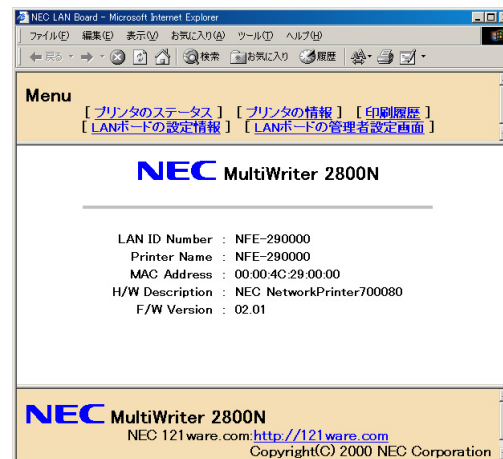
ホストコンピュータの設定に関してはホストコンピュータのマニュアルを参照してください。



チェック

LANボードの管理者設定画面ではフレーム表示対応のWWWブラウザを使用する必要があります。Internet Explorer 3.X以降または、Netscape Navigator 3.X以降等のフレーム対応ブラウザをご使用ください。

LANボードとの接続に成功すると次の画面が開きます。



● プリンタのステータス

プリンタのステータス画面を別画面(新規ブラウザ画面)として開きます。プリンタのステータス画面では、30秒周期にプリンタの状態を監視し、自動的に表示更新されます。

● プリンタの情報

プリンタの情報画面を開きます。プリンタの状態、プリンタの給紙ユニット情報、および用紙情報を参照することができます。

● 印刷履歴

プリンタの印刷履歴画面を開きます。LANボード経由で印刷した印刷履歴を画面上で見ることができます。

● LANボードの設定情報

LANボードの設定一覧画面を開きます。LANボード背面のコンフィグレーションページ印刷ボタンを押すと得られる情報を画面上で参照することができます。

● LANボードの管理者設定画面

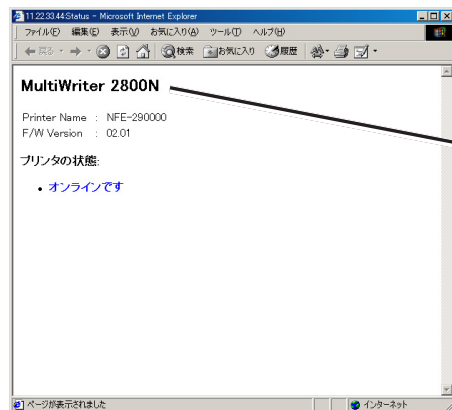
管理者設定画面を開きます。LANボードの設定確認、変更を行う画面です。

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

プリンタのステータス

プリンタのステータス画面では、プリンタの状態が表示されます。
この画面は起動画面とは別の新規ブラウザとして起動されます。



LANボードが接続されたプリンタのモデル名を示します。

- プリンター名
LANボードに登録されたプリンター名を示します。
- ステータス
30秒周期にプリンタの状態を監視し、状態が自動的に更新されます。



- 状態表示の周期は変更できません。
- プリンター名はLANボードの管理者設定画面で変更することができません。

プリンタの情報

プリンタの情報画面では、プリンタの状態、構成情報が表示されます。



- プリンタ言語一覧
プリンタがサポートしている処理言語を一覧表示します。
- プリンタ状態
プリンタの情報画面を開いたときのプリンタの状態が表示されます。

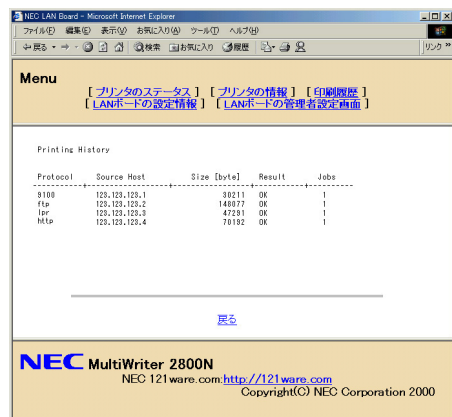


ステータスはWWWブラウザ表示の更新が行われるまで表示変更されません。

- プリンタ構成
プリンタの給紙ユニット情報、用紙サイズ、および用紙の有無が表示されます。

印刷履歴

印刷履歴画面では、LANボード経由で印刷した印刷履歴が表示されます。



- Protocol： 印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- Source Host： ホストコンピュータのアドレスです。
- Size [byte]： プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Result： 通信結果を示します。
- Jobs： 印刷時に受信した印刷ジョブの待ち行列を示します。



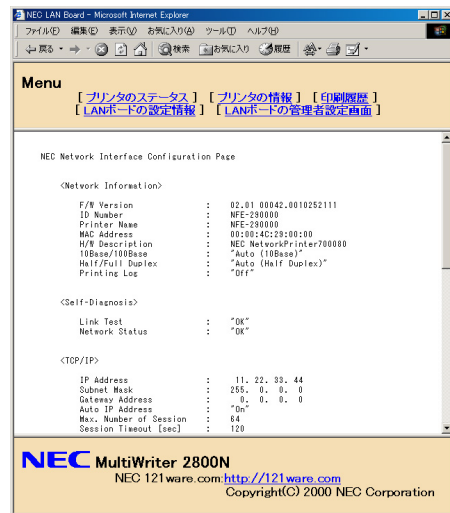
チェック

- プリンターの印刷履歴を表示する場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時の設定では[記録しない]になっています。
- 印刷履歴を記録するための設定変更は、[LANボードの管理者設定画面](#)で行います。

LANボードの設定情報

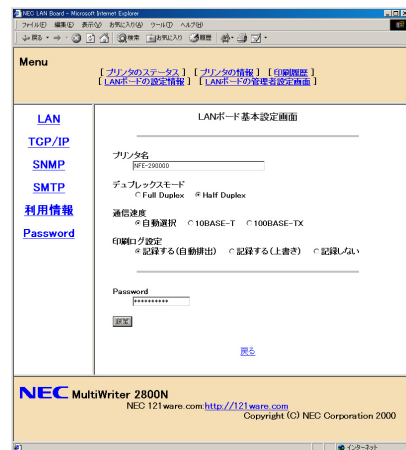
LANボードの設定情報画面では、LANボードに設定されている登録情報一覧を参照することができます。

この画面は、コンフィグレーションページより得られる印刷出力情報を画面に表示したものです。



LANボードの管理者設定画面

LANボードの管理者設定画面では、LANボードの設定確認、設定変更を行うことができます。



- [LAN](#)
- [TCP/IP](#)
- [SNMP](#)
- [SMTP](#)
- [利用情報](#)
- [Password](#)

設定項目は大きく次の6つに分かれています。

- LAN
[LANボードの基本設定画面]が表示され、LANボード固有の基本設定を行います。
- TCP/IP
[TCP/IP設定画面]が表示され、IPアドレス設定等、ネットワーク接続に必要な設定を行います。
- SNMP
[SNMP設定画面]が表示され、SNMP管理プロトコルを使用する場合に、必要な設定を行います。
- SMTP
[SMTP設定画面]が表示され、レーザープリンターのトナー残量がなくなった場合に電子メールを送信する設定を行います。
- 利用情報
[利用情報 設定画面]が表示され、利用情報の設定を行います。
- Password
[Password設定画面]が表示され、設定を変更するときに入力するパスワードの変更が行えます。



チェック

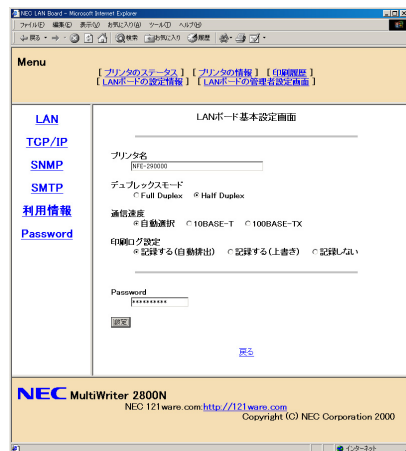
- パスワードの変更に関しては[Password設定画面](#)を参照してください。
- LANボード出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。
- パスワードを忘れた場合は、LANボードの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。LANボードの初期化については、「[ネットワーク設定の初期化](#)」を参照してください。



チェック

設定の登録は大きく分かれた個々のブロック単位で行います。設定変更後に[設定]を押して登録を行ってください。

LANボードの基本設定画面



- [プリンタ名](#)
- [デュプレックスモード](#)
- [通信速度](#)
- [印刷ログ設定](#)
- [Password](#)

プリンタ名

LANボード固有の名前を登録することができます。
登録可能な文字列は半角大文字の英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。

デュプレックスモード

スイッチングハブ接続時のパケットの送受信設定を行います。

- Full Duplex(全二重通信)
パケットの送受信を同時に行うことができます。
- Half Duplex(半二重通信)
パケットの送受信をそれぞれ別々に実行します。



「通信速度」で「自動選択」が選ばれているときはデュプレックスモードの設定は無効となり自動選択になります。

通信速度

LANボードの通信速度の設定を行います。

- 自動選択
10BASE-Tまたは100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。本設定選択時は、デュプレックスモードも自動判別し、決定します。
- 10BASE-T
10BASE-T固定の接続設定になります。
- 100BASE-TX
100BASE-TX固定の接続設定になります。



10BASE-Tまたは100BASE-TX選択時は、デュプレックスモードの設定が有効になります。

印刷ログ設定

LANボード経由の印刷履歴を記録するための設定を行います。

- 記録する(自動排出口)
印刷履歴を記録するとともに、最大登録ジョブ数を超過して印刷すると、自動的に印刷履歴を印刷出力します。
最大登録ジョブ数：50
- 記録する(上書き)
印刷履歴を記録するとともに最大登録ジョブ数を超過して印刷すると、一番古いジョブから削除(上書き)されます。
- 記録しない
印刷履歴は記録されません。



- 印刷履歴はLANボードの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレス等の設定を変更した場合もクリアされます。
- 設定を[記録する]から[記録しない]に変更した場合、LANボードが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

Password

パスワードを入力します。

TCP/IP設定画面

TCP/IPに関する設定を行います。

- [DHCP](#)
- [IPアドレス](#)
- [サブネットマスク](#)
- [ゲートウェイ](#)
- [FTPタイムアウト](#)
- [最大セッション数](#)
- [通信タイムアウト](#)
- [Autolp設定 \(PING\)](#)
- [KeepAlive](#)
- [Password](#)

DHCP

LANボードのIPアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する機能を使用するかを設定します。[使用する]選択時にDHCPが有効となります。DHCPの詳細については「DHCPによる設定」を参照してください。

IPアドレス

LANボードのIPアドレスを設定します。



工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は、次のことに注意してください。

- ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
- プリンターとホストコンピューターがルーター等を介さないで接続された環境で行ってください。
- 異なるIPアドレスを設定すると応答が返らなくなります。一度、WWWブラウザを閉じて正しいIPアドレスをURLに指定してください。

サブネットマスク

LANボードのサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ

ゲートウェイアドレスを設定します。



- ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能および電子メール配信機能を使用する場合に必要です。
- 使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

FTPタイムアウト

FTPログイン時のタイムアウト時間を設定します。

設定範囲 : 5～60(分)
初期値 : 10(分)

最大セッション数

TCP/IPの最大接続数を設定します。
この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。

設定範囲 : 1～64
初期値 : 64

通信タイムアウト

TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。

設定範囲 : 30～7200(秒)
初期値 : 120(秒)

Autolp設定(PING)

UNIXコマンドによるIPアドレス設定時にPINGによるIPアドレス設定を許可するかしないかを設定します。
[設定する]選択時にPINGによる設定変更が可能です。

KeepAlive

[通信タイムアウト]で設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにキープアライブパケットを送信するかしないかを設定します。
キープアライブパケット送信時にホストコンピューターから対応がある場合は、TCP/IP接続が維持されます。
[使用する]選択時にキープアライブパケットが送信されます。

Password

パスワードを入力します。

SNMP設定画面

- [認証されたコミュニティ名](#)
- [Trapの設定](#)

認証されたコミュニティ名

Get Request、Set Requestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。
コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。

Trapの設定

Trap送信先のTrapマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。
それぞれのTrapマネージャに対し、以下の設定が必要です。
[使用する]選択時に有効となります。

- IPアドレス
Trap送信するホストコンピューターのIPアドレスを設定します。
- コミュニティ名
ホストコンピューターがTrapを受け付けるコミュニティ名を設定します。



Trap送信先ホストコンピュータのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合はゲートウェイアドレスの設定が必要です。
TCP/IP設定の[ゲートウェイアドレス]欄でゲートウェイアドレスを設定してください。

SMTP設定画面

プリンターのトナー残量が少なくなると、電子メールを送信して通知します。

The screenshot shows the 'SMTP設定画面' (SMTP Settings Screen) of the NEC MultiWriter 2800N. The interface includes a menu on the left with options like LAN, TCP/IP, SNMP, SMTP, and Password. The main area contains fields for:

- Toner level notification: 'トナーの残量が少いとき、メールで通知' (When toner level is low, notify by email) with a checkbox.
- Email server IP address: 'メールサーバーのIPアドレス'.
- To email address: 'To:のメールアドレス'.
- Cc email address: 'Cc:のメールアドレス'.
- From email address: 'From:のメールアドレス'.
- Email body: 'メール本文 (80文字×3行まで入力可)' (Email body, up to 80 characters x 3 lines).
- Password: 'Password'.

 The bottom of the screen displays the NEC logo and 'MultiWriter 2800N' model name.

トナーの残量が少いとき、メールで通知

プリンターのトナーの残量が少ない場合に電子メールを送信するかどうかを設定します。[する]を選択している場合に、有効となります。



- トナーの残量が少なくなった初期の状態において、プリンター側のセンサーの状況により、数回電子メールが送信される可能性があります。
- 電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

メールサーバーのIPアドレス

メールサーバーのIPアドレスを設定します。



メールサーバーのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
TCP/IP設定画面の[ゲートウェイアドレス]ボックスでゲートウェイアドレスを設定してください。

To:のメールアドレス

電子メール送信先のメールアドレスを入力します。



メールのSubjectは以下で固定です。
Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

Cc:のメールアドレス

電子メール送信先の写しが必要な場合にメールアドレスを入力します。

From:のメールアドレス

電子メール送信元のメールアドレスを変更します。初期値として「PRN@domain-name」が設定されています。必要に応じて、送信元アドレスの変更を行ってください。



From：送信元アドレスを入力する場合
「ユーザー名@ドメイン名」の形式で必ず入力してください。
「@」がない場合や「@」の前後に文字列がない場合は入力エラーとなり、設定変更されません。

メール本文

電子メールの本文に記載するコメントを入力します。3行まで入力できます。各行ともに最大80文字(80バイト)、計240文字の入力可能です。



本文として使用可能な文字列は、ASCIIコード：0020h～0007Eh(16進)の範囲に限ります。ただし、以下の文字コードは使用することができません。

- “ (0022h)
- & (0026h)
- ; (003Bh)
- < (003Ch)
- > (003Eh)

Password

パスワードを入力します。

利用情報 設定画面

- [利用情報記録](#)
- [利用情報サーバーのIPアドレス](#)
- [ログインユーザー名](#)
- [ログインパスワード](#)
- [サーバーのポート番号](#)
- [利用情報ファイル名](#)
- [Password](#)

利用情報記録

利用情報機能を使用するか、しないかを設定します。

利用情報サーバーのIPアドレス

FTPサーバーのIPアドレスを入力します。

初期値：0.0.0.0

初期値の場合、利用情報はプリンターからコンピューターへ送信されず、印刷出力されません。

ログインユーザー名

初期値： anonymous

使用できる文字： 半角英数、アンダーバー「_」、およびハイフン「-」。32文字まで有効

ログインパスワード

初期値： PRN@domain-name
 使用できる文字： 文字コード(0x20-0x7F)、32文字まで有効

サーバーのポート番号

初期値： 21
 設定範囲： 0～65535

利用情報ファイル名

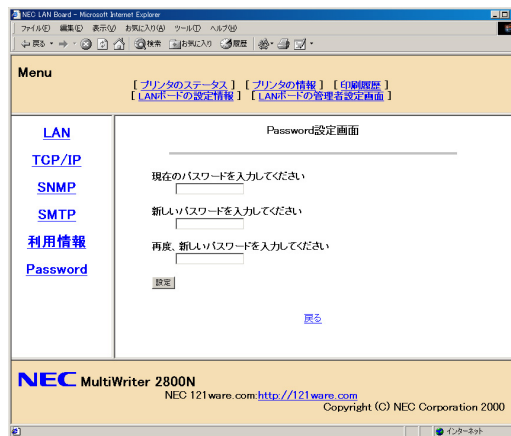
初期値： prXXXXXX.csv
 使用できる文字： 半角英数、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、ドット(0x2e)「.」、64文字まで有効
 ファイル名は、ディレクトリー指定「/」ができます。ファイル名は変更できません。ファイル名が存在しない場合は、エラーとなります。

Password

パスワードを入力します。

Password設定画面

設定変更するときに入力するパスワードの変更方法を説明します。



- [現在のパスワード入力](#)
- [新しいパスワード入力](#)
- [新しいパスワード再入力](#)

画面の指示に従い、以下の3つのパスワードをすべて入力して新しいパスワードの登録を行ってください。

- 現在のパスワード入力
- 新しいパスワード入力
- 新しいパスワード再入力



LANボード出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

**チェック**

- パスワードとして使用可能な文字列は半角英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- 英字の大文字と小文字は区別されます。
- WWWブラウザからのパスワード変更によりTelnetのログインに必要なパスワードも同時に変更されます。

Telnetによるパスワード設定に関しては「[Telnet](#)」を参照してください。

- 新しいパスワードは、次のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、LANボードの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るので、再設定が必要です。LANボードの初期化に関しては「[ネットワーク設定の初期化](#)」を参照してください。

Telnet

ネットワーク環境で利用するための設定をTelnetで変更する方法について説明します。Telnetで接続(ログイン)すると以下の情報を設定または参照することができます。

- [IPアドレス](#)
- [サブネットマスク](#)
- [ゲートウェイアドレス](#)
- [SNMP](#)
- [パスワード](#)
- [LANボード管理情報](#)



チェック

- Telnetでログインする際はパスワードの入力が必要です。
- パスワードの設定に関しては「[パスワード](#)」を参照してください。
- Telnetでログインできるユーザーは1人です。2人以上で同時にログインすると最初にログインしたユーザーのみ受け付けます。

Telnet起動画面

Telnetを使用して設定を変更することができます。

1. ログインを希望するLANボードのIPアドレスを指定して、「Enter」キーを押す。

Telnet ddd.ddd.ddd.ddd

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANボードのIPアドレスです。

(実行例)

Telnet 11.22.33.44



チェック

LANボードのIPアドレスがホストコンピュータと異なるネットワークアドレスの場合、ホストコンピュータのルーティングテーブルにルート・パスを一時的に設定する必要があります。設定に関しては、ホストコンピュータのマニュアルを参照してください。

2. パスワードを入力する。

Connected to:11.22.33.44

Password:



チェック

- パスワードに関しては「[パスワード](#)」を参照してください。
- パスワード入力を間違うと、Telnetからログアウトされます。
- LANボード出荷時のパスワードは「NECPRADMIN」です。

セットアップのメインメニューが表示されます。

Main Menu

-
1. IP Address
 2. Subnet Mask
 3. Gateway Address
-

4. SNMP setting

-
5. Password
 6. Management
-

S. Save (Disconnect and Save parameters)

Q. Quit

Type Any No.>

3. 各メニューにはサブメニューがあります。設定変更を行いたい項目の番号を [Type Any No.>] の後に入力する。

各メニューの設定については、それぞれのページを参照してください。

すべての内容の変更または内容の確認が終わったら、Telnetをログアウトします。

4. [Type Any No.>] の後に「S」か「Q」を入力し、「Enter」キーを押してログアウトする。

「S」入力： 設定変更した内容をLANボードに登録してTelnetをログアウトします。

「Q」入力： 設定変更した内容をLANボードに登録せずにTelnetをログアウトします。この場合、Telnetログイン前の設定が保持されます。



- 印刷データ受信中に「S」入力により設定変更を行うと、受信済みのすべての印刷処理終了後に設定変更が行われます。
- 設定変更時はLANボードのリセットが実行されます。リセット処理中はTelnetによるログインはできません。

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

IPアドレス

LANボードのIPアドレスを設定します。

1. メインメニューで「1」を入力し、「Enter」キーを押す。

以下のように表示されます。

Current IP Address: 11.22.33.44

DHCP: OFF

1. Change IP Address
2. DHCP On/Off
3. Exit

Type Any No.>

2. 直接IPアドレスを設定変更する場合は「1」を、DHCP設定を変更する場合は「2」を入力し、「Enter」キーを押す。

DHCPの詳細については「1 IPアドレスの設定」の「[DHCP](#)」を参照してください。

3. 設定内容を保存してログアウトする。

サブネットマスク

LANボードのサブネットマスクを設定します。

1. メインメニューで「2」を入力し、「Enter」キーを押す。

以下のように表示されます。

Current Subnet Mask: 255.0.0.0

1. Change
2. Exit

Type Any No.>

2. 「1」を入力し、「Enter」キーを押す。

3. 変更するサブネットマスクを入力する。

4. 設定内容を保存してログアウトする。

ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレスを設定します。

1. メインメニューで「3」を入力し、「Enter」キーを押す。

以下のように表示されます。

Current Gateway Address: 0.0.0.0

1. Change
2. Exit

Type Any No.>

2. 「1」を入力し、「Enter」キーを押す。

3. 変更するゲートウェイアドレスを入力する。

4. 設定内容を保存してログアウトする。



チェック

ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能および電子メール配信機能を使用する場合に必要です。
使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

SNMP

SNMPの通信には、次の設定が必要です。以下の手順に従ってSNMPを設定してください。

- SNMP Trapの設定
SNMP Trapマネージャーの登録を最大4つまで行えます。
- コミュニティ名の設定
GetRequest、SetRequestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には最大4つまで異なる名称を登録できます。

1. メインメニューで「4」を入力し、「Enter」キーを押す。

以下のように表示されます。

SNMP Setting

1. 1st SNMP Trap Manager
 2. 2nd SNMP Trap Manager
 3. 3rd SNMP Trap Manager
 4. 4th SNMP Trap Manager
 5. Authentic Community
 6. Exit
- Type Any No.>

2. [SNMP Trapの設定](#)の場合は、「1」～「4」を、[コミュニティ名の設定](#)の場合は「5」を入力し、「Enter」キーを押す。

設定についてはそれぞれのページを参照してください。

3. 設定内容を保存してログアウトする。

SNMP Trap

[1. 1st SNMP Trap Manager]～[4. 4th SNMP Trap Manager]を選択した場合は、以下のように表示されます。

1. 1st SNMP Trap Manager
- | | |
|------------------------|-----------|
| Trap | : Off |
| Current IP Address | : 0.0.0.0 |
| Current Community Name | : public |
1. Trap On/Off
 2. Change IP Address
 3. Change Community Name
 4. Exit
- Type Any No.>

上段に現在の設定が表示されます。

1. SNMP Trapを使用する場合、[1. Trap On/Off]の設定を[On]にする。

2. Trap送信先ホストのIPアドレスを設定する。

「2」、「Enter」キーを押して、IPアドレスを入力してください。

3. Trap送信のコミュニティ名を設定する。

「3」、「Enter」キーを押して、コミュニティ名を入力してください。



Trap送信先ホストのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。[「ゲートウェイアドレス」](#)を参照してゲートウェイアドレスを設定してください。

コミュニティ名の設定

[5. Authentic Community]を選択した場合は、以下のように表示されます。

Authentic Community

1. Authentic Community1: public
2. Authentic Community2: public
3. Authentic Community3: public
4. Authentic Community4: public
5. Exit

Type Any No.>

現在登録されているコミュニティ名が右側に表示されます。

変更したいコミュニティ名の番号を選択して新しいコミュニティ名を入力してください。

パスワード

Telnetでログインする際に入力するパスワードの変更方法について説明します。
LANボード出荷時のパスワードは、「NECPADMIN」です。



- パスワードとして使用可能な文字列は、半角英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- 英語の大文字と小文字は区別されます。
- Telnetのパスワードを変更すると、WWWブラウザから設定する場合に必要なパスワードも同時に変更されます。WWWブラウザからの設定に関しては、「[WWWブラウザ](#)」を参照してください。

1. メインメニューで[Type Any No.>]の後に「5」を入力し、「Enter」キーを押す。

2. パスワードを入力する。

パスワードの変更時は入力ミスを防ぐために2回同じパスワードを入力します。画面の指示に従って新しいパスワードを入力してください。



- 新しいパスワードは、次のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、LANボードの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻するため、再設定が必要です。LANボードの初期化に関しては「[ネットワーク設定の初期化](#)」を参照してください。

LANボード管理情報

Telnetにより、LANボードが管理する次の情報を参照または変更することができません。

- LANボード設定情報一覧
テストページの「LANステータス」で得られる情報を画面上で参照することができます。
- 印刷履歴の確認
LANボード経由で印刷した印刷履歴を画面上で参照することができます。



- 印刷履歴の確認を行う場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時は[記録しない]に設定されています。
- 印刷履歴の設定変更はWWWブラウザ（「[WWWブラウザ](#)」参照）または付属のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティ（「3 ユーティリティの詳細」の「[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ](#)」参照）から行います。

- 画面表示ライン数の変更
LANボード設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。

メインメニューで「Type Any No.>」の後に「6」を入力し、「Enter」キーを押すと以下のように表示されます。

Management Menu

1. Display Configuration Data
2. Display Printing Log Data
3. Change Display Line Number
4. Exit

Type Any No.>

以下の場合、それぞれのページを参照してください。

LANボード設定情報一覧を参照する場合「[LANボード設定情報一覧](#)」

印刷履歴を参照する場合「[印刷履歴の確認](#)」

Telnet画面表示ライン数を変更する場合「[画面表示ライン数の変更](#)」

LANボード設定情報一覧

[1. Display Configuration Data]を選択すると、コンフィグレーションページの情報が画面に表示されます。

表示内容は「[コンフィグレーションページの印刷](#)」を参照してください。

印刷履歴の確認

[2. Display Printing Log Data]を選択すると、LANボード経由で印刷した印刷履歴を画面に表示します。

印刷履歴がない、印刷履歴の記録設定がされていない場合は以下のように表示されます。

There is no log data.

印刷履歴が存在する場合は以下のように表示されます。

NEC Printing History

Protocol	Source Host	Size [byte]	Result	Jobs
9100	123.123.123.1	12	OK	1
ftp	123.123.123.2	123	Timeout	1
lpr	123.123.123.3	1234	OK	1
http	123.123.123.4	12345	Error	1

- Protocol : 印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- Source Host : ホストコンピュータのアドレスです。
- Size [byte] : プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Result : 通信結果を示します。
- Jobs : 印刷時に受信した印刷ジョブの待ち行列を示します。



- 印刷履歴はLANボードの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレス等の設定を変更した場合もクリアされます。

画面表示ライン数の変更

[3. Change Display Line Number]を選択すると、LANボード設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。工場出荷時の表示ライン数は[20]です。画面に現在の表示ライン数が表示されますので、新しい表示ライン数を入力してください。

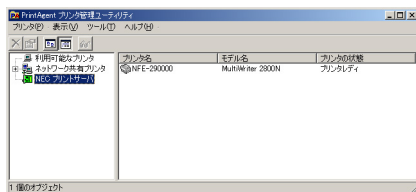
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

ここではPrintAgentプリンタ管理ユーティリティで画面左のツリービューで[NECプリントサーバ]を選択している場合の特長や使用できる環境について説明します。また、ここで説明している環境はWindows Me 日本語版です。

ユーティリティの特長

LANボードを標準実装したプリンターやオプションのLANボード・LANアダプターを接続しているプリンターのネットワーク設定や状態の確認をネットワーク上のコンピュータから行うユーティリティです。
このユーティリティは、プリンター管理者向けのツールとして以下のような設定やプリンター運用時の監視機能を提供しています。ただし、ご使用のLANボード・LANアダプターにより、その内容は異なります。

● ネットワークプリンターの一覧の確認



● プリンターの状態の確認



- IPアドレスの設定
- プリンターの構成
- リモート電源制御 (PR-NP-03TR2装着時)

対象プリンター

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティの対象となるプリンターは以下のとおりです。

- MultiWriter 2800N/2300N
- MultiWriter 2800 (PR-L2800-NP装着時)

また、以下に示すネットワークオプションが使用できるプリンターも対象となります。

- PR-WL-11 無線LANプリンタボード (TCP/IP)
- PR-WL-01 無線LANプリンタアダプタ (TCP/IP)
- PR-NP-01T2 LANボード (TCP/IP) (PR-NP-01T後継品)
- PR-NP-02T2 LANアダプタ (TCP/IP) (PR-NP-02T後継品)
- PR-NP-03TR2 LANアダプタ (TCP/IP) (PR-NP-03TR後継品)
- PC-PR-L01 マルチプロトコルLANボード (PR2200NW2-08後継品)
- PC-PR-L02 マルチプロトコルLANボード
- PC-PR-L03 マルチプロトコルLANボード (PR2000/6W-08後継品)
- PC-PR-L04 マルチプロトコルLANアダプタ (PR1000EW-01後継品)
- イーサネットコネクタを標準で装備したプリンター (ただし、本ユーティリティに対応していないプリンターもあります。その場合はプリンターに添付のユーティリティを使用してください。)

使用上のご注意

プリンタ管理ユーティリティをご使用になるときは、以下の点に注意してください。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールする前にコンピュータのネットワーク設定(IPアドレスなど)がすでに行われていることを確認してください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティとLANボード、LANアダプターに添付のWindows 3.1用ネットワークプリンタユーティリティを同時に実行しないでください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動していることにより、メモリー不足で他のアプリケーションソフトウェアが実行できない場合は、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを終了してください。
- Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合、Administratorsの権限を持ったユーザーでログインしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログインした場合には設定を行えません。
- LANボードへの設定は、LANボードと同一ネットワークアドレスに接続されたコンピュータを使用してください。
- Windows 2000で、IPX/SPX互換トランスポートを使用する場合、ネットワーク上にNetWareサーバーが起動している必要があります。NovellのNetWareクライアントソフトウェアをインストールすることで一部の機能が有効になります ([\[NetWare\] シート](#)参照)。

ご利用までの手順

プリンタ管理ユーティリティがネットワークで使用できるようになるまでの手順は以下のとおりです。

① 使用環境を確認する。

プリンターとPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールするコンピュータが使用環境に合っていることを確認してください。

② イーサネットコネクタ標準装備のプリンターを接続する。

ケーブルの接続方法などは、プリンターに添付のユーザーズマニュアルをご覧ください。

③ プリンタ管理ユーティリティをインストールする。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをコンピュータにインストールします。インストールは、PrintAgentのインストール時に[管理者向けカスタムインストール]を選択し、[プリンタ管理ユーティリティ]にチェックを付けることで行います。

プリンターソフトウェアのインストールプログラムで後から追加インストールを行ったり、削除することができます。詳細については、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

④ プリンターを登録する。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティにプリンターを登録します。



チェック オプションのLANボード、LANアダプターをすでにご使用の場合

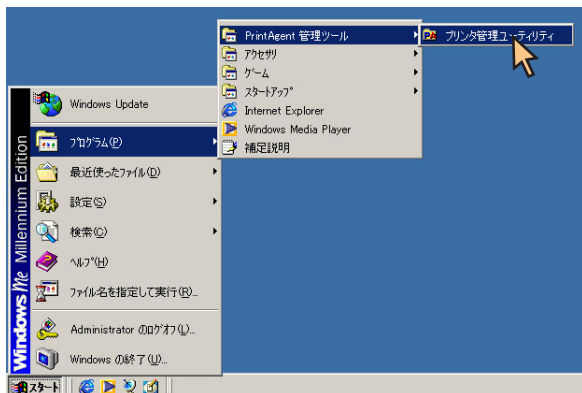
オプションのLANボード、LANアダプターに添付のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをすでにご使用の場合は、これを削除(アンインストール)した後、プリンターに添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールしてください。アンインストール方法については、オプションのLANボード、LANアダプターに添付の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。

プリンターの登録

プリンタ管理ユーティリティを使ってLANボードの設定を行うためにプリンターの登録を行います。新規にLANボードをネットワークに接続した場合は、このプリンターのコンフィグレーションページの印刷結果にあるMACアドレス等も参照してください。コンフィグレーションページの印刷方法については、「[コンフィグレーションページの印刷](#)」を参照してください。

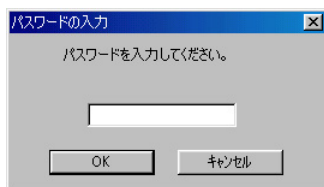
1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

[スタート]をクリックし、[プログラム]、[PrintAgent管理ツール]をポイントします。次に[プリンタ管理ユーティリティ]をクリックします。

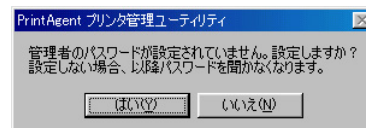


2. パスワードの入力、設定をする。

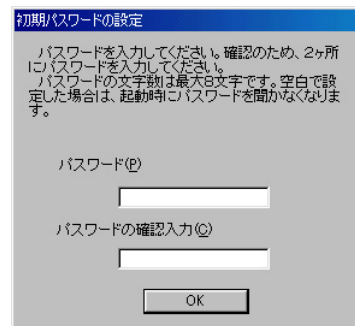
パスワードを既に設定している場合は、パスワードを入力するダイアログボックスがされますので、パスワードを入力してください。



パスワードの設定をたずねるダイアログボックスが表示されます。



[はい]をクリックするとパスワードの設定ウインドウが表示されます。パスワードは、半角の英数文字で8文字まで入力できます。

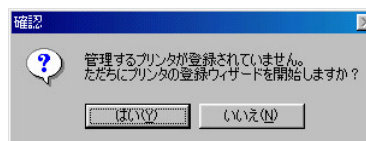


パスワードが不要の場合は、[いいえ]をクリックしてください。後から[ツール]メニューの[パスワードの変更]で設定できます。

3. プリンターを登録していない場合、プリンターを登録するかどうかの[確認]ダイアログボックスが表示されるので、どちらかをクリックする。

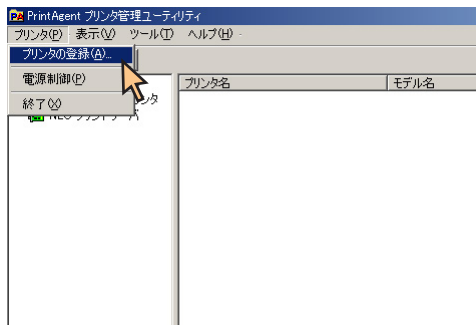
[はい]をクリックした時は[手順5](#)に、[いいえ]をクリックした時は[手順4](#)に進んでください。

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、画面左のツリービューで[NECプリントサーバ]を選択してください。

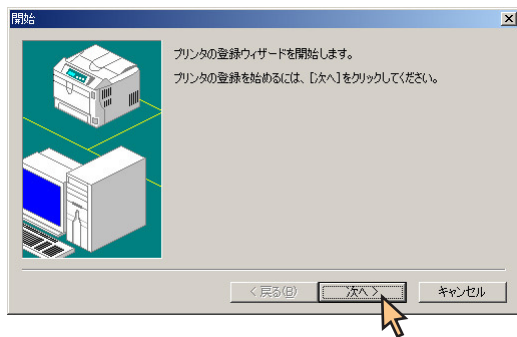


4. [プリンタ]メニューから[プリンタの登録]をクリックする。

[プリンタの登録]ウィザードが開始されます。



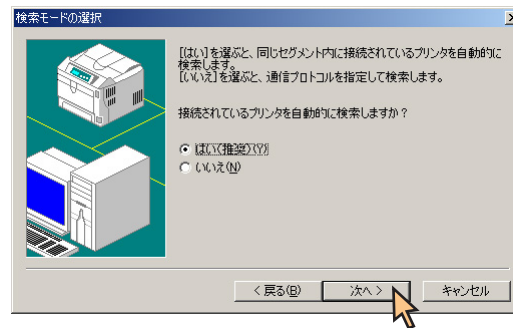
5. [次へ]をクリックする。



6. 設定するプリンターを自動で検索するか、マニュアルで検索するかを選び、[次へ]をクリックする。

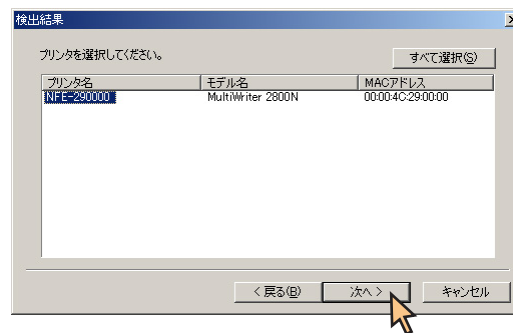
[はい]を選ぶと、ネットワーク内で登録されていないプリンターを自動的に検索します。手順7に進んでください。

[いいえ]を選ぶと、プロトコル、MACアドレスなどを入力して検索します。
[手順8](#)に進んでください。



7. 登録したいプリンターを選び、[次へ]をクリックする。

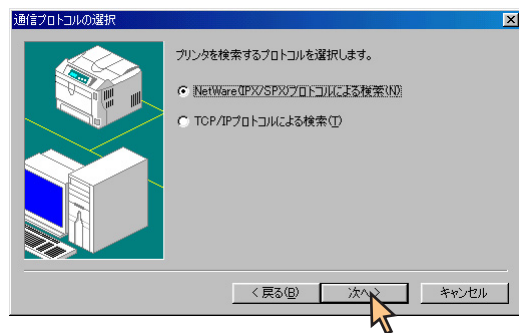
[手順17](#)に進んでください。



8. LANボードと通信するプロトコルを選び、[次へ]をクリックする。

「NetWare (IPX/SPX) プロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順9に進んでください。

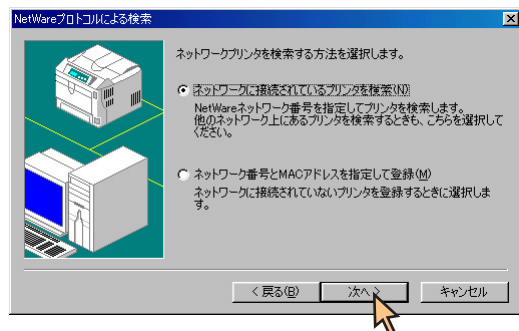
「TCP/IP プロトコルによる検索」を選んだ場合は、[手順13](#)に進んでください。



9. プリンターの検索方法を選び、[次へ]をクリックする。

「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順10に進んでください。

「ネットワーク番号とMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、[手順12](#)に進んでください。



10. ネットワーク番号を入力して、[次へ]をクリックする。

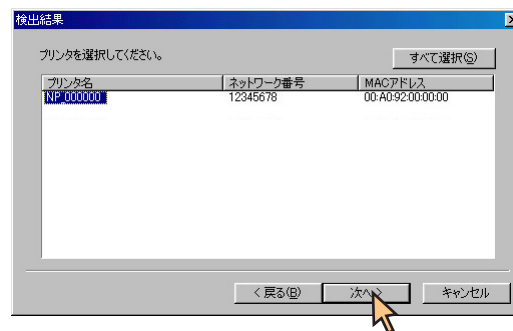


存在しないネットワーク番号を入力しないでください。入力すると動作が遅くなることがあります。



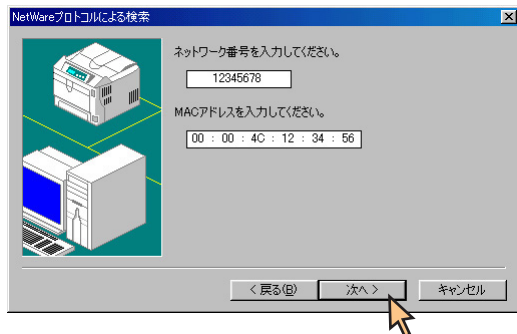
11. 登録したいプリンターを選び、[次へ]をクリックする。

[手順17](#)に進んでください。



12. ネットワーク番号とMACアドレスを入力して、[次へ]をクリックする。

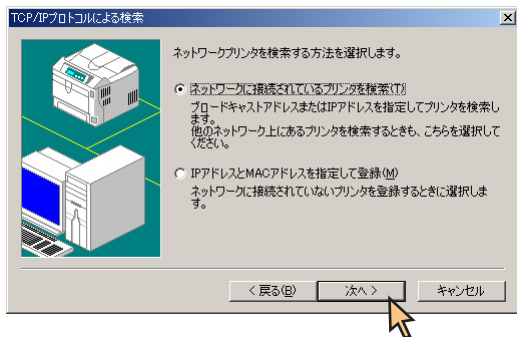
手順17に進んでください。



13. プリンターの検索方法を選び、[次へ]をクリックする。

「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順14に進んでください。

「IPアドレスとMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、[手順16](#)に進んでください。

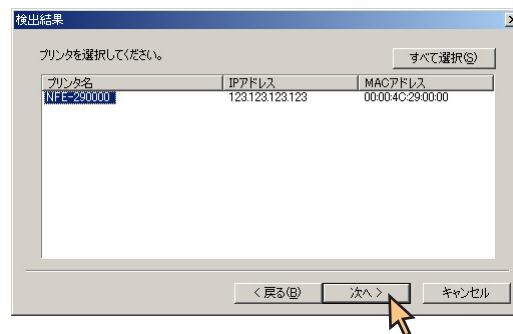


14. ブロードキャストアドレス、またはIPアドレスを入力して[次へ]をクリックする。

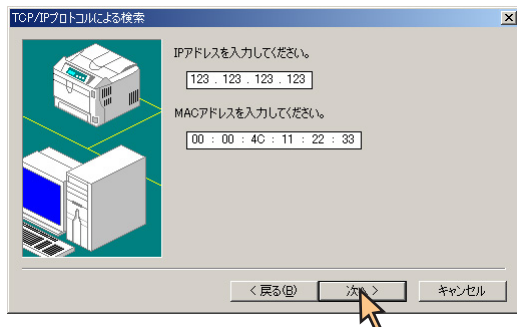


15. 登録したいプリンターを選び、[次へ]をクリックする。

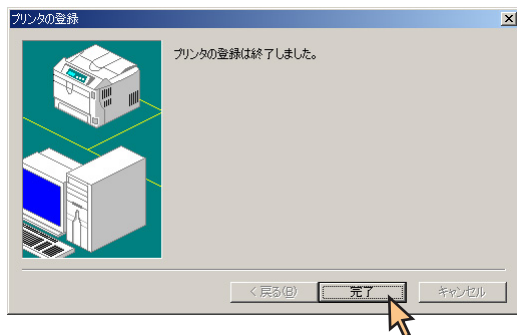
手順17に進んでください。



16. IPアドレスとMACアドレスを入力し、[次へ]をクリックする。



17. [完了]をクリックする。



以上でプリンターの登録は完了です。

LANボードの設定

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティについて説明します。

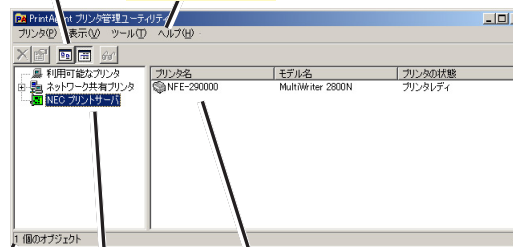
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティのメニュー

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動すると以下のウィンドウが表示されます。

ツールバー

メニューの項目をアイコン化したものです。選んだプリンター、接続形態によって表示は異なります。

メニューバー



ステータスバー

リストビュー

左側のボックスで選ばれた接続形態のプリンターの使用状況をリストで表示します。

ツリービュー

ネットワーク内のプリンターがどのように接続されているかをツリー形式で表示します。

利用可能なプリンタ：ネットワークに接続されているプリンターのうち実際にコンピュータにプリンタードライバがインストールされているプリンターです。

ネットワーク共有プリンタ：ネットワーク内で共有に出されているすべてのプリンターです。

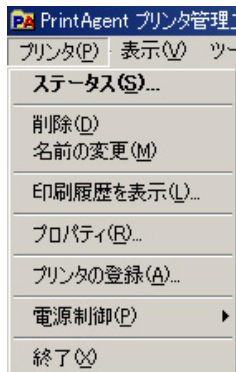
NECプリントサーバ：イーサネットコネクタを標準装備したNEC製プリンター、またはNEC製のLANボード、LANアダプターを使ってネットワーク接続されているプリンターです。



各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます。詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください。

[プリンタ]メニュー

リストビューでプリンターを選んでいるときに実行できる機能は次のとおりです。



● ステータス

以下のようなプリンターのステータス画面を表示します。プリンターのステータス画面ではプリンターの状態、モデル名、プリンターの構成が表示されます。この画面は、ツールバーの[ステータス]ボタンをクリックしても表示することができます。



● 削除

選択したプリンターを削除します。ツールバーの[削除]ボタンをクリックしても同じ機能を実行することができます。

● 名前の変更

選択したプリンターの[プリンタ名]ボックスがハイライトし、名前を変更することができます。デフォルトでは[LANボード]シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、任意の名前に変更できます。また、ここでの変更は[LANボード]シートのプリンター名には影響しません。

● 印刷履歴を表示

ネットワーク経由で印刷した履歴を表示します。

● プロパティ

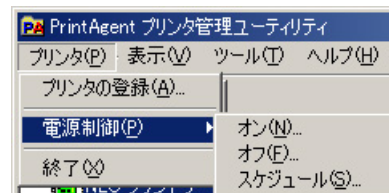
選択したプリンターの設定(LANボードまたはLANアダプター接続時は、これらの設定)を変更することができます。プロパティの内容については「[\[プロパティ\]ダイアログボックス](#)」をご覧ください。

● プリンタの登録

プリンターを登録するための[プリンタの登録]ウィザードが起動します。

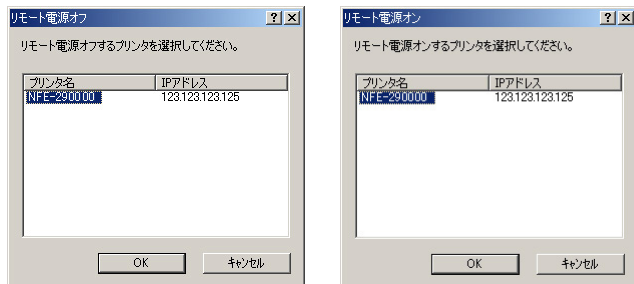
● 電源制御

リモート電源制御機能を持つLANアダプター(PR-NP-03TR2)を使って接続されたプリンターの電源をオン・オフできます。オン・オフは[リモート電源制御]シートの設定に従います。NECプリントサーバーのリストビューにリモート電源制御機能を持つプリンターを登録し、以下のサブメニューを実行します。詳しくは、次の「[電源制御](#)」を参照してください。



電源制御

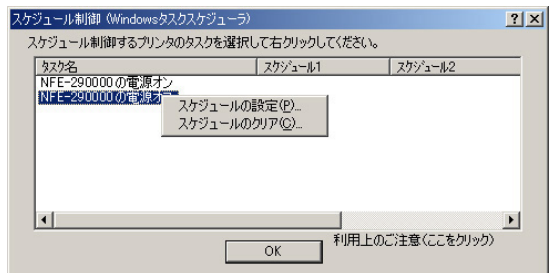
- [電源制御]のサブメニューの[オン]または[オフ]を選択している場合
[電源制御]のサブメニュー[オン]または[オフ]をクリックすると、それぞれ電源制御可能なプリンターを選ぶダイアログボックスが表示されます。プリンターを選択し、[OK]をクリックすることで[リモート電源制御]シートの設定に従ってオン・オフします。



リモート電源オフ

リモート電源オン

- [電源制御]のサブメニューの[スケジュール]を選択している場合
[電源制御]のサブメニュー[スケジュール]をクリックすると、スケジュール可能なプリンターをオン・オフするためのタスク名の一覧が表示されます。この一覧では、電源オン、電源オフのペアで20台までスケジュール管理ができます。また、スケジュールの設定状況は、各タスク名に4つまでその概要を一覧に表示します。
各タスク名の上で右クリックすると、以下の画面のようなサブメニューが表示されます。ここでプリンターをオン・オフするスケジュールを設定します。プリンターのオン・オフは[リモート電源制御]シートの設定に従います。



[電源制御]のサブメニュー[スケジュールの設定]を選ぶと、プリンターの電源をオン・オフする日時の設定を行うダイアログボックスが表示されます。それぞれのページを参照してください。

- [\[タスク\]シート](#)
- [\[スケジュール\]シート](#)
- [\[設定\]シート](#)

これらのダイアログボックスは、Windowsのタスクスケジューラ機能を使用しています。設定の詳細については、このダイアログボックスのポップアップヘルプも参照してください。

[電源制御]のサブメニュー[スケジュールのクリア]を選ぶと、選択したタスク名に設定した複数のスケジュールをすべて削除します。



重要

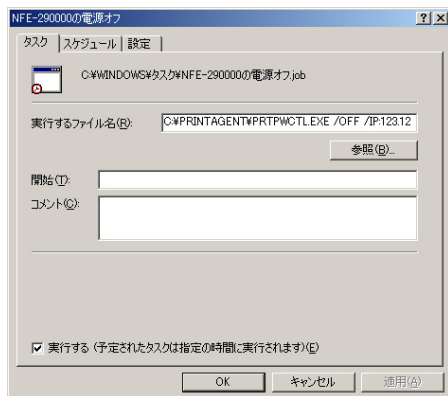
スケジュール機能使用上のご注意

- [スケジュールの設定]で表示されるダイアログボックスは、Windowsのタスクスケジューラを使用しています。タスクスケジューラの一時停止をしている場合は、[マイコンピュータ]→[タスク]の[詳細設定]でタスクスケジューラの続行を行ってください。
- NECプリントサーバのリストビューに表示されている[プリンタ名]を変更した場合、既に設定しているスケジュールは、変更前の状態のままになっています。
[スケジュールのクリア]でスケジュールを削除し、新たに表示されているタスク名にスケジュールを設定し直してください。
- プリンターのIPアドレスを変更した場合、既に設定しているスケジュールは、変更前の状態のままになっています。次の手順に従ってIPアドレスを修正してください。
 - ① [スケジュールの設定]から[タスク]を開く。
 - ② [実行するファイル名]ボックスに表示されているIPアドレスの「IP:/」以降を修正する。
(例)
IPアドレス「111.222.123.123」を「100.200.123.123」に変更する場合
「/IP:111.222.123.123」を「/IP:100.200.123.123」と修正します。
- NECプリントサーバに登録したプリンターを削除しても、このプリンターに対するスケジュールは削除されません。

- プリンタ管理ユーティリティをアンインストールすると、電源制御に必要なファイルもアンインストールされてしまい、設定時刻になってもプリンターのオン・オフができなくなります。
[マイコンピュータ]—[タスク]からタスク名を表示し、タスク名を右クリックして削除してください。
- [電源制御]はTCP/IPプロトコルを使用していますので、ご使用のコンピュータにTCP/IPプロトコルが組み込まれていることを確認してください。

[タスク]シート

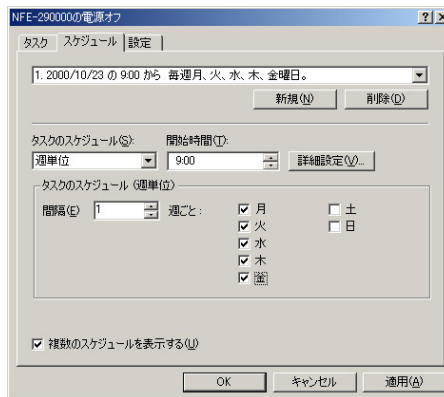
次のような設定ができます。



- 実行するファイル名
プリンターの電源をオン・オフする実行ファイル名です。
- 開始
何も入力せず、空欄のままにしておいてください。
- 実行する
[スケジュール]シートで設定した日時にオン、オフする実行ファイルを実行するためにチェックを付けてください。

[スケジュール]シート

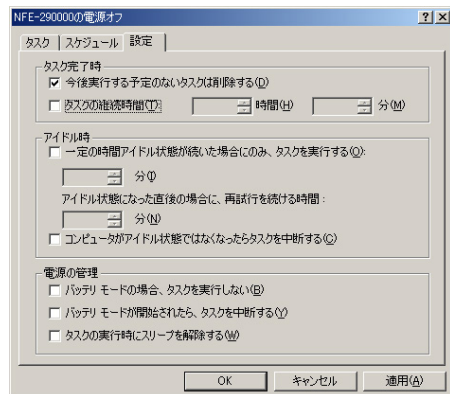
次のような設定ができます。



- 新規
プリンターをオン(またはオフ)する日時の設定を行います。[タスクのスケジュール]で日単位、週単位等の選択ができます。
[新規]を数回クリックすると、複数の日時の設定を行うことができます。複数の設定を行った場合、[スケジュール制御]の一覧には、最初の4つの設定の概要が表示されます。
- 削除
[新規]で設定したスケジュールを1つずつ削除します。
- 詳細設定
[詳細設定]をクリックすると、次の設定項目が表示されます。
 - ◇ 開始日
プリンターのオン、オフを開始する日付を設定します。
 - ◇ 終了日
プリンターのオン、オフを終了する日付を設定します。
 - ◇ タスクを繰り返し実行
チェックを外してください。
- 複数のスケジュールを表示する
チェックを付けてください。

[設定] シート

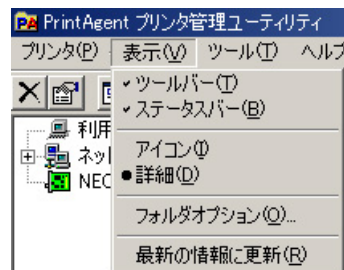
次のような設定ができます。



- タスク完了時
[今後実行する予定のないタスクは削除する]をチェックしてください。
- アイドル時
チェックを外してください。
- 電源の管理
チェックを外してください。

[表示メニュー]

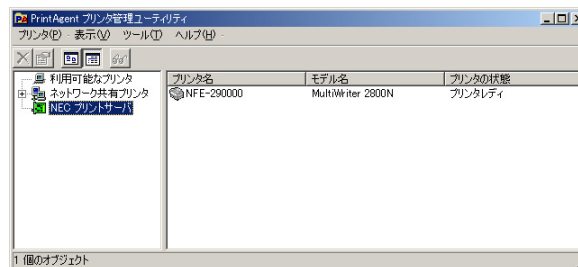
次のような機能が実行できます。



- ツールバー
ツールバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。
- ステータスバー
ステータスバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。
- アイコン
プリンターの一覧をアイコンで表示します。



- 詳細
プリンタの一覧をリストで表示します。



- フォルダオプション
NECプリントサーバの設定を行います。詳しくは、次ページの[「フォルダオプション」](#)をご覧ください。
- 最新の情報に更新
登録されているプリンターと通信を行い、情報を更新します。

フォルダオプション

以下のようなダイアログボックスを表示します。次の設定を行います。

[タイマー]シート



- プリンタステータス更新周期

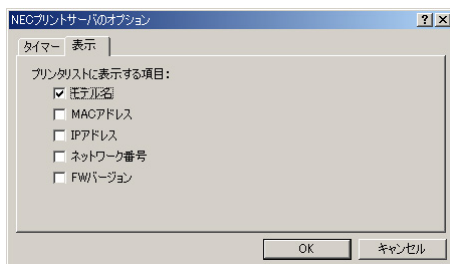
登録されたプリンタの状態を確認しリストを更新する周期を設定します。10秒から120秒まで10秒刻みで設定できます。初期値は30秒です。

- プリンタ応答待ち時間

プリンタの状態を確認する際、プリンタから応答が無い場合の待ち時間を設定します。初期値は1秒です。

[表示]シート

詳細リスト表示のとき列見出しの項目を選択します。[プリンタ名]と[プリンタの状態]は、はじめから表示されています。



- プリンタ名

デフォルトでは、[LANボード]シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、プリンター名を2回クリックすると、任意の名前に変更することができます。ここでの変更は、[LANボード]シートのプリンター名には影響しません。

- モデル名

LANボードのモデル名を表示します。

- MACアドレス

LANボードの固有のネットワークアドレスを示します。

- IPアドレス

LANボードのIPアドレスを表示します。

- ネットワーク番号

NetWareプロトコルで通信しているとき、NetWareネットワーク番号を表示します。

- FWバージョン

LANボード内のLAN関連ファームウェアのバージョンを表示します。

[ツール]メニュー

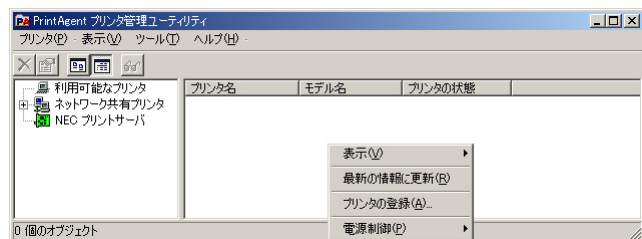


パスワードの変更

本PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使用するためのパスワードの設定・変更を行います。

ポップアップメニュー

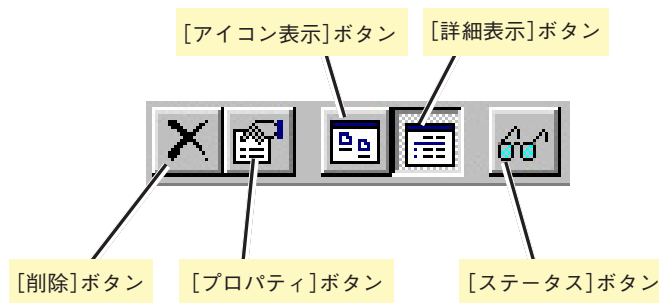
リストビュー内の任意の場所を右クリックすると表示されるメニューです。以下のような機能が実行できます。



- 表示
リストビューをアイコン形式で表示するか、リスト形式で表示するかを切り替えます。[表示]メニューの[アイコン]、[詳細]と同じ機能です。
- 最新の情報に更新
登録されているプリンターと通信を行い情報を更新します。[表示]メニューの[最新の情報に更新]と同じ機能です。
- プリンタの登録
プリンターを登録します。[プリンタの登録]ウィザードが起動します。[プリンタ]メニューの[プリンタの登録]と同じ機能です。
- 電源制御
[プリンタ]メニューの電源制御と同じです。

ツールバー

以下のようにメニューの項目をボタンにしたものがツールバーに用意されています。



[プロパティ]ダイアログボックス

LANボードの設定は、[プロパティ]ダイアログボックスで行います。
表示される内容は、LANボードによって異なります。また、設定できない項目は、グレースアウトされます。

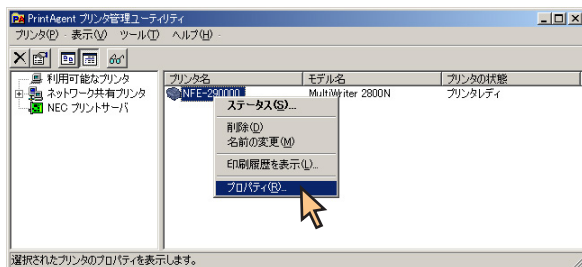
ダイアログボックスの開き方

[プロパティ]ダイアログボックスは、次の方法で開くことができます。

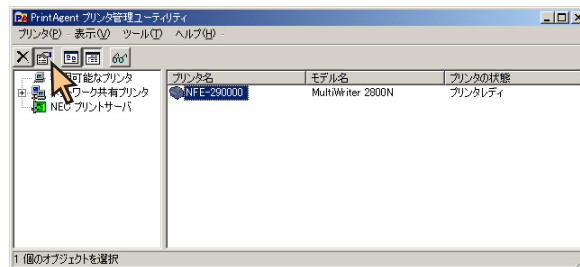
- [プリンタ]メニューを使う方法
[プリンタ]アイコンを選択してから、[プリンタ]メニューの[プロパティ]を選択します。



- [プリンタ]アイコンを右クリックする方法
[プリンタ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選択します。



- [ツール]ボタンをクリックする方法
ツールバーのアイコンをクリックします。



[LANボード]シート

LANボードの固有情報を表示設定します。



- [MACアドレス](#)
- [ハードウェアタイプ](#)
- [FWバージョン](#)
- [プリンタ名](#)
- [プリンタアクセス周期](#)

以下の固有情報を表示します。

- **MACアドレス**
プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
- **ハードウェアタイプ**
プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。

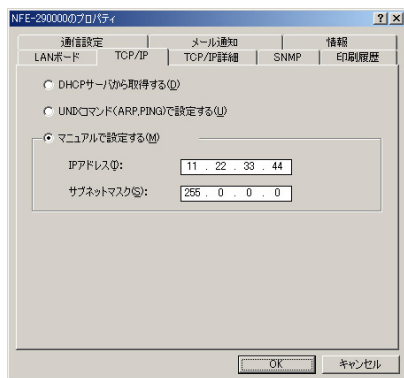
- FWバージョン
LANボードのファームウェアバージョンです。

以下の固有情報が設定できます。

- プリンタ名
ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
- プリンタアクセス周期
プリンターの状態を更新する周期です。初期値は5秒になっています。

[TCP/IP] シート

TCP/IP プロトコルを使ったときのIPアドレスとサブネットマスクを設定できます。



- [DHCPを用いてIPアドレスを設定する](#)
- [UNIXコマンド\(arp、ping\)で設定する](#)
- [マニュアルで設定する](#)

- DHCPを用いてIPアドレスを設定する
LANボードのIPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーから取得して設定します。
- UNIXコマンド(arp、ping)で設定する
LANボードのIPアドレスをUNIXコマンドで設定できるようにします。
- マニュアルで設定する
LANボードのIPアドレスとサブネットマスクをマニュアルで設定します。

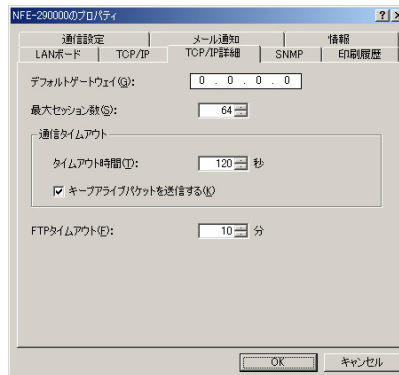
重要

[DHCPを用いてIPアドレスを設定する]を選択した場合は、DHCPサーバーへLANボードに設定するIPアドレスを事前に登録しておくことで、不用意なIPアドレスの変化を防止することができます。DHCPサーバーによりIPアドレスが変更された後は登録されたプリンターとしての通信ができなくなります。プリンターを再度、選んで登録し直してください。

[マニュアルで設定する]を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、[UNIXコマンドで設定する]を選んでください。

[TCP/IP詳細] シート

TCP/IP詳細パラメータを設定します。以下の機能を持たないLANボードでは、このシートは表示されません。



- [デフォルトゲートウェイ](#)
- [最大セッション数](#)
- [通信タイムアウト](#)
- [FTPタイムアウト](#)

- デフォルトゲートウェイ
ゲートウェイアドレスを示します。

チェック

ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能および電子メール配信機能を使用する場合に必要です。使用しないときは[0.0.0.0]を登録してください。

● 最大セッション数

TCP/IPの最大接続数を設定します。この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。

● 通信タイムアウト

TCP/IP接続時にホストコンピュータから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。

◇ タイムアウト時間

タイムアウトまでの時間を示します。設定範囲は「30～7200秒」、初期値は「120秒」になっています。

◇ キープアライブパケットを送信する

通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピュータにKeep Aliveパケットを送信するか、しないかを設定します。Keep Aliveパケット送信時にホストコンピュータから応答がある場合には、TCP/IP接続が維持されます。

● FTPタイムアウト

FTP接続時のタイムアウト時間を設定します。設定範囲は「5～60分」、初期値は「10分」になっています。

● 認証するコミュニティ名

ホストコンピュータからのSNMP通信の中で、LANボードが受け付けるコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。

● Trap通知先

Trap通知先のSNMPマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。以下でTrap通知先を設定します。

◇ IPアドレス

LANボードがホストコンピュータにTrapを通知する時のホストコンピュータのIPアドレスを設定します。

◇ コミュニティ名

LANボードがホストコンピュータにTrapを通知する時のホストコンピュータのコミュニティ名を設定します。



Trap通知先ホストコンピュータのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
[TCP/IP詳細]シートの[デフォルトゲートウェイ]ボックスにゲートウェイアドレスを設定してください。

[SNMP] シート

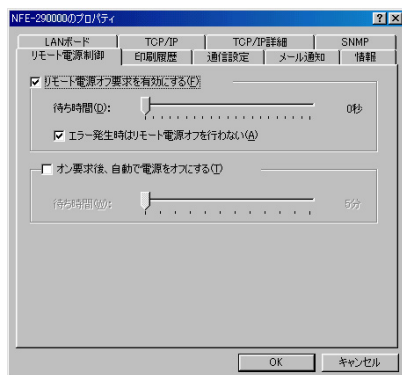
SNMPプロトコルに必要な設定を行います。SNMP機能を持たないLANボードでは、このシートは表示されません。

● 認証するコミュニティ名

● Trap通知先

[リモート電源制御] シート

リモート電源制御に関する設定を行います。プリンターの電源のオン、オフ要求は[プリンタ]メニューの[電源制御]から行います。リモート電源制御機能を持つLANアダプターでのみ、このシートは表示されます。



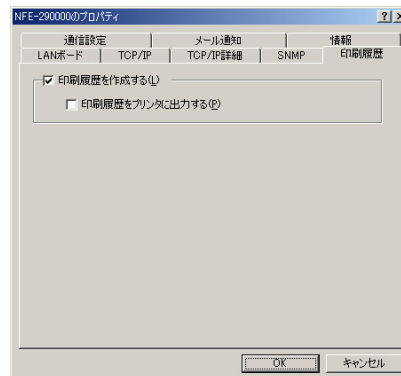
- [リモート電源オフ要求を有効にする](#)
- [エラー発生時はリモート電源オフを行わない](#)
- [オン要求後、自動で電源をオフする](#)

- リモート電源オフ要求を有効にする
オフ要求から[待ち時間]で設定した時間後、プリンターの電源をオフにします。[待ち時間]を「0」に設定した場合は、直ちにオフにします。ただし、プリンターによっては、電源をオフできる状態(印刷中ではないなどの、待機状態)になってからオフする場合があります。
- エラー発生時はリモート電源オフを行わない
プリンターでエラー発生時は、電源のオフを行いません。
- オン要求後、自動で電源をオフする
電源のオンを要求した後、[待ち時間]に設定された時間が経過すると、プリンターの電源をオフにします。

電源制御機能の詳細については、PR-NP-03TR2 LANアダプタの取扱説明書も参照してください。

[印刷履歴] シート

印刷履歴に関する設定を行います。印刷履歴機能を持たないLANボードではこのシートは表示されません。



- [印刷履歴を作成する](#)
- [印刷履歴をプリンタに出力する](#)

- 印刷履歴を作成する
チェックすると最大50までのジョブの情報を記録します。
- 印刷履歴をプリンタに出力する
チェックすると印刷履歴の記録ジョブ数が50になると印刷履歴を印刷します。チェックを外すと印刷を行わず古いジョブの記録から上書きされます。



印刷履歴はLANボードの電源切断時、またはリセット時(LANボード、またはLANアダプターご使用の場合はこれらの電源切断時)にすべてクリアされ、内部に保持されません。

IPアドレス等の設定を変更した場合もクリアされます。設定を[記録]から[記録しない]に変更した場合、LANボードが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

[通信設定] シート

通信に関する設定を行います。LANボードがイーサネットに接続されている場合と無線で接続されている場合では表示内容が異なります。

イーサネットに接続されている場合

通信速度、通信方式の設定を行います。通信速度の指定ができないLANボードでは、このシートは表示されません。

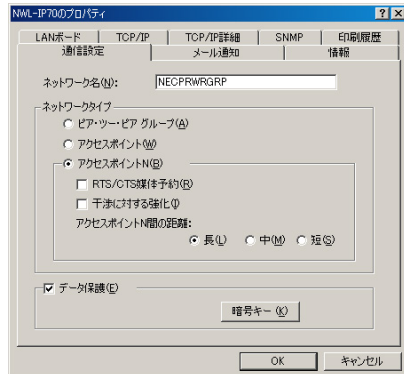


- [自動設定](#)
- [マニュアルで設定する](#)

- 自動設定
10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。また、通信方式も自動で選択されます。
- マニュアルで設定する
以下の項目をマニュアルで設定できます。
 - ◇ 通信速度
100BASE-TX： 100BASE-TX固定の接続設定になります。
10BASE-T： 10BASE-T固定の接続設定になります。
 - ◇ 通信方式
全二重 (Full Duplex)： パケットの送受信を同時に行うことができます。
半二重 (Half Duplex)： パケットの送受信をそれぞれ別々に行うことができます。

無線で接続されている場合

ネットワークに関する設定を行います。



- [ネットワーク名](#)
- [ネットワークタイプ](#)
- [RTS/CTS媒体予約](#)
- [干渉に関する強化](#)
- [アクセスポイントN間の距離](#)
- [データ保護](#)

- ネットワーク名
接続したいアクセスポイントやネットワークにつけられているネットワーク名と同じ名前を設定します。[アクセスポイントN]を選択し、[ネットワーク名]ボックスを空白、または「ANY」と入力した場合、LANボード周辺の任意のアクセスポイントに接続します。半角英数文字が使用可能です。
- ネットワークタイプ
以下のネットワークタイプから選択します。
 - ピア・ツー・ピアグループ (アドホックモード BSS)
NEC無線LANカードを取り付けたコンピュータとLANボードを無線接続します。
 - アクセスポイント (疑似 IBSS)
NEC無線LANアクセスポイント (主にSOHO向けネットワークに使用) 経由でネットワークに無線接続します。
 - アクセスポイントN (インフラストラクチャモード ESS)
NEC無線LANアクセスポイントN (主に企業向けネットワークに使用) 経由でネットワークに無線接続します。

◇ RTS/CTS媒体予約

チェックを付けることでRTS/CTS媒体予約を使用します。

— 使用しない

CSMA/CA機構で無線メッセージの衝突検出と再送を行います。

— 使用する

送信メッセージが長い場合、アクセスポイントがRTSを受信するとCTSを無線端末に送信し、RTSを送信した無線LANプリンターボード／アダプターが転送を完了するまで他の無線端末を待たせます。

◇ 干渉に関する強化

ネットワーク内で使用している電子レンジなどとの干渉により、無線ネットワークの性能が落ちている場合にチェックします。

◇ アクセスポイントN間の距離

無線LANプリンターボード／アダプターのローミング感度を設定します。「長」から「短」になるほどローミングしやすくなります。

無線ネットワーク環境では、通常、複数のアクセスポイントNの設置が密集してくると「長」から「短」の設定になります。無線ネットワーク環境で一致しない値を使うと無線通信性能に著しく影響するおそれがあります。

■ データ保護

チェックすると、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは次のように使用します。

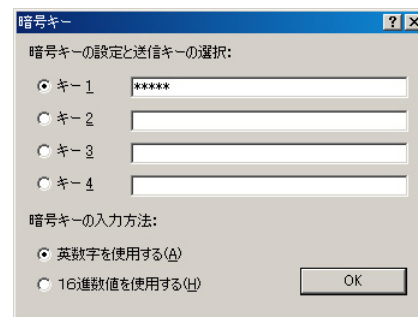
- キー1から4の暗号キーは、LANボードが受信する無線メッセージを複合します。
- キー1から4の中から選択された1つの暗号キーは、LANボードが送信する無線メッセージを暗号化します。選択された暗号キーは、必ず設定する必要があります。

[暗号キー]は、アクセスポイントやコンピューターの無線端末が、LANボードにデータを送信するときに使用する暗号キーと同じものを設定します。

使用できる文字は、[英数字を使用]を選択時は、半角英数字「a～z」、「A～Z」、「0～9」です。

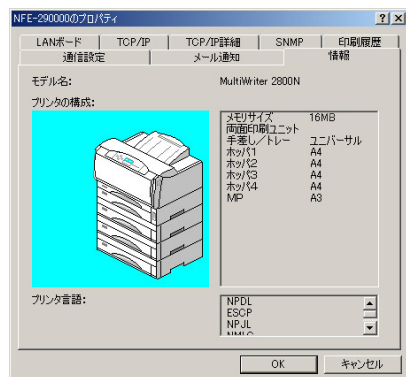
[16進数を使用]を選択時は、「0～9」、「A～F」です。

暗号キーの文字数は、5文字(16進数で10桁)または13文字(16進数で26桁)のどちらかの文字数でのみ設定することができます。



[情報] シート

プリンターの構成情報を以下の項目で文字とイラストを使って表示します。プリンターと双方向通信ができず、プリンターの情報が取得できないときはこのシートは表示されません。



- [モデル名](#)
- [プリンタの構成](#)
- [プリンタ言語](#)

- モデル名
プリンターのモデル名です。
- プリンタの構成
プリンターに装着されているオプションなどの情報です。
- プリンタ言語
プリンターで使用可能なプリンターの言語を一覧します。

[NetWare] シート

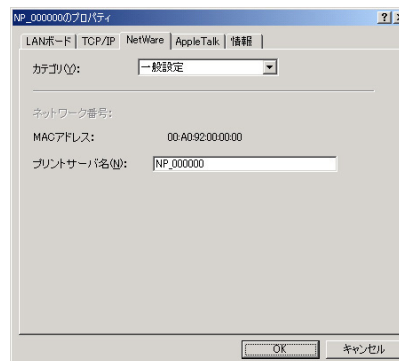
NetWareネットワーク環境で印刷する場合の設定をします。NetWareプロトコルを持たないLANボードではこのシートは表示されません。

以下のカテゴリによってシートの表示が切り替わります。

- [一般設定](#)
- [ファイルサーバ設定](#)
- [動作モード設定](#)

一般設定

[一般設定]を選ぶと、以下のような表示や設定ができます。

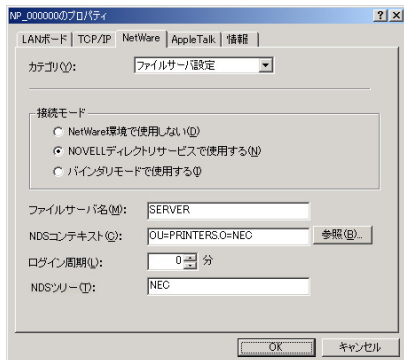


- [ネットワーク番号](#)
- [MACアドレス](#)
- [プリントサーバ名](#)

- ネットワーク番号
NetWareネットワーク番号を示します。
- MACアドレス
LANボードのMACアドレスを示します。
- プリントサーバ名
NetWareで使用するプリントサーバー名を設定します。

ファイルサーバ設定

[ファイルサーバ設定]を選択すると、以下のような設定ができます。



- [接続モード](#)
- [ファイルサーバ名](#)
- [NDSコンテキスト](#)
- [参照](#)
- [コンテキスト](#)
- [コンテキスト選択](#)
- [ログイン周期](#)
- [NDSツリー](#)

● 接続モード

NetWareサーバーへの接続モードを指定します。

- ◇ NetWare環境で使用しない
NetWareプリントサービスを使用しないとき選択します。
- ◇ NOVELLディレクトリサービスで使用する
NetWare 4.1以降のNDSモードで接続するとき使用します。
- ◇ バインダリモードで使用する
NetWare 3.1以降で利用できるモードです。

● ファイルサーバ名

プリントサーバーが定義されているファイルサーバー名を指定します。

● NDSコンテキスト

NDSモードで接続するときプリントサーバーが定義されているコンテキストを入力します。

● [参照]

NDSコンテキスト情報を入力するときに利用します。クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。



このボタンは、ご使用のコンピューターにNovellのNetWareクライアントソフトウェアがインストールされていることで有効になります。また、NetWareサーバーにログインしていることが必要です。

● コンテキスト

現在選択されているコンテキストを表示します。

● コンテキスト選択

ディレクトリツリーを表示しコンテキストを選択します。

● ログイン周期

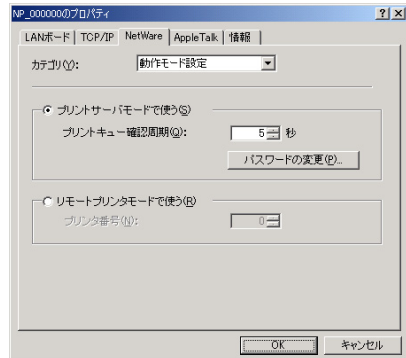
ファイルサーバーとの接続が切れたときに再ログインする周期を設定します。

● NDSツリー

NDSツリー名を設定します。NDSコンテキストを[参照]で設定した場合、参照したツリーの名前が[NDSツリー]に設定されます。

動作モード設定

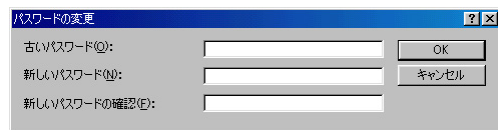
NetWareプリントサービスのモードを指定します。



- [プリントサーバモードで使う](#)
- [リモートプリンタモードで使う](#)

- プリントサーバモードで使う

プリントキューの印刷ジョブを確認する周期を設定できます。また、[パスワードの変更]をクリックすると以下のダイアログボックスが表示され、NetWareのファイルサーバーにログインするためのパスワードの設定ができます。

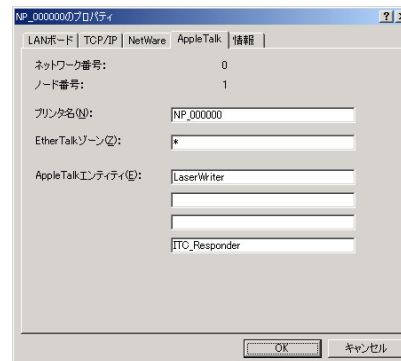


- リモートプリンタモードで使う

リモートプリンタの番号を選択できます。

[AppleTalk] シート

Macintoshから印刷するとき使用するAppleTalkプロトコルの設定を行います。AppleTalkを持たないLANボードでは、このシートは表示されません。

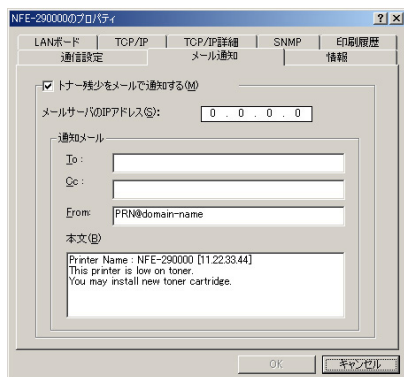


- [ネットワーク番号](#)
- [ノード番号](#)
- [プリンタ名](#)
- [EtherTalkゾーン](#)
- [AppleTalkエンティティ](#)

- ネットワーク番号
LANボードが接続しているAppleTalkネットワーク番号を示します。
- ノード番号
AppleTalkネットワークでのノード番号を示します
- プリンタ名
AppleTalkでのプリンター名を指定します。
- EtherTalkゾーン
EthernetでAppleTalkネットワークに接続するときのゾーンを指定します。
- AppleTalkエンティティ
AppleTalkでデバイスの検索や通信をするときのキーを指定します。

[メール通知]シート

トナー残少をメールで通知する設定を行います。



- [トナー残少をメールで通知する](#)
- [メールサーバのIPアドレス](#)
- [To :](#)
- [Cc :](#)
- [From :](#)
- [本文](#)

- トナー残少をメールで通知する

この項目にチェックするとプリンターが「トナー残少」となった場合、設定されたアドレスへメールが送信されます。



- トナーの残量が少なくなった初期の状態において、プリンター側のセンサーの状況により、数回電子メールが送信される可能性があります。
- 電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

- メールサーバのIPアドレス

メールサーバのIPアドレスを設定します。

- To :

メールの送信先アドレスを設定します。



メールのSubjectは以下で固定です。

Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

- Cc :

メールの配付先アドレスを設定します。

- From :

メールの送信元アドレスを設定します。仮のアドレスが使用できますが、必ず「@ (アットマーク)」付きの形式で入力してください。

- 本文

メールの本文を記述します。使用可能な文字は半角文字のうち、「; (セミicolon)」を除いたものです。

SNMP

SNMPによるプリンターの管理について説明します。

Get Request、Set Requestによる管理

通信に必要なコミュニティ名を4つまで登録できます。コミュニティ名の変更方法は、以下の3つです。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
設定の詳細については、「3 PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「[SNMPシート](#)」を参照してください。
- WWWブラウザ
設定の詳細については、「WWWブラウザ」の「[SNMP設定画面](#)」を参照してください。
- Telnet
設定の詳細については、「Telnet」の「[SNMP](#)」を参照してください。



工場出荷時のコミュニティ名にはすべて「public」が登録されています。必要に応じて設定変更を行ってください。

サポートしているMIBオブジェクトは、MIB-II(RFC1213)、ホストリソースMIB(RFC1514)、およびプリンターMIB(RFC1759)です。サポートしているMIBオブジェクトの一覧は次のとおりです。

SNMP MIB-II(RFC1213) オブジェクト一覧

[system] グループ

sysDescr
sysObjectID
sysUpTime
sysContact
sysName
sysLocation
sysServices

[interface] グループ

ipReasmTimeout
ifNumber
ifIndex
ifDescr
ifType
ifMtu
ifSpeed
ifPhysAddress
ifAdminStatus
ifOperStatus
ifLastChange
ifInOctets
ifInUcastPkts
ifInNUcastPkts
ifInDiscards
ifInErrors
ifInUnknownProtos
ifOutOctets
ifOutUcastPkts
ifOutNUcastPkts
ifOutDiscards
(次ページへ続く)

[ip] グループ

ipForwarding
ipDefaultTTL
ipInReceives
ipInHdrErrors
ipForwDatagrams
ipInDiscards
ipInDelivers
ipOutRequests
ipOutDiscards
icmpInTimestamps
ipReasmReqds
ipReasmOKs
ipFragOKs
ipFragFails
ipFragCreates
ipAdEntAddr
ipAdEntIfIndex
ipAdEntNetMask
ipAdEntBcastAddr
ipRouteDest
ipRouteIfIndex
ipRouteMetric1
ipRouteMetric2
ipRouteMetric3
ipRouteMetric4
ipRouteNextHop
ipRouteMask
ipRouteMetric5

[icmp] グループ

icmpInMsgs
icmpInErrors
icmpInDestUnreachs
icmpInTimeExcds
icmpInParmProbs
icmpInSrcQuenchs
icmpInRedirects
icmpInEchos
icmpInEchoReps

icmpInTimestampReps
icmpInAddrMasks
icmpInAddrMaskReps
icmpOutMsgs
icmpOutDestUnreachs
icmpOutTimeExcds
icmpOutParmProbs
icmpOutSrcQuenchs
icmpOutRedirects
icmpOutEchos
icmpOutEchoReps
icmpOutTimestamps
icmpOutTimestampReps
icmpOutAddrMasks
icmpOutAddrMaskReps

ifOutErrors
ifOutQLen
ifSpecific

[tcp] グループ	[snmp] グループ
tcpRtoAlgorithm	snmplnPkt
tcpRtoMin	snmpOutPkts
tcpRtoMax	snmplnBadVersions
tcpMaxConn	snmplnBadCommunityNames
tcpCurrEstab	snmplnBadCommunityUses
tcpInSegs	snmplnASNParseErrs
tcpOutSegs	snmplnTotalReqVars
tcpRetransSegs	snmplnTotalSetVars
tcpConnState	snmplnGetRequests
tcpConnLocalAddress	snmplnGetNexts
tcpConnLocalPort	snmplnSetRequests
tcpConnRemAddress	snmplnGetResponses
tcpConnRemPort	snmplnTraps
udpOutDatagrams	snmpOutTooBigs
tcpInErrs	snmpOutNoSuchNames
	snmpOutBadValues
[udp] グループ	snmpOutGenErrs
	snmpOutGetRequests
udpInDatagrams	snmpOutGetNexts
udpNoPorts	snmpOutSetRequests
udpInErrors	snmpOutGetResponses
udpOutDatagrams	snmpOutTraps
udpLocalAddress	snmpEnableAuthenTraps
udpLocalPort	

SNMP ホストリソースMIB(RFC1514) オブジェクト一覧

[Device] グループ
hrDeviceIndex
hrDeviceType
hrDeviceDescr
hrDeviceStatus
hrPrinterStatus
hrPrinterDetectedErrorState

プリンターMIB(RFC1759) オブジェクト一覧

[General Printer] グループ	[Output] グループ
prtGeneralConfigChanges	prtOutputType
prtGeneralCurrentLocalization	prtOutputCapacityUnit
prtGeneralReset	prtOutputMaxCapacity
prtInputDefaultIndex	prtOutputRemainingCapacity
prtOutputDefaultIndex	prtOutputStatus
prtMarkerDefaultIndex	[Extended Output] グループ
prtMediaPathDefaultIndex	prtOutputName
prtConsoleLocalization	prtOutputVendorName
prtConsoleNumberOfDisplayLines	prtOutputModel
prtConsoleNumberOfDisplayChars	prtOutputVersion
prtConsoleDisable	prtOutputSerialNumber
prtDeviceRefIndex	prtOutputDescription
prtCoverDescription	prtOutputSecurity
prtCoverStatus	
prtLocalizationLanguage	[Output Dimensions] グループ
prtLocalizationCountry	prtOutputDimUnit
prtLocalizationCharacterSet	prtOutputMaxDimFeedDir
	prtOutputMaxDimXFeedDir
[Input] グループ	prtOutputMinDimFeedDir
prtInputType	prtOutputMinDimXFeedDir
prtInputDimUnit	
prtInputMediaDimFeedDirDeclared	[Output Features] グループ
prtInputMediaDimXFeedDirDeclared	prtOutputStackingOrder
prtInputMediaDimFeedDirChosen	prtOutputPageDeliveryOrientation
prtInputMediaDimXFeedDirChosen	prtOutputBursting
prtInputCapacityUnit	prtOutputDecollating
prtInputMaxCapacity	prtOutputPageCollated
prtInputCurrentLevel	prtOutputOffsetStacking
prtInputStatus	
prtInputMediaName	[Marker] グループ
	prtMarkerMarkTech
[Extended Input] グループ	prtMarkerCounterUnit
prtInputName	prtMarkerLifeCount
prtInputVendorName	prtMarkerPowerOnCount
prtInputModel	prtMarkerProcessColorants
prtInputVersion	prtMarkerSpotColorants
prtInputSerialNumber	prtMarkerAddressabilityUnit
prtInputDescription	prtMarkerAddressabilityFeedDir
prtInputSecurity	prtMarkerAddressabilityXFeedDir
	(次ページへ続く)

prtMarkerNorthMargin
 prtMarkerSouthMargin
 prtMarkerWestMargin
 prtMarkerEastMargin
 prtMarkerStatus

[Marker Supplies]グループ
 prtMarkerSuppliesMarkerIndex
 prtMarkerSuppliesColorantIndex
 prtMarkerSuppliesClass
 prtMarkerSuppliesType
 prtMarkerSuppliesDescription
 prtMarkerSuppliesSupplyUnit
 prtMarkerSuppliesMaxCapacity
 prtMarkerSuppliesLevel

[Marker Colorant]グループ
 prtMarkerColorantMarkerIndex
 prtMarkerColorantRole
 prtMarkerColorantValue
 prtMarkerColorantTonality

[Media Path]グループ
 prtMediaPathMaxSpeedPrintUnit
 prtMediaPathMediaSizeUnit
 prtMediaPathMaxSpeed
 prtMediaPathMaxMediaFeedDir
 prtMediaPathMaxMediaXFeedDir
 prtMediaPathMinMediaFeedDir
 prtMediaPathMinMediaXFeedDir
 prtMediaPathType
 prtMediaPathDescription
 prtMediaPathDescription
 prtMediaPathDescription.3
 prtMediaPathStatus
 prtMediaPathStatus
 prtMediaPathStatus.3

[Channel]グループ
 prtChannelType
 prtChannelProtocolVersion
 prtChannelCurrentJobCntLangIndex
 prtChannelDefaultPageDescLangIndex
 prtChannelState
 prtChannelIfIndex
 prtChannelStatus

[Interpreter]グループ
 prtInterpreterLangFamily
 prtInterpreterLangLevel
 prtInterpreterLangVersion
 prtInterpreterDescription
 prtInterpreterVersion
 prtInterpreterDefaultOrientation
 prtInterpreterFeedAddressability
 prtInterpreterXFeedAddressability
 prtInterpreterDefaultCharSetIn
 prtInterpreterDefaultCharSetOut
 prtInterpreterTwoWay

[Console]グループ
 prtConsoleDisplayBufferText
 prtConsoleOnTime
 prtConsoleOffTime
 prtConsoleColor
 prtConsoleDescription

[Alerts]グループ
 prtAlertSeverityLevel
 prtAlertTrainingLevel
 prtAlertGroup
 prtAlertGroupIndex
 prtAlertLocation
 prtAlertCode
 prtAlertDescription

Trapによる管理

プリンターのエラーまたは状態変化が発生した場合に指定されたホストコンピューターにTrapを発信することができます。最大4台のホストコンピューターにTrapを送信することができます。

Trapの設定

Trapによる管理を行うためには以下の設定が必要です。

- Trap使用の要否設定
- 送信先ホストコンピューターのIPアドレス
- Trap通信のコミュニティ名
- ゲートウェイアドレスの設定

Trapの設定方法は、以下の3つです。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
 設定の詳細については、「3 PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「[SNMPシート](#)」を参照してください。
- WWWブラウザ
 設定の詳細については、「WWWブラウザ」の「[LANボードの管理者設定画面](#)」を参照してください。
- Telnet
 設定の詳細については、「Telnet」の「[SNMP](#)」を参照してください。

**チェック**

- ゲートウェイアドレスの設定について
 - ◇ 4つのホストコンピューターのIPアドレス設定の中で、LANボードのネットワークアドレスと異なるものが含まれている場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
 - ◇ 同じネットワークアドレスのホストコンピューターにTrap送信する場合は、ゲートウェイアドレスの設定は不要ですので、「0.0.0.0」(工場出荷設定)のままご使用ください。
- SNMP MIB IIの[SNMP]グループで「snmpEnableAuthenTraps」の設定が[Disabled(2)]になっている場合は、すべてのTrap設定が無効となります。Trapをご使用の場合は、[Enabled(1)]に設定してください。なお、工場出荷時は[Enabled(1)]に設定されています。
- 「SnmpEnableAuthenTraps」の設定に関わらず、LANボードに登録されたIPアドレス等の情報は保持されます。

Trapの送信

プリンターのエラーまたは状態変化が発生すると登録されたすべてのホストコンピューターにTrapが送信されます。Trapはプリンターのエラーが取り除かれるまで10分おきに送信されます。Trap-PDUで通知される情報は次のとおりです。

- プリンターCold Start発生情報
- プリンターWarm Start発生情報
- プリンターエラー発生情報

Variable-bindings

hrPrinter Detected Error State

prtAlert Index

prtAlert Severity Level

prtAlert Group

prtAlert Group Index

prtAlert Location

prtAlert Code

索引

A

AppleTalk	117
Autolp	85

D

DHCP	22
DHCP サーバーの設定	23
DHCP の設定	22
動作	28
DHCP サーバー	
Windows 2000 Server	23
Windows NT Server 4.0	26

E

EASY 設定ユーティリティ	16
----------------------	----

F

ftp コマンド	72
FTP サーバー	87

G

Get Request	119
-------------------	-----

I

Internet Printing Protocol	36, 50
IPP	
Windows 2000 日本語版	50
Windows 98/95 日本語版	42
Windows Me 日本語版	36

Windows NT 4.0 日本語版	59
IPP クライアントソフトウェア	36
IP アドレスの確認	
Macintosh	68
IP アドレスの設定	15, 68
DHCP	22
EASY 設定ユーティリティ	16
Macintosh	69
PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ	18
UNIX	70
UNIX コマンド	20

K

KeepAlive	85
-----------------	----

L

LAN ボードの管理者設定	82
LAN ボードの基本設定画面	83
LAN ボードの設定	102
LAN ボードの設定情報	81
LPR	

Windows 2000 日本語版	52, 54
Windows NT 3.51 日本語版	66
Windows NT 4.0 日本語版	64
LPR Port	53
lpr コマンド	71, 73
LPR バイトカウント機能	56

M

Macintosh	68
TCP/IP 環境の設定	68
Microsoft TCP/IP 印刷 (LPR)	
Windows NT 3.51 日本語版	66
Windows NT 4.0 日本語版	64
Microsoft TCP/IP 印刷サービス	64

N

NEC Internet Printing System	42, 59
NEC Network Port	
Windows 2000 日本語版	48
Windows NT 4.0 日本語版	57
NEC TCP/IP Port	34, 40
NEC TCP/IP Printing System (NEC TCP/IP Port)	
Windows 98/95 日本語版	40
Windows Me 日本語版	34
NetWare	115

O

OS の設定	33
Macintosh	68
UNIX	70
Windows 2000 日本語版	48
Windows 98/95 日本語版	40
Windows Me 日本語版	34
Windows NT 3.51 日本語版	66
Windows NT 4.0 日本語版	57

P

Password 設定	88
PING	70, 85
PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ	18, 96
LAN ボードの設定	102
ご利用までの手順	97
使用上のご注意	97
対象プリンター	96
特長	96
プリンターの登録	98
[プロパティ] ダイアログボックス	109
メニュー	102

S

Set Request	119
SMTP 設定	86
SNMP	119
SNMP MIB-II (RFC1213)	119
SNMP ホストリソース MIB (RFC1514)	120
SNMP 設定	85
Standard TCP/IP Port (LPR)	54

T

TCP/IP 設定	84
TCP/IP ネットワーク印刷サポート	66
Telnet	90
各メニューの詳細	91
起動画面	90
Trap	85, 121

U

UNIX	52, 70
印刷方法	72
ホストコンピューター	71
UNIX コマンド	20
UNIX 用印刷サービス (LPR)	52

W

Windows 2000 Server	23
Windows 2000 日本語版	48
IPP (Internet Printing Protocol)	50
NEC Network Port	48
Standard TCP/IP Port (LPR)	54
UNIX 用印刷サービス (LPR)	52
Windows 98/95 日本語版	40
NEC Internet Printing System	42

NEC TCP/IP Printing System (NEC TCP/IP Port)	40
Windows Me 日本語版	34
IPP (Internet Printing Protocol)	36
NEC TCP/IP Printing System (NEC TCP/IP Port)	34
Windows NT 3.51 日本語版	66
Microsoft TCP/IP 印刷 (LPR)	66
プリンターの作成	67
プリンターの接続	67
Windows NT 4.0 日本語版	57
Microsoft TCP/IP 印刷 (LPR)	64
NEC Internet Printing System	59
NEC Network Port	57
Windows NT Server 4.0	26
WWW ブラウザー	77
各メニューの詳細	80
画面の構成	78
起動画面	79

ア行

イーサネット	113
印刷方法	
ftp コマンド	72
lpr コマンド	73
印刷履歴	81
オンラインマニュアル	4, 8
印刷	12
サムネール	10
しおり	8
リンク	11

カ行

拡張プリンタドライバ PR-SW-DR01	68
--------------------------------	----

PR2200NW2-21	68
ゲートウェイアドレス	122
コミュニティ名	85
コンフィグレーションページ	30

サ行

サーバー	
DHCP サーバー	23
FTP サーバー	87
プリントサーバー	17
メールサーバー	86
初期化	29

タ行

ダイヤルアップルーター	42, 59
電源制御	104
ドメインネーム	49, 35, 41, 58

ナ行

ネットワーク印刷	33, 74
ネットワーク設定の初期化	29
ネットワークで思ったように 印刷できないときは	74
ネットワークプリンター	5

ハ行

プリンター MIB (RFC1759)	120
プリンターの状態	80
プリンターの登録	98
プリントサーバー	17
プロトコル	
AppleTalk	117
ftp	72
IPP	36, 42, 50, 59

LPR 52, 54, 56, 64, 66, 73

NetWare 115

TCP/IP 68, 110

[プロパティ] ダイアログボックス 109

ホストコンピュータ 71

マ行

無線 113

メール 86

メールサーバー 86

ヤ行

ユーティリティ 77

EASY 設定ユーティリティ 16

PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ 96

SNMP 119

Telnet 90

WWW ブラウザー 77

ラ行

利用情報設定 87

(空白ページ)

NEC MultiWriter 2800N/2800/2300N

オンラインマニュアル ネットワークセットアップガイド

2000年 11月 初版
2000年 12月 第2版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号

MultiWriter

2800N
2800
2300N



レーザープリンター

NEC